

協働によるまちづくりの推進に関する市の施策の実施状況報告書
(令和元年度実績)

令和2年9月

仙台市

目 次

I	はじめに	1	頁
II	基本施策に関する事業	2	頁
	1 市民活動の促進および市民協働の推進に関する事項	3	頁
	2 政策形成過程への市民の参画の推進に関する事項	10	頁
	3 多様な主体による活動の促進に関する事項	17	頁
III	市民協働事業	37	頁

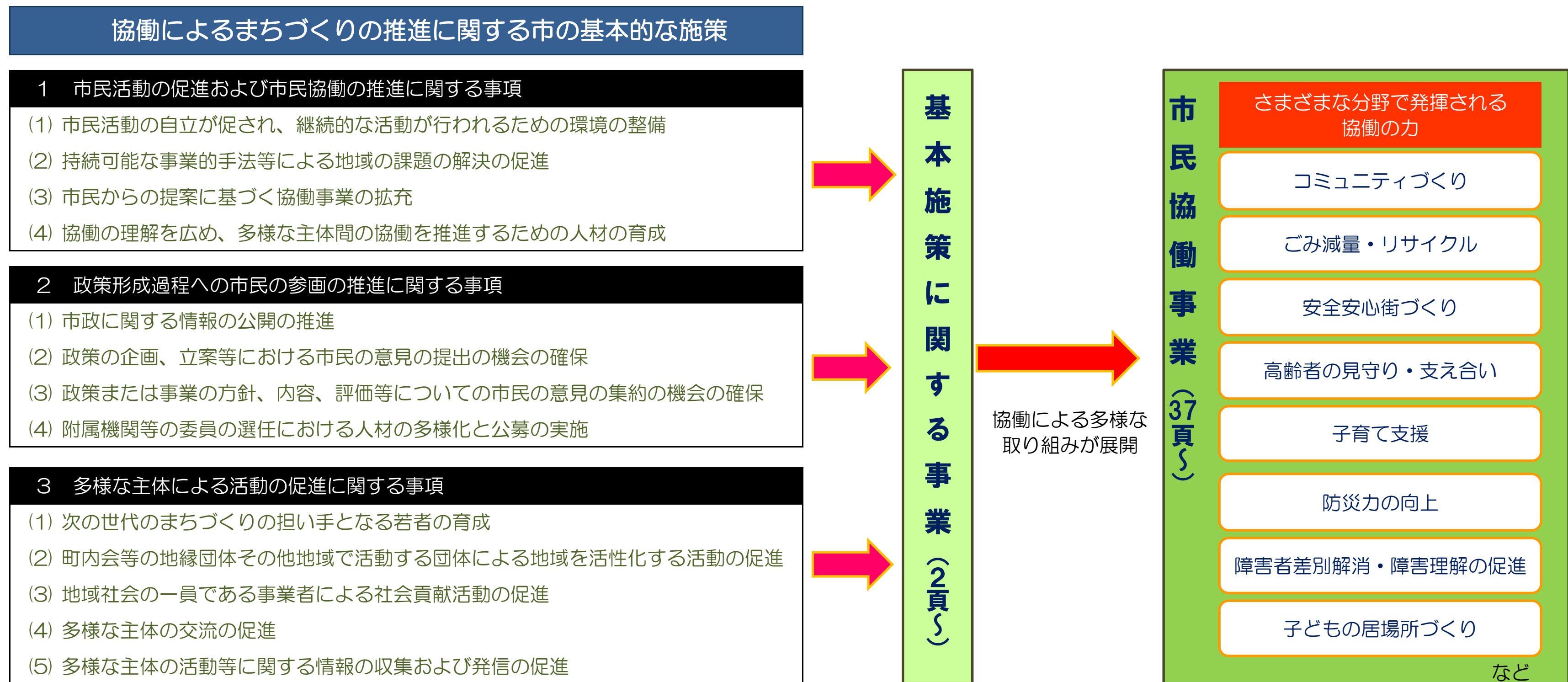
I はじめに

「仙台市協働によるまちづくりの推進に関する条例」(以下「条例」という。)は、本市における協働の基本理念を定め、市民と市の役割を明らかにするとともに、協働によるまちづくりを推進するための基本的な事項を定めることにより、協働によるまちづくりを総合的かつ計画的に推進し、もって、豊かで活力ある地域社会を実現することを目的に、平成27年7月に施行されました。

このたび、条例第9条[※]に基づき、令和元年度における協働によるまちづくりの推進に関する市の施策の実施状況について報告します。

※条例第9条…市長は、協働によるまちづくりの推進に関する市の施策の実施状況について、適宜、議会に報告するものとする。

条例に基づき定めた「仙台市協働によるまちづくりの推進のための基本方針」に掲げる協働によるまちづくりの推進に関する市の基本的な施策について、これらを推進するための事業（基本施策に関する事業）を実施し、協働による多様な取り組み（市民協働事業）の展開を図りました。

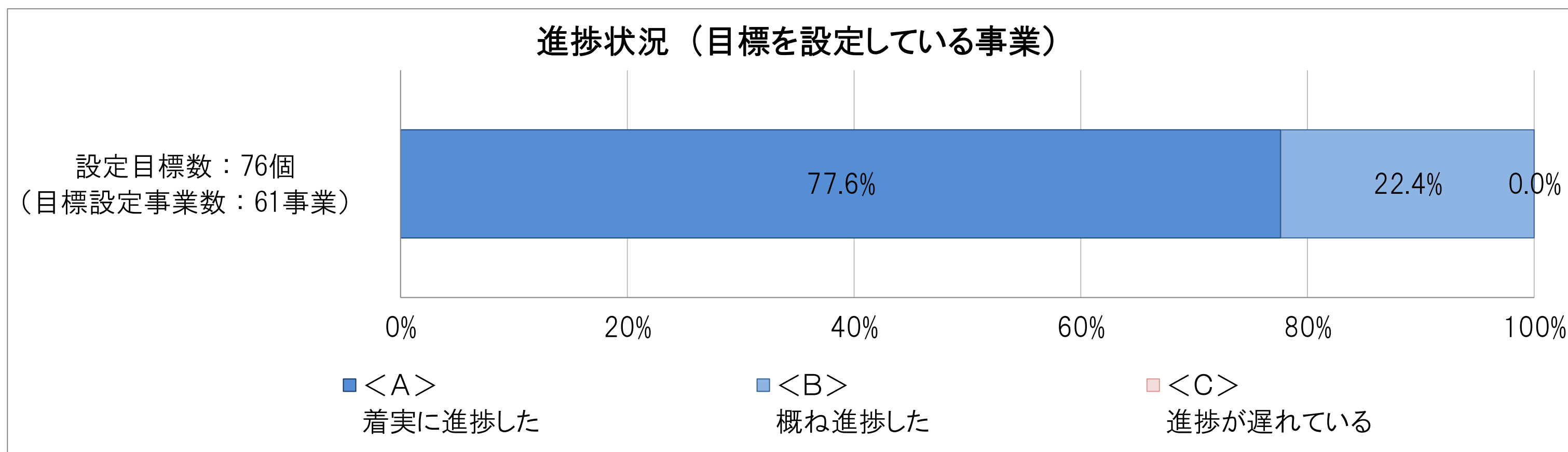


Ⅱ 基本施策に関する事業

「仙台市協働によるまちづくりの推進のための基本方針」に掲げる協働によるまちづくりの推進に関する市の基本的な施策を推進するための主な事業について、実施状況を掲載しています。

【基本施策の各分野における進捗状況】

基本施策に関する事業87事業のうち、61事業について計76個の目標を設定しています。各目標に対する進捗状況は以下のとおりです。



- 市民活動の促進および市民協働の推進に関する事項
- 政策形成過程への市民の参画の推進に関する事項
- 多様な主体による活動の促進に関する事項

	<A> 着実に進捗した	 概ね進捗した	<C> 進捗が遅れている
全体： 設定目標数76個（61事業）	59（77.6%）	17（22.4%）	0（0.0%）
分野1： 設定目標数17個（15事業）	13（76.5%）	4（23.5%）	0（0.0%）
分野2： 設定目標数15個（13事業）	14（93.3%）	1（6.7%）	0（0.0%）
分野3： 設定目標数44個（33事業）	32（72.7%）	12（27.3%）	0（0.0%）

基本施策に関する事業(令和元年度実績)

※特に記載のない場合は、令和2年3月31日時点の数値です。

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課
			点検結果		※()内は 令和元年度担当課
1 市民活動の促進および市民協働の推進に関する事項					
<p>各拠点施設において活動場所の提供や研修・相談を実施したほか、専門家の派遣による助言や情報提供を行うなど、市民活動の自立が促され、継続的な活動が行われるための環境整備を行いました。</p> <p>また、事業的手法等により地域課題解決に資する取り組みを進めたほか、複数団体が連携して取り組むまちづくり活動への助成や、市民からの提案に基づく協働事業を通して、協働の取り組みを推進しました。</p> <p>更に、市民活動サポートセンターや市民センター等の事業を通して、協働の理解を広め、多様な主体間の協働を推進するための人材育成に取り組みました。</p>					
(1) 市民活動の自立が促され、継続的な活動が行われるための環境の整備					
①	区役所のまちづくり拠点機能の強化事業	<p>地域団体による地域の特性に応じたきめ細かな地域づくりを進めるため、効果的な支援を実施できる組織の体制を充実させるとともに、区役所の政策形成力の向上を図る。</p> <p>様々な情報や人材が集まる市民センターにおいて、そのコーディネート機能を活かし、地域団体間のネットワーク形成を図るとともに、市民センターと区役所が一体となった地域づくりを推進する。</p> <p>地域団体と区・総合支所が協働して地域課題の解決を図るため、ふるさと支援担当による「ふるさと底力向上プロジェクト」等を実施する。</p>	<p>平成29年度より配置されたふるさと支援担当が、地域活動団体等との協働により、特定地域の困難課題解決のためのモデル事業「ふるさと底力向上プロジェクト」およびその他各区の地域の特性に応じた事業等に取り組んだ。また、平成30年度から各区中央市民センターの体制を強化し、所管区内地区館支援を充実させるとともに、各事業を通し区役所等との連携を図り、地域の特性を踏まえたきめ細かな地域づくりを進めるための各種事業を実施した。</p>	—	<p>市民局 地域政策課 各区 まちづくり推進課 各区 ふるさと支援担当</p>
②	市民活動サポートセンターにおける活動拠点確保等に関する支援・環境整備	<p>市民活動サポートセンターにおいて、貸室やフリースペース等の活動拠点の提供、市民活動・協働に関する情報の収集・提供、相談対応など、多岐にわたる市民活動がさらに活発になるよう、支援や施設の環境整備を行い、協働によるまちづくりを推進する。</p>	<p>市民の自主的な活動の拠点として、貸室やフリースペースを提供するとともに、機関誌の発行や市民活動・協働に関する展示の実施等の情報提供を行ったほか、相談対応の実施により、協働によるまちづくりの推進を図った。</p> <p>利用者数：63,621人 (うち貸室利用者数：46,679人、 フリースペース利用者数：15,966人)</p>	<p>令和元年度～2年度の利用者数を各年度66,000人以上とする。</p>	<p>市民局 市民協働推進課</p>
			B	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止によるサービス休止が影響し、前年度より利用者数が減少したが、概ね進捗した。利用者数増加を目指し、引き続き交流に関する相談やマッチング機能の充実など、ソフト面における機能充実に取り組む。</p>	

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況		担当課 ※（ ）内は 令和元年度担当課
			点検結果		
③	男女共同参画推進センターにおける各種支援等	男女共同参画推進に取り組む市民の活動を支援するため、エル・パーク仙台の市民活動スペースおよびエル・ソーラ仙台の市民交流・図書資料スペースを運営するとともに、男女共同参画推進センターを拠点に活動する市民グループとエル・パーク仙台が協働で、「男女共同参画」をテーマとしたイベントを企画・実施する。	市民の自主的な活動の拠点として、活動・交流を促進するとともに、男女共同参画推進センターを拠点に活動する市民グループとエル・パーク仙台との協働により、男女共同参画推進せんだいフォーラムを開催した。		市民局 男女共同参画課
			エル・パーク仙台利用者数 (市民活動スペース) : 51,101人 エル・ソーラ仙台利用者数 (市民交流・図書資料スペース) : 99,273人 フォーラム参加団体数 : 36団体		
			A フォーラム参加団体数が前年度(34団体)を上回るなど着実に進捗した。引き続き多くの団体が参加できるイベントを企画・実施していく。		
④	ボランティアセンターにおける各種支援等	市民を対象に、ボランティアの基礎的な知識や心構え、援助技術の習得などを目的として、テーマ別のボランティア講座や研修を開催する。また、ボランティアに関する各種の情報提供を行いながら、ボランティアに関する相談および調整を行う。	地域ニーズに応じたボランティア育成講座を開催するとともに、ボランティア登録団体等への情報提供、相談および調整を行った。		健康福祉局 社会課
			ボランティア育成講座数 : 15講座 延べボランティア育成講座受講者数 : 249人 ボランティア登録団体数 : 733団体		
			A 着実に進捗した。ボランティアの広がりや活動者のスキルアップが地域課題解決につながるよう、引き続き担い手育成に取り組んでいく。		
⑤	まちづくり支援専門家派遣事業	市民が主体的に行うまちづくり活動を支援し、地域の特性や資源を活かした個性あるまちづくりを推進するため、まちづくりを行う団体に対し、本市に登録しているまちづくり専門家を派遣することにより、専門的な助言やまちづくりに関する情報提供等を行う。	地域団体からの相談に応じてまちづくり専門家を派遣し、専門的な助言やまちづくりに関する情報提供等を行い、地域主体のまちづくり活動を支援した。		都市整備局 都市計画課
			派遣地区 : 11地区		
			B 目標に沿う水準で概ね進捗した。今後も地域における制度の活用が図られるよう、引き続き、さらなる周知に努める。		

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 令和元年度担当課
			点検結果		
⑥	市民センターにおける地域づくり支援	<p>①住民参画・問題解決型学習推進事業 地域特性に応じた市民協働によるまちづくりを推進するため、地域住民と市民センター職員が協働で地域課題を発見し解決につながる活動を実践することにより、さまざまな学びのプロセスを通して地域づくりを担う人材を発掘・育成する。</p> <p>②子ども参画型社会創造支援事業 子どもたちが、地域社会の構成員として積極的にまちづくりに参加し、社会・地域の一員として行動する視点を持つことで、将来的に社会や地域で主体的に活躍できる人材育成を行う。</p> <p>③若者社会参画型学習推進事業 地域課題の解決や復興まちづくりの担い手である若者の「自分づくり」を支援するとともに、若者の学びの成果を生かした地域づくり活動等への参画を促進することにより、さまざまな人々と協働し身近な地域をより良くすることへの関心を高め、社会・地域の一員として自発的・主体的に行動できる人づくりを推進する。</p>	<p>各区中央市民センターと地区市民センターが連携し、地域課題解決に向けた取り組みとして、住民参画型の事業を実施した。また、本事業および下記2事業を広く市民に広報するため、成果報告会を開催した。</p> <p>講座数：19講座 受講者数：196人（新規：75人）</p> <p>各区中央市民センターおよび地区市民センターにおいて、子どもたちが地域社会の構成員としての意識を育みながら成長できるよう、子どもたち自身が主体的に参画し、子どもならではの役割と可能性を自由に発揮できる子ども参画型の事業を実施した。</p> <p>講座数：8講座 受講者数：132人（新規：94人）</p> <p>各区中央市民センターにおいて、受講者である若者が、地域づくり活動への参画を通して、身近な地域への関心を高め、自発的・主体的に行動することを学ぶ事業を実施した。</p> <p>講座数：5講座 受講者数：112人（新規：65人）</p> <p>①から③の総計での新規参加者の割合：53.2%</p>	<p>事業参加者に対する新規参加者の割合を2割以上とすることにより、裾野の広がりを図る。</p>	教育局 生涯学習支援センター
			A	着実に進捗した。今後も主体的に考えながら活動することができる人材の育成に取り組む。	
(2) 持続可能な事業的手法等による地域の課題の解決の促進					
①	郊外住宅地・西部地区まちづくりプロジェクト	人口減少や超高齢化社会の到来を見据え、郊外住宅地及び西部地区において、外部資源を積極的に活用するなど新たな発想により、まちの持続性確保や交流人口の拡大に資する取り組みに補助を行う。	郊外住宅地4事業、西部地区7事業に対して補助を行い、各区役所・総合支所ふるさと支援担当と連携しつつ各取り組みを支援した。	—	まちづくり政策局 プロジェクト推進課
			—	着実に進捗した。令和3年度の制度終了後を見据えた検討が必要である。	

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 令和元年度担当課
			点検結果		
②	コミュニティビジネス・ソーシャルビジネスの促進	起業支援センター「アシ☆スタ」などにおいて、地域社会の課題解決を目指すコミュニティビジネス・ソーシャルビジネスに関するセミナーを開催し、当該分野特有の起業知識の修得や起業実例に触れる機会を提供するほか、市民活動サポートセンターとも連携し、相談機能を充実させる。	<p>起業支援センター「アシ☆スタ」、起業支援施設「INTILAQ東北イノベーションセンター」において、地域社会の課題解決を目指すコミュニティビジネス・ソーシャルビジネスに関するトークイベントを実施したほか、市民活動サポートセンターと連携して「起業・創業なんでも相談DAY」を実施した。また、社会起業家個別集中支援プログラム「TOHOKU Social Innovation Accelerator」を実施し、12人の社会起業家を輩出した。</p> <p>トークイベントの実施 : 10回 (507人参加) 起業・創業なんでも相談DAY : 17回 (314人参加)</p>	令和元年度～2年度に、社会起業家を毎年度10名以上輩出する。	市民局 市民協働推進課 経済局 産業振興課
			A 着実に進捗した。今後は、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、オンラインでイベントを開催するなどし、さらなる相談機会の提供に取り組む。		
③	ストック活用型都市再生推進事業（せんだいリノベーションまちづくり）	<p>遊休不動産を所有する不動産オーナーや起業を目指す方々へ、リノベーションまちづくりに関する情報発信を行うことに加え、シンポジウムやセミナーの開催を通じて、継続的にまちづくりに携わる意欲のある人材の発掘・育成を図るとともに、リノベーションまちづくりを持続的に担う民間主導の体制構築を目指す。</p> <p>また、民間不動産のリノベーションや公共空間の利活用を推進することでエリア全体の価値を高め、新たな賑わいを創出するとともに、魅力ある都市空間の構築を目指す取り組みを行う。</p>	<p>8月と2月に、人材の発掘・育成を目的に、「せんだいリノベーションまちづくりセミナー」を開催した。</p> <p>また、前年度に実施したスクールの受講生が主体となり、道路・公園などの公共空間や民地のオープンスペースなどを使った実験的な試み（イベントの開催）の支援を行った。</p> <p>セミナーの開催数：6回（市2回、民間4回）</p> <p>民間不動産対象物件数：0件 （平成28年度からの延べ対象件数：6件）</p> <p>公共空間対象物件数 : 12件 （平成28年度からの延べ件数：22件）</p>	令和元年度～2年度のリノベーションまちづくりに係わるシンポジウムやセミナーの開催件数を毎年度3回以上とする。 令和元年度～2年度の民間不動産・公共空間における実事業化件数を毎年度8件以上とする。	都市整備局 都心まちづくり課
			A 着実に進捗した。		
(3) 市民からの提案に基づく協働事業の拡充					
①	協働まちづくり推進助成事業	多様な主体の協働によるまちづくりを推進するため、複数の団体が連携して社会的課題の解決やまちの魅力の創造を図る取り組みについて、事業費の助成と併せて、コンサルティングや必要な専門家の派遣等のサポートを行う。	<p>町内会と地区社会福祉協議会等の協働によって行われる取り組みをはじめとする3事業に対して、助成金を交付するとともに支援団体による助言を行った。</p> <p>助成件数：3件 （4件の交付決定、うち1件辞退の申し出）</p>	毎年度4件以上の事業に助成を行う。	市民局 市民協働推進課
			A 目標を達成し、着実に進捗した。		

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
			点検結果		
②	市民協働事業提案制度の充実	市民活動団体や地域団体、企業等の市内で活動する団体から地域の課題解決や魅力の向上に資する事業の提案を募集し、関係部局が協働で取り組む。	地域の課題解決や魅力向上に資する事業を募集・採択し、市民活動団体や企業等の提案団体と担当課が協働で事業に取り組んだ。 応募事業件数：7件 実施事業件数：4件	毎年度4件以上の協働事業を実施する。	市民局 市民協働推進課
			A 目標を達成し、着実に進捗した。		
③	仙台市文化プログラム	2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、地元文化団体等から地域の文化芸術分野における多様な資源を生かした文化事業を提案してもらい、事業提案者主体のもと、仙台市、公益財団法人仙台市市民文化事業団と共催で、文化事業の推進及び新たな成果を生み出す。また、その成果を一過性のものとせず、オリンピック・パラリンピック後にも継承していく。	震災や復興を主題にした文化プログラム、障害のある人たちの文化芸術活動を支援・推進する文化プログラム、地域の文化芸術資源を活用した文化プログラムの3テーマに沿った事業提案を公募し、4団体と共催事業を実施した。 実施件数：4件	毎年度2件以上の共催事業を実施する。	文化観光局 文化振興課
			A 着実に進捗した。今後も市民が文化芸術に触れる機会の創出や新たな成果を生み出す事業を推進する。		
(4) 協働の理解を広め、多様な主体間の協働を推進するための人材の育成					
①	ともにまちづくりを行える職員の育成	①市民協働に関する職員研修 職員の協働に関する理解を深めるため、基礎的な考え方や取り組み事例等を学ぶ研修を実施する。	新規採用職員研修受講者数：223人 係長I部（総合・協働）受講者数：133人	新規採用職員及び係長職昇任者に研修を実施する。	総務局 職員研修所
		A 着実に進捗した。今後も、効果的な研修内容について関係部署等と協議・検討を進める。			
		②地域づくり職員研修 地域づくりに携わる職員を対象に研修を実施することにより、地域づくりに取り組む職員の意識啓発やスキルアップを目指す。	新任まちづくり担当職員研修参加者数：20人 地域づくり担当職員研修：新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。	令和元年度～2年度の研修参加者数を毎年度50人程度とする。	市民局 地域政策課
B 地域づくり担当職員研修は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止としたが、新任まちづくり職員研修については概ね進捗した。					
		③協働推進人材育成事業 職員をNPO等各種団体に派遣し、実地体験を積みながら市民協働や市民活動に関する知識を深めることで、職員の協働力の向上を図り、庁内の連携および地域課題の解決につなげられる人材を育成する。	より職員が参加しやすいものとなるよう、派遣期間を1日～5日の間で選択できるようにして事業を実施した。 市民活動団体等へ派遣した職員数：16人 受入団体数：7団体	効果的な内容について検討しながら研修を実施することで、職員の協働力の向上を図る。	市民局 市民協働推進課
		A 着実に進捗した。			

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況		担当課 ※()内は 令和元年度担当課	
			点検結果	プランにおける目標等		
②	市民活動サポートセンターにおける人材育成	市民活動サポートセンターにおいて、市民活動の基礎知識を学ぶ機会や市民活動を体験する機会を提供するほか、仙台市のまちづくりに関してともに考え意見を交わす機会を設けるなど、まちづくりに関わる人材の育成につなげる。	市民活動やまちづくりの担い手となる人材を育成するために、講座やセミナー等を開催した。 講座・セミナー等の参加者数：312人	人材育成のための研修の延べ参加者数を、毎年度300人以上とする。	市民局 市民協働推進課	
			A 参加者数が目標を上回り、着実に進捗した。			
	③	コミュニティソーシャルワーカー配置事業	地域の実態把握、住民組織同士の連携のコーディネートや各関係機関との連絡調整などを通して、地域住民が地域の福祉課題に主体的・組織的に取り組むための体制づくりを支援する専門職「コミュニティソーシャルワーカー（CSW）」を、社会福祉法人仙台市社会福祉協議会各区・支部事務所に配置する。 CSWのスキルアップを図り、市内各地域における地域住民主体の支え合い・助け合い体制づくりのための支援を行う。	社会福祉法人仙台市社会福祉協議会各区・支部事務所にCSWを配置し、市内各地域における地域住民主体の支え合い・助け合い体制づくりのための支援を実施した。また、CSWのスキルアップのための研修会を開催した。 CSW実践者研修会開催数：2回 (※3月に3回目を実施予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止)	CSWのスキルアップのための研修会を年3回以上開催する。	健康福祉局 社会課
				B 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を1回分中止としたものの、概ね進捗した。CSWによる市内各地域への支援を一層推進するため、今後も引き続き関係機関や地域団体との連携を深めるとともに、スキルアップを図っていく。		
④	地域包括支援センター運営事業	地域包括ケアシステムにおいて中核的な役割を担う地域包括支援センターに配置された生活支援コーディネーターを中心として、地域のネットワークづくりを行いながら、地域での支え合い体制の充実を図る。	介護予防自主グループの育成・支援に向けた研修の実施をはじめ、地域での支え合い体制の充実を図った。 介護予防自主グループ数：234団体 シニア世代向け健康づくり講座後の自主グループ：15団体	地域で自主的に介護予防に取り組むグループ数を令和2年度末までに260グループ以上にする。	健康福祉局 地域包括ケア推進課	
			A 着実に進捗した。			
⑤	仙台すくすくサポート事業	育児の援助を受ける方（利用会員）と育児の援助を行う方（協力会員）が会員となる行う市民相互の育児援助活動であり、仙台すくすくサポート事業事務局が会員登録や仲介を行い、事務局のサポートや地域ごとの会員の統括等を協力会員の中から選任されたサブリーダーが行っていく。	日々の活動のほか、入会説明会の開催や会員向けの講習会等を実施した。 登録会員数 利用会員：3,008人 協力会員：456人 両方会員：121人 計 3,585人 サブリーダー：9人 活動回数：10,580回	—	子供未来局 総務課	
			— 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入会説明会を1回中止としたが、概ね予定通り取り組みを進めた。			

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 令和元年度担当課
			点検結果		
⑥	市民センターにおける地域づくり支援【再掲】	<p>①住民参画・問題解決型学習推進事業 地域特性に応じた市民協働によるまちづくりを推進するため、地域住民と市民センター職員が協働で地域課題を発見し解決につながる活動を実践することにより、そこでのさまざまな学びのプロセスを通して地域づくりを担う人材を発掘・育成する。</p> <p>②子ども参画型社会創造支援事業 子どもたちが、地域社会の構成員として積極的にまちづくりに参加し、社会・地域の一員として行動する視点を持つことで、将来的に社会や地域で主体的に活躍できる人材育成を行う。</p> <p>③若者社会参画型学習推進事業 地域課題の解決や復興まちづくりの担い手である若者の「自分づくり」を支援するとともに、若者の学びの成果を生かした地域づくり活動等への参画を促進することにより、さまざまな人々と協働し身近な地域をより良くすることへの関心を高め、社会・地域の一員として自発的・主体的に行動できる人づくりを推進する。</p>	<p>各区中央市民センターと地区市民センターが連携し、地域課題解決に向けた取り組みとして、住民参画型の事業を実施した。また、本事業および下記2事業を広く市民に広報するため、成果報告会を開催した。</p> <p>講座数：19講座 受講者数：196人（新規：75人）</p> <p>各区中央市民センターおよび地区市民センターにおいて、子どもたちが地域社会の構成員としての意識を育みながら成長できるよう、子どもたち自身が主体的に参画し、子どもならではの役割と可能性を自由に発揮できる子ども参画型の事業を実施した。</p> <p>講座数：8講座 受講者数：132人（新規：94人）</p> <p>各区中央市民センターにおいて、受講者である若者が、地域づくり活動への参画を通して、身近な地域への関心を高め、自発的・主体的に行動することを学ぶ事業を実施した。</p> <p>講座数：5講座 受講者数：112人（新規：65人）</p> <p>①から③の総計での新規参加者の割合：53.2%</p>	<p>事業参加者に対する新規参加者の割合を2割以上とすることにより、裾野の広がりを図る。</p>	教育局 生涯学習支援センター
			A	着実に進捗した。今後も市民が主体的に考えながら活動することができる人材の育成に取り組む。	

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 令和元年度担当課
			点検結果		
2 政策形成過程への市民の参画の推進に関する事項					
市ホームページの充実やオープンデータの活用により、市政に関する情報公開を推進しました。 また、各種計画等策定過程におけるパブリックコメントやワークショップ、施策目標に関する市民意識調査等の実施により、政策の企画・立案・評価等の各段階において、市民の参画を推進しました。					
(1) 市政に関する情報の公開の推進					
①	仙台市公式ホームページによる情報発信	市民に対してタイムリーでわかりやすい市政情報を伝えるため、仙台市ホームページを随時更新するとともに、効果的な広報を行うための職員向け研修を実施する。	平成28年10月のホームページリニューアル実施以降、情報発信の迅速化とウェブアクセシビリティの向上が図られた。 また、効果的な広報を行うため、これまでのCMS操作研修、ウェブアクセシビリティ研修に加え、分かりやすい文章の書き方研修、知的財産権研修を行った。 令和元年度ホームページ新規公開件数：3,661件	令和2年度までに、ホームページ新規公開ページ数を年間2,850件以上とする。	総務局 広報課
			A	ホームページ新規公開件数は前年比で増加したほか、目標を達成し着実に進捗した。今後も引き続きホームページの積極的な活用について、各種研修の場などで呼び掛けていく。	
②	オープンデータの活用推進	「仙台市オープンデータ推進に関する方針」に基づき、各課が保有する行政情報の更なるオープンデータ化を進める。また、オープンデータの利活用を推進するため、アイデアソン※やセミナーの開催などにより普及・啓発を行っていく。 ※アイデアソン…アイデアとマラソンを掛け合わせた造語で、特定のテーマについてアイデアを創出するイベント	オープンデータも含め、さまざまなデータの利活用を推進するためのセミナーを2回（令和元年8月および11月）開催し、普及・啓発に取り組んだ。 仙台市オープンデータカタログ登録件数：227件 （対前年比1件増）	—	まちづくり政策局 ICT推進課
			—	オープンデータカタログ登録件数は着実に増えている。引き続き、庁内各課に声掛け等を行い、保有するデータのオープンデータ化を推進する。	
③	地域情報ファイルの活用推進	小学校区単位で、人口・地域施設・地域団体等の情報の充実、更新を行い、市のホームページ等で公表することにより、地域状況の把握と情報提供を行う。	「地域情報ファイル」を最新の情報に更新し、市のホームページ等で公表した。	—	市民局 地域政策課
			—	予定通り取り組みを進めた。	

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 令和元年度担当課
			点検結果		
(2) 政策の企画、立案等における市民の意見の提出の機会の確保					
①	市総合計画策定に関する市民意見提出の機会の確保	新総合計画の策定過程について、市政だより、新聞広告、ホームページ等により周知することで、市民の意識醸成を図るとともに、パブリックコメントのほか、市民ワークショップや区民参画イベント等を実施し、幅広く市民意見を聴取する。	市政だよりやホームページ等により周知を図るとともに、ワークショップや区民参画イベント等を実施し、幅広く市民意見を聴取した。	—	まちづくり政策局 政策企画課
			—	予定通り取り組みを進めた。	
②	定禅寺通活性化推進事業	定禅寺通において、道路空間の再構成やエリアマネジメントの導入なども視野に入れた魅力ある空間を創出し、それをきっかけとして街中の人々の回遊性を高め、本市がより一層多くの人々を魅了する活力ある都市となることを目指す。平成30年度に地元関係者を中心として設立した「定禅寺通活性化検討会」において、具体的な取り組みの検討を進める。	定禅寺通エリアの将来像、エリアの活性化やさらなる魅力向上につながる取り組みについて、基本構想の取りまとめに向けた検討を実施した。 会議の開催：14回 空間活用の試行的な実践：2プロジェクト 定禅寺通の車線規制を伴う社会実験の実施（令和元年10月18日～20日） 市民向けミーティング：2回 ニュースレターの発行：4回	検討会において、定禅寺通エリアのまちづくり基本構想（案）を令和3年度を目途に取りまとめることができるよう支援する。 ※交通規制を伴う本格的な社会実験の令和3年度への延期にともない、同社会実験の結果を踏まえて策定を目指していた「まちづくり基本構想」の取りまとめ時期を変更する。	まちづくり政策局 定禅寺通活性化室
			A	着実に進捗した。新型コロナウイルスに関する情勢を注視しながら柔軟な事業の遂行に努める。	
③	市役所本庁舎建替事業	市役所本庁舎の建替に向け、市民広場・定禅寺通等周辺との一体性確保に留意し、市民広場との連続性に配慮した基本計画を策定し、基本構想および基本計画の内容を基に基本設計を行うほか、新本庁舎移行後、職員の知的生産性を向上させるために、望ましい執務空間（ワークプレイス）のあり方を検討する。	市役所本庁舎の建替に係る市民意見を取り入れるため、基本計画策定に向けた市民と専門家によるシンポジウム・市民シンポジウムを合わせて2回開催した。	市役所本庁舎の建替に係る市民意見を取り入れるため、基本計画策定に向けたワークショップ等を2回開催するほか、パブリックコメント実施時に市民向け説明会を開催する。	財政局 本庁舎建替準備室
			A	着実に進捗した。今後、新型コロナウイルス感染拡大の状況・情勢を踏まえ、パブリックコメント実施時に、市民向けに説明する機会を設けるか判断する必要がある。	
④	パブリックコメントの実施	基本的な計画等の策定過程において、広く市民から意見を求め、提出された意見に対する実施機関の考え方を明らかにするとともに、提出された意見を考慮して適切に計画等に反映させていく。	パブリックコメント実施件数：9件 (1件当たりの平均意見数：22件)	—	市民局 広聴統計課
			—	着実に取り組みを進めた。今後も広く意見を聴取するため、効果的かつわかりやすい周知方法の工夫に努める。	

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 令和元年度担当課
			点検結果		
⑤	市政モニターによる 意見募集	市政に関する市民の意見を収集するため、公募による市民を市政モニターとして委嘱し、アンケート調査に回答いただき、施策の企画や行政運営上の基礎的参考資料として活用する。	市政だよりやホームページ、市政ラジオなどさまざまな手段を活用したことにより、幅広い市民の方に応募していただいた。 市政モニター委嘱：200人 アンケート調査の実施：8回 平均回答率：95.7%	モニター公募の周知手段を工夫し、幅広い属性の市民を毎年度200人委嘱する。	市民局 広聴統計課
			A 着実に進捗した。今後も市民からの意見の市政への反映を図るため、引き続き適正な進捗管理に努める。		
⑥	市民の声制度	市民の市政に対する提言、要望等を、「市長への手紙」「インターネット」「要望・陳情書」「電話・来庁」等で受け付け、市政への適切な反映に努める。	市長への手紙 : 1,170件 インターネット広聴 : 2,004件 要望・陳情書 : 1,303件 電話・来庁（市政相談） : 972件 （一般相談） : 3,144件	—	市民局 広聴統計課
			— 着実に取り組みを進めた。今後も市民からの意見の市政への反映を図るため、引き続き適正な進捗管理に努める。		
⑦	障害者への適切な情報提供および障害者からの意見聴取の推進	<p>施策の企画・立案等の段階において、障害者に対する適切な情報提供や障害者からの意見聴取に努め、政策形成過程における障害者の参画を推進する。</p> <p>①障害のある人もない人も暮らしやすいまちづくりを考えるワークショップ「ココロン・カフェ」「ココロン・スクール」の実施 障害の有無に関わらず暮らしやすい仙台を目指して、「ココロン・カフェ」では障害者も含めた幅広い市民に参加を募り、「ココロン・スクール」では高校生を対象として、グループワーク形式で意見交換を行う。</p>	<p>障害者差別解消条例に基づき、障害当事者も含めた市民の意見聴取を行う機会として、障害のある人もない人も暮らしやすいまちづくりを考えるワークショップ「ココロン・カフェ」のほか、高校生を対象とした「ココロン・スクール」を実施した。</p> <p>実施回数： 7回 参加者数：184人</p>	意見聴取、普及啓発の場として毎年度6回実施する。	健康福祉局 障害企画課
			A 着実に進捗した。今後も障害当事者を含めた市民からの意見の市政への反映を図るため、引き続き適正な進捗管理に努める。		

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 令和元年度担当課
			点検結果		
		②「仙台市職員対応要領」の周知・浸透による適切な情報提供・意見聴取の推進 「仙台市職員対応要領」を、研修や庁内広報を通じて周知・浸透を図ることで、手話通訳・要約筆記・点字資料などの障害特性に合わせた適切な情報提供および関係団体など障害者からの意見聴取を推進していく。	<p>障害者差別解消法や本市条例の趣旨を理解し、適切な情報提供や意見聴取の推進も含め、事務事業実施における適切な対応を図るため、「仙台市職員対応要領」に関する研修を実施した。</p> <p>新規採用職員研修 参加者数：226人 管理職員研修 参加者数：69人 一般職員研修（窓口職員向け研修） 参加者数：147人</p>	毎年度、新規採用職員研修（約200人）、管理職向け研修（約100人）、窓口等職員向け研修（約100人）を実施する。	
			A 着実に進捗した。eラーニング研修の実施を含め、研修の内容・形態について引き続き検討していく。		
⑧	音楽ホール整備検討における市民との対話	平成29年11月から平成31年3月にかけて開催した仙台市音楽ホール検討懇話会の報告書を踏まえ、市民向けのシンポジウム等を開催しながら、楽都としての魅力をさらに高める中核施設としてふさわしい音楽ホールの整備に向け、基本構想策定の議論を進める。	<p>ホールの性格と音響との関係をわかりやすく市民に示すとともに、音楽ホール整備に向けた機運醸成を図るため、市民向けの音響に関する体験講座を開催した。参加者アンケートの中で、音楽ホール整備に対する意見の聴取を行った。</p> <p>実施回数：1回</p>	音楽ホールを身近に感じてもらうため、市民向けシンポジウム等を開催し、整備に向けた機運醸成を行う。	文化観光局 文化振興課
			A 着実に進捗した。今後も市民向けシンポジウム等を開催し、市民意見の聴取と整備に向けた機運醸成を行う。		
⑨	青葉山公園整備事業（仮称）公園センターの利活用に関するワークショップの実施	青葉山公園 公園センター地区の利活用について、青葉山地区をフィールドに活動する団体等にご協力いただきながら、何度も訪れたい場所にするためのプランづくりを目的に、ワークショップを開催する。	青葉山周辺で活動している市民活動団体等10団体と年4回（7、9、11、12月）ワークショップを実施した。	市民参加のワークショップを、年3回以上開催する。	建設局 公園課
			A 着実に進捗した。		

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 令和元年度担当課
			点検結果		
(3) 政策または事業の方針、内容、評価等についての市民の意見の集約の機会の確保					
①	施策目標に関する市民意識調査	基本構想に位置づけた都市像の実現や復興に向けたまちづくりに向けて、施策の推進状況に関する市民の評価やニーズの変化を継続的に把握し、その結果を施策の進捗管理に生かすことにより、本市の重点施策の推進を図る。	18歳以上の市民6,000人を対象に実施した調査結果をまとめ、公表した。 有効回収数：2,018票 有効回収率：33.6% (送付数：6,000通)	有効回収数を2,000票、有効回収率を33%以上とする。	まちづくり政策局 政策企画課
			A	着実に進捗した。	
②	市民まちづくりフォーラム	重要プロジェクトについて市民参画による評価・点検を行うため、重点的な取り組みの中からテーマを設定し、今後の施策に向けた意見・提案をいただく。	テーマ数：8テーマ 参加者数：114人	—	まちづくり政策局 政策企画課
			—	予定通り取り組みを進めた。	
③	コールセンター等整備事業	市民等から寄せられる市政全般に関する問合せに的確に対応することを目指し、コールセンターの設置に向けた準備を進めるとともに、ICTの目覚ましい進展なども踏まえつつ、将来を見据えた本市の非対面型の問合せ対応のあり方等について検討する。	コールセンターの基本的な機能等、整備に向けた考え方をまとめた「仙台市コールセンター等整備基本構想」を策定した。 また、開設準備から運用に係る業務を専門的な能力を有する事業者へ委託することとし、公募型プロポーザル方式により受託事業者を選定した。	令和元年度 コールセンター等整備基本構想策定、コールセンター整備・運営委託業者の選定等 令和2年度 コールセンター開設	市民局 広聴統計課
			A	着実に進捗した。コールセンターの開設に向け、引き続き受託事業者や庁内関係課と連携を図り準備を進めていく。	
④	市政モニターによる意見募集【再掲】	市政に関する市民の意見を収集するため、公募による市民を市政モニターとして委嘱し、アンケート調査に回答いただき、施策の企画や行政運営上の基礎的参考資料として活用する。	市政だよりやホームページ、市政ラジオなどさまざまな手段を活用したことにより、幅広い市民の方に応募していただいた。 市政モニター委嘱：200人 アンケート調査の実施：8回 平均回答率：95.7%	モニター公募の周知手段を工夫し、幅広い属性の市民を毎年度200人委嘱する。	市民局 広聴統計課
			A	着実に進捗した。今後も市民からの意見の市政への反映を図るため、引き続き適正な進捗管理に努める。	

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 令和元年度担当課
			点検結果		
⑤	市民の声制度 【再掲】	市民の市政に対する提言、要望等を、「市長への手紙」「インターネット」「要望・陳情書」「電話・来庁」等で受け付け、市政への適切な反映に努める。	市長への手紙 : 1,170件 インターネット広聴 : 2,004件 要望・陳情書 : 1,303件 電話・来庁(市政相談) : 972件 (一般相談) : 3,144件	—	市民局 広聴統計課
			— 着実に取り組みを進めた。今後も市民からの意見の市政への反映を図るため、引き続き適正な進捗管理に努める。		
⑥	市民との対話の機会の確保	市長や区長をはじめ職員が直接市民と対話・交流する機会や場として、市民と市長の懇談会(市長とふれあいトーク)、地域懇談会、市政出前講座などを実施する。	市長とふれあいトーク : 7回 地域懇談会・動く区長室 : 41回 市政出前講座 : 108回	市長とふれあいトーク、地域懇談会、市政出前講座などを実施するほか、直接市民と対話・交流する機会や場の確保に努める。	市民局 広聴統計課
			A 着実に進捗した。今後も多様な団体等との懇談を通して、活動の現状や課題を認識し、市政運営への反映に努める。		
⑦	障害者への適切な情報提供および障害者からの意見聴取の推進 【再掲】	<p>施策の企画・立案等の段階において、障害者に対する適切な情報提供や障害者からの意見聴取に努め、政策形成過程における障害者の参画を推進する。</p> <p>①障害のある人もない人も暮らしやすいまちづくりを考えるワークショップ「ココロン・カフェ」「ココロン・スクール」の実施 障害の有無に関わらず暮らしやすい仙台を目指して、「ココロン・カフェ」では障害者も含めた幅広い市民に参加を募り、「ココロン・スクール」では高校生を対象として、グループワーク形式で意見交換を行う。</p>	<p>障害者差別解消条例に基づき、障害当事者も含めた市民の意見聴取を行う機会として、障害のある人もない人も暮らしやすいまちづくりを考えるワークショップ「ココロン・カフェ」のほか、高校生を対象とした「ココロン・スクール」を実施した。</p> <p>実施回数 : 7回 参加者数 : 184人</p>	意見聴取、普及啓発の場として毎年度6回実施する。	健康福祉局 障害企画課
			A 着実に進捗した。今後も障害当事者を含めた市民からの意見の市政への反映を図るため、引き続き適正な進捗管理に努める。		

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 令和元年度担当課
			点検結果		
	[前ページ続き] 障害者への適切な情報提供および障害者からの意見聴取の推進 【再掲】	②「仙台市職員対応要領」の周知・浸透による適切な情報提供・意見聴取の推進 「仙台市職員対応要領」を、研修や庁内広報を通じて周知・浸透を図ることで、手話通訳・要約筆記・点字資料などの障害特性に合わせた適切な情報提供および関係団体など障害者からの意見聴取を推進していく。	障害者差別解消法や本市条例の趣旨を理解し、適切な情報提供や意見聴取の推進も含め、事務事業実施における適切な対応を図るため、「仙台市職員対応要領」に関する研修を実施した。 新規採用職員研修 参加者数：226人 管理職員研修 参加者数：69人 一般職員研修（窓口職員向け研修） 参加者数：147人	毎年度、新規採用職員研修（約200人）、管理職向け研修（約100人）、窓口等職員向け研修（約100人）を実施する。	健康福祉局 障害企画課
			A	着実に進捗した。eラーニング研修の実施を含め、研修の内容・形態について引き続き検討していく。	
（４） 附属機関等の委員の選任における人材の多様化と公募の実施					
①	附属機関等の委員の選任における人材の多様化	附属機関等の役割や性格に応じて適切な人材を確保し、幅広い意見の反映を図るため、情報の一元管理を行い、長期にわたる委嘱および他の附属機関等と重複する委嘱を避けるように努める。	情報の一元管理を行い、長期にわたる委嘱および他の附属機関等と重複する委嘱を避けるように努めた。	—	総務局 行政経営課
			—	事業内容通り取り組んでおり、今後も長期および重複委嘱を避ける取り組みを継続する。	
②	附属機関等の委員の公募の推進	附属機関等の役割や性格に応じて委員を公募することにより、公募委員のいる附属機関等の増加に努め、幅広い意見の反映を図る。	公募委員のいる附属機関等の増加に努め、幅広い意見の反映を図った。 公募委員のいる附属機関等の数：12機関	—	総務局 行政経営課
			—	事業内容通り取り組んでおり、今後も引き続き公募機関の増加に努める。	
③	附属機関等における女性委員の登用率の向上	市政に重要な役割を果たす審議会等の委員に女性を積極的に登用し、政策形成、意思決定の場における女性の参画を促進する。	審議会等の委員選考にあたっては、男女共同参画課へ事前協議を行うことを徹底し、女性の積極的な登用促進に努めた。 令和元年度末女性委員登用率：37.1% 女性委員の全くいない審議会（ゼロ審議会）数：2件	すべての附属機関等に女性委員が就任している状態の維持に努める。また、女性委員の比率の向上に努める。（参考：令和2年度末までに40%以上）	市民局 男女共同参画課
			B	登用率は0.5ポイントの減少だが、ゼロ審議会は1件減となり、概ね進捗した。引き続き、事前協議の徹底と指導に努め、女性の積極的な登用促進を行っていく。	

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 令和元年度担当課
			点検結果		

3 多様な主体による活動の促進に関する事項

若者の社会参加を促進する事業の実施により、次の世代のまちづくりの担い手の育成を推進するとともに、区民協働まちづくり事業などを通して、町内会をはじめとした地域で活動する団体による地域活性化のための活動の促進を図りました。

また、事業者による社会貢献活動を促進するための事業を実施するとともに、市民活動サポートセンターなどにおける各種イベントを通して、多様な主体の交流促進を図りました。更に、協働の事例や支援制度等を総合的に案内する協働ナビゲーションサイトでの積極的な情報発信など、多様な主体の活動等に関する情報の収集・発信に取り組みました。

(1) 次の世代のまちづくりの担い手となる若者の育成

①	市民活動サポートセンターにおける若者の育成に関する支援	市民活動サポートセンターにおいて、フリースペースの利便性向上など、若者の主体的な活動を促進する環境を整備するとともに、各関係機関と連携しながら若者の活動を支援することで、次世代のまちづくりの担い手を育成する。	若者を対象とした人材育成事業を関係機関と連携しながら実施したほか、学生団体等の自主的な活動の拠点として、貸室やフリースペースを提供した。 関係機関と連携した実施事業：5事業	若者の人材育成に資する事業を、関係団体等と連携しながら、毎年度2事業以上実施する。	市民局 市民協働推進課
			A 着実に進捗した。		
②	若者の社会参加促進事業	地域課題の把握・解決に取り組む場を若者に対して提供することなどを通して、将来の仙台のまちづくりの担い手となる若者の社会参加を促進する。	社会課題の解決に寄与する取り組みを行う若者団体の認知度や構成員のモチベーションを高めるとともに、若者が活躍できる環境づくりに資することを目的に、「仙台若者アワード」を実施したほか、地域課題解決や地域貢献活動に興味・関心のある若者を対象としたトークイベント「Sendai Talk Cafe～若手社会人・学生と考える『楽しい仙台』の作り方～」を開催した。 仙台若者アワード2019参加団体：17団体 「Sendai Talk Cafe～若手社会人・学生と考える『楽しい仙台』の作り方～」参加者数：48人	地域や社会の課題解決に取り組む若者を支援するとともに、若者が新たに活動に参加するきっかけとなる機会をつくる。	市民局 市民協働推進課
			A 着実に進捗した。		

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 令和元年度担当課
			点検結果		
③	大学連携地域づくり事業	<p>6大学、泉区まちづくり推進協議会および泉区で締結している「仙台市泉区における大学と地域との連携協力に関する協定書」に基づき、地域と大学が連携し、地域課題の解決や活力ある地域づくりを進める。</p> <p>①大学・地域連携による課題解決事業助成 高齢化などの課題を抱える地域が、知見を有する大学と連携しながら課題解決や地域活性化に取り組むための経費を助成し、魅力的な地域づくりの推進を図る。</p>	<p>少子高齢化の地域課題に対して、5つの事業分科会を設置し、大学の知見や学生の力を活用しながら地域づくりに取り組んだ。</p> <p>実施事業：加茂ハッピータウン活動 (加茂まちづくり協議会、東北学院大学)</p>	<p>1大学1地域で事業を実施する。</p>	泉区 ふるさと支援担当
		<p>②いずみ絆プロジェクト支援事業 地元6大学の学生等が行う地域課題解決や地域活性化事業、特色ある地域づくり活動に要する経費を助成する。</p>	<p>助成金交付事業数：10事業（6大学）</p>	<p>6大学がそれぞれ1事業以上実施する。</p>	
		<p>③泉6大学まちづくりフェスティバルの開催 いずみ絆プロジェクトに取り組む団体等による活動発表やワークショップを行い、大学間の交流及び連携の促進を図る。</p>	<p>いずみ絆プロジェクト支援事業の助成対象団体の活動内容に関する報告会を実施した。</p> <p>実施回数：1回 参加団体：11団体 (上記助成対象団体10、泉区中央市民センター1)</p>	<p>6大学の発表の場として毎年1回以上開催する。</p>	
		<p>④大学間の交流促進事業 地域づくり活動を行っている学生が、大学の枠を超え学生間の連携・協働のもとで主体的・継続的に活動できるよう、地域づくり活動の交流見学会等の取り組みを支援する。</p>	<p>実施回数：3回 (10月14日：ラジオによる発信、11月23日：地域交流フェス、12月6日：区役所にて座談会)</p>	<p>地域づくり活動交流見学会等を1回以上実施する。</p>	
			A 着実に進捗した。		
			A 着実に進捗した。		
			A 着実に進捗した。		
			A 着実に進捗した。		

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 令和元年度担当課
			点検結果		
④	学校支援地域本部事業	市民が学校を支援する活動を通して、学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育成する体制を構築することにより、子どもたちに豊かな体験活動の機会を提供する。	<p>中学校区内において学校支援地域本部設置校との連携を進める支部校や連携校、連携体制づくりに関する説明や情報提供、研修等での周知により、5本部の新設を含め、市内168校において学校支援地域本部と連携した活動を取り入れることとなった。市政だよりにより学校支援地域本部事業の特集を掲載し、広く啓発を図った。</p> <p>学校支援ボランティアの延べ人数 (令和元年度) 118,669人</p>	<p>学校支援ボランティアの延べ人数を次のとおりとする。 令和元年度 113,000人 令和2年度 115,000人</p>	教育局 学びの連携推進室
			A 着実に進捗した。今後も支援内容の充実に取り組むとともに、全小中学校に対するカバー率を100%に近づける。		
⑤	市民センターにおける若者の支援	<p>①若者社会参画型学習推進事業 地域課題の解決や復興まちづくりの担い手である若者の「自分づくり」を支援するとともに、若者の学びの成果を生かした地域づくり活動等への参画を促進することにより、さまざまな人々と協働し身近な地域をより良くすることへの関心を高め、社会・地域の一員として自発的・主体的に行動できる人づくりを推進する。</p> <p>②子ども参画型社会創造支援事業 子どもたちが、地域社会の構成員として積極的にまちづくりに参加し、社会・地域の一員として行動する視点を持つことで、将来的に社会や地域で主体的に活躍できる人材育成を行う。</p> <p>③ジュニアリーダー育成・支援 ジュニアリーダーの活動に必要な知識、技術の習得を目的とした各種研修会の開催や、さまざまな社会的な活動への参加支援など、中高生のボランティア団体であるジュニアリーダーへの育成・支援を行う。</p>	<p>各区中央市民センターにおいて、受講者である若者が、地域づくり活動の参画を通して、身近な地域への関心を高め、自発的・主体的に行動することを学ぶ事業を実施した。</p> <p>講座数：5講座 受講者数：112人（新規：65人）</p> <p>各区中央市民センターおよび地区市民センターにおいて、子どもたちが地域社会の構成員としての意識を育みながら成長できるよう、子どもたち自身が主体的に参画し、子どもならではの役割と可能性を自由に発揮できる子ども参画型の事業を実施した。</p> <p>講座数：8講座 受講者数：132人（新規：94人）</p> <p>各区中央市民センターにおいて初級研修会を、生涯学習支援センターにおいて中級・上級・実践の各研修会を実施した。</p> <p>初級研修会受講者：128人 中級研修会受講者：64人 上級研修会受講者：50人 実践研修会受講者：47人</p> <p>ジュニアリーダー登録者数：421人 (新規登録者数：153人)</p> <p>①から③の総計での新規参加者の割合：36.3% ジュニアリーダー活動率：74.4%</p>	<p>事業参加者に対する新規参加者の割合を2割以上、ジュニアリーダー育成支援に関しては、活動率を75%以上とする。</p>	教育局 生涯学習支援センター
			A 着実に進捗した。今後も社会や地域で活躍できる人材の育成に取り組む。		

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 令和元年度担当課
			点検結果		
(2) 町内会等の地縁団体その他地域で活動する団体による地域を活性化する活動の促進					
①	地域防災リーダー養成・支援事業	<p>仙台市地域防災リーダー（SBL）の養成を進めるとともに、SBLのスキルアップや情報の共有、ネットワーク化の推進等を図るため、バックアップ講習等を実施し、自主防災活動の活性化を図っていく。</p>	<p>平成28年度以降は600人程度の人数を維持していく方針としてSBL養成講習会を実施している。 令和元年度は新たに98人をSBLとして認定した。 また、平成24年度～30年度に認定したSBLを対象としたバックアップ講習会を全市で7月に、区毎に10月～12月の期間で開催し、自主防災活動の活性化に向けたSBL相互の情報共有やスキルアップを図った。</p> <p>平成24年度～令和元年度までの養成人数：890人</p>	<p>毎年度新規養成を図り、600人程度を維持していく。</p>	危機管理室 減災推進課
			A	着実に進捗した。今後は女性や若い世代の積極的な養成、またSBL配置数の地域間バランスに配慮した養成に取り組む。	
②	地域コミュニティ体 力強化事業	<p>町内会加入や活動への参加を促進するため、加入率の低いマンション等居住者や、活動の担い手として期待される定年退職者をはじめ、幅広い市民を対象として町内会活動に関する啓発を行う。</p> <p>町内会の担い手の発掘・育成と円滑な組織運営を支援するため、町内会役員等に対する講座を開催する。</p> <p>地域課題の解決に取り組む地域活動団体が、それぞれの取り組み状況等について情報交換を行い、互いの活動を学び合う交流会を開催することにより、一層の活動意欲の向上や取り組みの活性化を図る。</p>	<p>町内会役員担い手講座を計14回開催した。 （のべ受講者数：579人）</p> <p>地域活動団体交流会を開催した。 （令和2年1月18日）</p>	—	市民局 地域政策課
			—	予定通り取り組みを進めた。	
③	市民センターにおける地域を担う人づくり支援推進事業	<p>市民センターにおいて、地域住民等による地域の現状把握や課題共有、地域づくりの担い手育成やネットワーク形成等を図る事業や取り組みを実施することにより、地域を担う人づくり支援をさらに推進する。</p>	<p>地域づくりにおける担い手育成やコミュニティ形成等をテーマとし、地域課題の発掘と解決を図るため、令和元年度は27地区において実施した。</p>	—	市民局 地域政策課
			—	予定通り取り組みを進めた。	

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
			点検結果		
④	区役所のまちづくり拠点機能の強化事業【再掲】	<p>地域団体による地域の特性に応じたきめ細かな地域づくりを進めるため、効果的な支援を実施できる組織の体制を充実させるとともに、区役所の政策形成力の向上を図る。</p> <p>様々な情報や人材が集まる市民センターにおいて、そのコーディネート機能を活かし、地域団体間のネットワーク形成を図るとともに、市民センターと区役所が一体となった地域づくりを推進する。</p> <p>地域団体と区・総合支所が協働して地域課題の解決を図るため、ふるさと支援担当による「ふるさと底力向上プロジェクト」等を実施する。</p>	<p>平成29年度より配置されたふるさと支援担当が、地域活動団体等との協働により、特定地域の困難課題解決のためのモデル事業「ふるさと底力向上プロジェクト」およびその他の各区の地域特性に応じた事業等に取り組んだ。また、平成30年度から各区中央市民センターの体制を強化し、所管区内地区館支援を充実させるとともに、各事業を通し区役所等との連携を図り、地域の特性を踏まえたきめ細かな地域づくりを進めるための各種事業を実施した。</p>	—	市民局 地域政策課 各区 まちづくり推進課 各区 ふるさと支援担当
			—	<p>着実に取り組みを進めた。今後、ふるさと底力向上プロジェクトの進捗管理や振り返りを適切に行うとともに、区役所のまちづくり拠点機能のさらなる強化について関係部署と協議・検討を進める。</p>	
⑤	町内会等住民自治組織育成事業	<p>町内会等住民自治組織の活性化を図るため、財政的支援を行うとともに、町内会の運営に資する研修や町内会等役員永年勤続表彰式等を実施する。</p> <p>また、近年課題となっている、集合住宅等における町内会形成の促進を図る。</p>	<p>町内会等育成奨励金をはじめとした各種助成金等の交付や各区役所において町内会長等を対象とした研修、一定年数を務めた町内会長等に敬意と謝意を示すための市長表彰を実施したほか、マンションのコミュニティ形成を進めるためリーフレットやチラシ等による周知等を行った。</p> <p>研修会実施回数：30回（各区研修15回、町内会役員担い手講座14回、地域活動団体交流会1回） 町内会等育成奨励金交付世帯数：405,051世帯</p>	—	市民局 地域政策課
			—	<p>予定通り取り組みを進めた。</p>	
⑥	地域安全対策事業	①仙台市防犯団体に対する補助金交付事業 犯罪のない安全な地域づくりのため、地域の防犯活動を実施する防犯協会等の運営に要する経費に対し、補助金を交付する。	<p>補助金交付件数：79件</p>	—	市民局 市民生活課
		②仙台市地域安全安心まちづくり事業 地域ぐるみの安全なまちづくりを促進し、もって市民が安全に暮らすことのできる地域社会の実現を図るため、地域において自主的な防犯活動を行う団体の活動に要する経費に対し、補助金を交付する。	<p>安全安心まちづくりに自主的に取り組む地域の防犯ボランティア団体の活動への支援を実施した。</p> <p>補助金交付件数：17件</p>	<p>仙台市地域安全安心まちづくり事業補助件数について、毎年度20件程度補助する。</p>	
		③落書き消去支援事業 各区・総合支所の担当部署において、消去活動に取り組む個人・団体等に活動に必要な用具（消去剤、ウエス、バケツ等）の貸出を行う。	<p>貸出件数：0件</p>	—	
—	<p>貸出件数が0件であったため、今後、消去活動に取り組む団体等に対し、制度の周知を図る。</p>				

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況		担当課 ※（ ）内は 令和元年度担当課
			点検結果	プランにおける目標等	
⑦	交通安全事業	<p>①地域等と取り組む交通安全運動の実施 各区・総合支所の担当部署において、町内会、交通安全協会、学校、交通指導隊、警察などと連携し、交通ルールと正しい交通マナーの実践に向けて地域での交通安全啓発活動を実施する。</p> <p>②仙台市交通安全指導団体への支援 地域における交通安全活動を実施するボランティア団体の運営および活動費の一部を支援する。 また、各区等において各地区等交通安全協会の活動に対し補助金を交付する。</p> <p>③PTAによる交通安全誘導活動への支援 市内小学校の通学路等における交通安全誘導活動および啓発活動に使用するブルゾンやベスト等の用品を提供する。</p>	<p>町内会、交通安全協会、学校、交通指導隊、警察などと連携し、春と秋の交通安全運動をはじめとした各種街頭キャンペーンや定期的な交通指導、学校等において交通安全教室を実施した。</p> <p>仙台市交通安全母の会連合会の事務局として連合会の運営を支援した。また、仙台市交通安全母の会連合会および各地区交通安全協会等の活動に対し補助金を交付した。</p> <p>補助金交付件数：9件</p> <p>仙台市PTA協議会を通じ、市内小学校100校にブルゾンやベスト等の用品を提供した。</p> <p>本市の年間交通事故死者数：21人</p>	<p>「第10次仙台市交通安全計画」における本市の年間交通事故死者数の目標値（17人以下）となるよう、関係機関・団体との協働による交通安全運動を積極的に推進する。</p>	市民局 自転車交通安全課
			B	年間交通事故死者数が目標値を上回ったものの、その他事業に関しては着実に取り組み、概ね進捗した。	
⑧	小地域福祉ネットワーク活動推進事業	<p>高齢者、障害者、子育て家庭等、誰もが住み慣れた地域で自立して安心した生活が送れるよう、見守り活動やサロン活動等の地域における支え合い・助け合い活動を推進するため、地区社会福祉協議会を実施主体として、町内会や民生委員児童委員、ボランティア団体等の福祉団体と連携しながら実施する地域福祉活動の費用の一部を社会福祉法人仙台市社会福祉協議会を通じて助成する。</p>	<p>市内104の地区社会福祉協議会が実施する小地域福祉ネットワーク活動に係る費用の一部を社会福祉法人仙台市社会福祉協議会を通じて助成した。また、担い手の育成やスキルアップのための研修会を開催した。</p> <p>助成件数：104件 地域福祉活動従事者研修会開催数：11回 (年12回開催予定のところ、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から1回中止)</p>	<p>地域福祉活動従事者への研修会を各区・支部事務所において年2回以上開催する。</p>	健康福祉局 社会課
			A	着実に進捗した。今後とも市全体の福祉力を向上させるために、関係機関と連携して支援を進めていく。	

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 令和元年度担当課
			点検結果		
	⑨ 老人クラブ活動への支援	助成金の交付や研修等を通して、老人クラブ活動等の一層の活性化を図り、高齢者の生きがいや健康づくりを推進するとともに、地域での支え合い活動の充実を図る。	老人クラブに対し、地域社会福祉活動に関する助成金の交付を行った。なお、地域社会福祉活動研修については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止した。 地域社会福祉活動を行う老人クラブの割合：53.6%	毎年度各区で研修を実施することにより、地域社会福祉活動を行う老人クラブ数の割合を令和2年度までに45%以上に増加させる。	健康福祉局 高齢企画課
			A 着実に進捗した。		
	⑩ 地域での子育て支援団体に対する活動支援	育児サークルや子育てサロン、託児ボランティアなどの地域における子育て支援活動の活性化を図るとともに、地域でのネットワーク活動を推進し、研修や交流会を開催するほか、子育て支援活動団体の登録による広報等の支援を行う。	育児サークルや子育てサロン、託児ボランティア等さまざまな子育て支援団体を登録し、本市のホームページで詳細を公表することなどにより、活動の活性化につなげている。 登録団体数：144団体 育児サークル、子育てサロン：111団体 託児ボランティア：3団体 さまざまな子育て支援団体：30団体	毎年度の登録団体数160団体程度を維持していく。	子供未来局 総務課
			B 登録団体数が減少してはいるが、概ね進捗した。地域における子育て支援活動をさらに活性化させるため、広報等の支援を行っていく。		
	⑪ 子どもの居場所づくり支援事業	食事の提供や学習支援などを通じて、子どもが安心して過ごせる居場所である「子ども食堂」の運営団体に対して開設・運営費の助成を行うとともに、ネットワーク会議を開催し、運営のノウハウの共有を図る等の支援をする。	子ども食堂運営団体への助成事業も2年目を迎え、制度が周知されてきた。運営費の助成を継続するとともに、ネットワーク会議の開催により団体間の情報共有などの支援を行った。申請団体数は25から34に増加した。	—	子供未来局 子供家庭支援課
			— 予定通り取り組みを進めた。今後は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ネットワーク会議の開催が困難な状況にあるが、支援を続けていく。		
	⑫ 地域子育て支援クラブ等各種団体への支援事業	児童福祉の推進と青少年の健全な育成を図るため、地域子育て支援クラブや青少年健全育成団体等へ助成金を交付する。	助成金交付団体数 地域子育て支援クラブおよび同協議会：85団体 青少年健全育成団体：10団体	—	子供未来局 子供相談支援センター
			— 予定通り取り組みを進めた。		

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 令和元年度担当課	
			点検結果			
⑬	多様な主体との連携によるごみ減量・リサイクル推進	①地域でのごみ減量・リサイクル推進 町内会やクリーン仙台推進員、環境団体、学生、事業者等と行政との連携により、地域でのごみ減量・リサイクル推進に向けた課題を共有しながら、排出実態調査の実施やごみ分別講座、アレマキャンペーンなど、効果的な啓発活動や環境美化活動を推進する。	<p>クリーン仙台推進員ごみ集積所排出実態調査 調査に参加した推進員数：872人 調査に参加した推進員以外の協力者数：871人 調査集積所数：1,624か所 ごみ減量調査啓発を実施した団体数：353団体 (調査に参加した町内会等の団体数)</p> <p>「WAKE UP!!仙台秋のごみ減量キャンペーン」 食品ロス削減に向けた取り組みを実施 ・食品ロスダイアリー市民モニター回答者：534人 ・食品ロス削減市民セミナー等参加者：363人 ・生ごみ堆肥化モデル事業参加世帯数：34世帯</p> <p>WAKE UP!!CAMPUS事業（学生による学生向けのごみ分別を呼び掛けるプロジェクトチームが行う啓発活動） 参加大学数：1大学15人</p> <p>環境施設を見る会 参加団体数：98団体</p> <p>ごみ分別出前講座の実施：78回</p>	令和2年度までに、町内会等と行政との協働によるごみ減量等啓発を実施する団体数300以上を目指す。	環境局 家庭ごみ減量課	
			A 着実に進捗した。市民協働によるごみ減量PDCAサイクルの構築を図りながら、取り組みを進めて行く。			
		②集団資源回収事業 資源物（紙類・布類・アルミ缶等）の有効利用を図るとともに地域コミュニティづくり等に資するため、地域で集団資源回収を実施する団体の活動を支援する。	<p>集団資源回収実施団体に奨励金を交付し、広報物として「集団資源回収のてびき」、リーフレットを配布。</p> <p>集団資源回収実施団体：1,314団体 (全町内会数に占める割合：94.5%)</p>	<p>集団資源回収実施団体の全町内会数に占める割合を90%以上とする。</p>		
			A 着実に進捗した。実施団体数維持のため、今後も引き続き活動支援を行っていく。			
		③クリーン仙台推進員制度 ごみの適正排出、減量・リサイクルの促進、生活環境の保全のため、地域で取り組むリーダーを育成するとともに、その活動を支援する。	<p>クリーン仙台推進員制度委嘱者：2,495人 (推薦町内会の割合：57.3%) 排出実態調査実施推進員数：872人 (参加推進員割合：35.0%)</p>	<p>令和2年度までに、クリーン仙台推進員を推薦する町内会の割合を60%以上、排出実態調査を実施するクリーン仙台推進員の割合を40%以上を目指す。</p>		
			B 委嘱町内会の割合は前年から減となったものの、クリーン仙台推進員制度委嘱者は増加し、また、排出実態調査に参加した推進員は人数、割合ともに前年度から大幅に増加しており、概ね進捗した。次年度は推進員のいない町内会に推薦を呼び掛けていく。			

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 令和元年度担当課
			点検結果		
		④ ごみ集積所維持管理の支援 地域住民によるごみ集積所の清潔保持や環境美化の取り組みを支援するため、集積所の維持管理に関する助言や、啓発ポスターおよび飛散防止用ネットの配布を行う。 また、町内会等の申請に基づき、市が集積所の管理状況等を診断し、排出状況等が優秀な場合に、「五つ星集積所」として顕彰し、適正排出・適正管理を促進する。	飛散防止用ネット配布数：1,867枚 五つ星集積所診断数：75か所 (うち五つ星集積所認定数：57か所)	—	
			— 予定通り取り組みを進めた。ネットの配布数は前年度を上回った一方で、五つ星集積所の診断件数は、前年度を若干下回ったことから、令和2年度も地域への働き掛けを継続していく。		
⑭	農あるふるさとづくり支援事業	農業を基軸とした地域における地域の特性と資源等を活かした住民主体の地域づくり活動の推進を図るため、地域団体が自主的に取り組む事業に対して助成金を交付する。	農業体験、農産物の試食会などを行うイベントに対し、助成を行った。 助成金交付実績：3件	毎年度の交付件数を2件程度とする。	経済局 農政企画課
			A 着実に進捗した。		
⑮	スポーツ推進に係る支援事業	①仙台市スポーツ推進委員協議会 仙台市スポーツ推進委員により、本市が行う体育・スポーツ振興事業への参画および推進や地域スポーツ振興のための啓発や調査・研究、地域団体との連絡調整、地域住民へのスポーツ等の技術指導を行う。 ②仙台市学区民体育振興会連合会育成補助 地域住民すべてがスポーツ・レクリエーションに親しみながら健康増進を図り、その活動を通して地域づくりを進めている仙台市学区民体育振興会連合会に助成する。 ③仙台市スポーツ協会育成補助 種目別競技団体による市民の体育を振興し、健全なスポーツ精神を養成している仙台市スポーツ協会に助成する。	仙台市スポーツ推進委員協議会が行うスポーツ振興事業に要する経費に対し、補助金を交付した。 — 着実に取り組みを進めた。スポーツ振興事業の推進、地域スポーツ振興を図るため、引き続き同協議会への支援を行う。 仙台市学区民体育振興会連合会が行う地域住民を対象としたスポーツ振興に関する事業に要する経費に対し、補助金を交付した。 — 着実に取り組みを進めた。地域スポーツ活動を通じた健康増進、地域づくりを進めるため、引き続き同連合会への支援を行う。 仙台市スポーツ協会が行う各種競技会、体力・競技力向上等に関する事業に要する経費に対し、補助金を交付した。 — 着実に取り組みを進めた。市民の体力・競技力向上を図るため、引き続き同協会への支援を行う。	— — —	文化観光局 スポーツ振興課

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況		プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 令和元年度担当課
			点検結果			
⑩	①⑥ まちづくり支援専門家派遣事業 【再掲】	市民が主体的に行うまちづくり活動を支援し、地域の特性や資源を活かした個性あるまちづくりを推進するため、まちづくりを行う団体に対し、本市に登録しているまちづくり専門家を派遣することにより、専門的な助言やまちづくりに関する情報提供等を行う。	地域団体からの相談に応じてまちづくり専門家を派遣し、専門的な助言やまちづくりに関する情報提供等を行い、地域主体のまちづくり活動を支援した。 派遣地区：11地区		令和元年度～2年度における派遣地区を単年度平均で15地区以上とする。	都市整備局 都市計画課
			B 目標に沿う水準で概ね進捗した。今後も地域における制度の活用が図られるよう、引き続き、さらなる周知に努める。			
	①⑦ みんなでつくろう地域交通スタート支援事業	公共交通のサービスレベルが低い地域などにおいて、町内会や商店会など地域の方が主体となり、乗合タクシーの運行など地域の足の確保に向けて取り組む場合に、事業の立ち上げを下記①②により支援する。 ①運行計画検討における助言や技術的な支援をする交通の専門家の派遣 ②試験運行や実証運行に係る経費の一部補助	市民協働による地域の足の確保へ向け、宮城野区燕沢地区において、下記支援を行った。 ・地域主体の乗合タクシー試験運行の実施に対する運行経費の一部補助 ・実証運行計画策定等における専門家（コンサルタント）の派遣		—	都市整備局 公共交通推進課
		— 予定通り取り組みを進めた。今後も、公共交通のサービスレベルが十分ではない地域などにおいて活用されるよう、周知に努める。				
⑩	①⑧ まち再生・まち育て活動支援事業	今後の都市の持続ある発展を担う、地域主体のまちづくりを推進するため、まちの再生やまちを育てるエリアマネジメント等の活動を継続的に支援する。また、行政と地域が連携してエリアマネジメントに取り組んでいくための仕組みづくりを行うとともに、他地域において同様の取り組みを展開していくための課題の整理を進める。	都市再生推進法人である一般社団法人荒井タウンマネジメントと協力し、国へ都市公園内における広告事業の実施が可能となるよう要望した結果、現行法の改正に至った。 また、地域のエリアマネジメント団体が主体的に行う、民有地や道路や公園などの公共空間を利活用した回遊性の向上、賑わいの創出に資する取り組みについて支援した。 支援プロジェクト件数：2件（エリアマネジメント2団体）		エリアマネジメント活動の支援プロジェクト件数を、平成30年度の1件に対し、各年度1件ずつ増加させる。	都市整備局 市街地整備課 地下鉄沿線まちづくり課 都心まちづくり課
			A 着実に進捗した。			

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 令和元年度担当課
			点検結果		
⑱	各種緑化支援事業	<p>市民との協働により緑化の推進を図るため、下記の事業を行う。</p> <p>①花壇づくり助成事業 地域の公有地（学校除く）に10㎡以上の花壇をつくる町内会や老人クラブ、子ども会など地域の団体を対象に、材料や管理に係る費用の一部を支援する。</p> <p>②花いっぱいまちづくり助成事業 道路や広場等公共の空き地や道路に面するショーウィンドウ等にプランターや花壇を設置し管理する事業を行う商店街に対し、材料や管理に係る費用の一部を支援する。</p> <p>③緑化木植栽助成事業 緑豊かな街並み形成を目的に、自らの労力で直接樹木を植栽しようとする町内会や老人クラブ、市民活動団体などを対象に、植栽に要する資材の費用の一部を支援する。</p>	<p>各種緑化支援事業などを通し、民有地緑化を推進した。</p> <p>①～③の助成による花壇等面積：19,373㎡ 花壇づくり助成件数：281件(18,351㎡) 花いっぱいまちづくり助成件数：7件(834㎡) 緑化木植栽助成件数：3件(188㎡)</p>	—	建設局 百年の杜推進課
			— 予定通り取り組みを進めた。		
⑳	市民参加によるみどりのまちづくり事業	<p>①緑の活動団体 緑豊かな杜の都づくりを行うため、本市内における緑の保全・創出・普及に係る活動を自主的に行う団体を「緑の活動団体」として認定し、交流会の開催や緑の活動体験事業の共催などを通して支援する。</p> <p>②公園愛護協力会 公園の除草清掃、花壇の管理、遊具等の点検などを自主的に行う団体である公園愛護協力会への活動支援として刈払機の貸出、報償金の支給や、功労者としての表彰・推薦等を行う。</p>	<p>認定団体数：25団体 助成件数：7件 交流会開催数：1回 交流会参加率：48% 体験事業実施数：17回</p>	<p>団体相互の情報交換や共有を図るため、交流会を年2回以上開催するとともに、緑の活動の更なる普及・啓発に取り組むため、体験事業を年3回以上実施する。</p>	建設局 百年の杜推進課
			A 着実に進捗した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2回目の交流会が中止となったが、体験事業を17回開催した。		
			<p>各団体へ報償金の支給や刈払機の貸出等の活動支援を行うとともに、功労者の表彰・推薦を行った。</p> <p>新規結成：20団体</p>	<p>新規結成を毎年度15団体以上とする。</p>	建設局 公園課
A 着実に進捗した。					

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 令和元年度担当課
			点検結果		
⑳	区民協働まちづくり事業	<p>市民と行政との協働により、地域特性に応じたきめ細かな地域づくりを推進する。</p> <p>①企画事業 市民の創造性と意欲を最大限に生かし、地域課題の解決、地域の活性化および特色ある地域づくりを推進する。事業実施後においては、評価を適切に行いながら、事業の一層の充実や見直しを図っていく。</p> <p>～令和元年度各区の主な企画事業～ (青葉区) 仙台の昔を伝える紙芝居作り・上演事業 大倉ダム魅力発信事業 (宮城野区) 宮城野盆踊り普及事業 すずむしの里づくり事業 (若林区) 若林わくドキまち歩き 合唱のつどい (太白区) ディスカバーたいはく 秋保ミュージアム環境整備支援事業 (泉区) 泉ヶ岳悠・遊フェスティバル 七北田川クリーン運動</p>	<p>企画事業数</p> 青葉区： 11事業 宮城野区： 8事業 若林区： 14事業 太白区： 13事業 泉区： 14事業	—	各区まちづくり推進課、ふるさと支援担当 宮城総合支所まちづくり推進課 秋保総合支所総務課、ふるさと支援担当
		—	予定通り取り組みを進めた。		
		<p>②まちづくり活動助成事業 市民の自らの創意工夫による自主的・自発的な区内の課題解決、地域コミュニティの活性化、地域や区の魅力を高める活動に対し、活動費の一部を助成する。助成を通じて、自主的・自発的なまちづくり活動が、地域に根差した継続的で自立した活動へと発展するよう支援していく。</p>	<p>助成件数</p> 青葉区： 8件 宮城野区： 7件 若林区： 3件 太白区： 5件 泉区： 5件	—	
			—	予定通り取り組みを進めた。	

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 令和元年度担当課
			点検結果		
②②	ふるさと底力向上プロジェクト 【区役所のまちづくり拠点強化事業の一部再掲】	<p>地域団体と区・総合支所が協働して地域課題の解決を図るため、ふるさと支援担当による「ふるさと底力向上プロジェクト」を実施する。</p> <p>～令和元年度事業の例～ (青葉区) 学生の参加による地域づくり推進 荒巻包括ケアシステムモデル事業 (宮城総合支所) 作並・新川地区活性化 (宮城野区) つるがや地域連携・活動マッチング (若林区) 六郷東部地区現地再建まちづくり (太白区) 生出地区活性化支援 (秋保総合支所) 秋保体験観光創出支援 (泉区) 郊外居住地区の課題対応 泉西部地区活性化</p>	<p>実施事業数</p> 青葉区： 2事業 宮城総合支所： 2事業 宮城野区： 1事業 若林区： 1事業 太白区： 1事業 秋保総合支所： 1事業 泉区： 3事業	—	各区ふるさと支援担当 宮城総合支所ふるさと支援担当 秋保総合支所ふるさと支援担当 他
			— 予定通り取り組みを進めた。		
②③	婦人防火クラブ活動支援事業	婦人防火クラブの育成強化と活動の活発化を図るため、運営および活動を支援する。	<p>火災予防知識の習得および技術の向上を図る訓練や研修会を実施した。 街頭での防火キャンペーンなど地域に密着した活動を実施した。</p> <p>延べ活動回数：377回</p>	<p>地域における火災予防を推進するため、婦人防火クラブの活動を支援する。(婦人防火クラブ活動回数：年間500回程度)</p>	消防局 予防課
			B 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、年度末に予定されていた春季火災予防運動等の活動は自粛することとなったが、概ね進捗した。		
②④	コミュニティ・スクール導入の検討	地域総ぐるみで子どもの学びと成長を支える体制づくりを進めていくため、本市の実情に合ったコミュニティ・スクールの導入について検討を行う。	<p>コミュニティ・スクール検討委員会を6回開催し、本市の実情やこれまでの地域とともに歩む学校づくりを基にした「仙台版コミュニティ・スクール」の在り方について検討を行った。</p> <p>8月に全市立学校長に対して研修を実施し、導入に向けた制度の理解促進を図った。</p> <p>検討委員会の報告を受け、令和2年度からのコミュニティ・スクール導入に向けて、「仙台市立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」を制定し、取り組むべき方策をまとめた。</p>	<p>令和元年度 モデル校(地区)決定・導入準備、学校運営協議会設置 令和2年度 コミュニティ・スクール推進事業開始、先進導入校による学校運営協議会設置</p> <p>※令和元年度目標変更</p>	教育局 学びの連携推進室
			B 6回の検討委員会を開催し、報告書を提出した。制度に係る規則を制定するなど、全市立学校・園での導入に向けて、概ね進捗した。		

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 令和元年度担当課
			点検結果		
②⑤	PTA活動振興事業	学校・家庭・地域社会が連携し、心豊かにたくましく生きる子どもの育成に取り組むことを目的として、PTA活動を支援する。	PTA指導者研修会やPTAフェスティバル等の開催を通し、PTA活動推進者育成やPTA活動の支援を行った。 「PTA活動振興」や夏季休業期間中の「学校プール開放事業」に係る補助金の交付を行った。 共催事業件数：6件	仙台市PTA協議会との共催事業を毎年度3件以上実施する。	教育局 生涯学習課
			A 着実に進捗した。今後、PTA活動の意義をより広めていくことが重要である。		
②⑥	学びのコミュニティづくり推進事業	地域のさまざまな団体が連携し、子どもと大人の交流や自然体験・社会体験の機会を提供する事業を実施する。各事業は、学校や市民センターも関わりながら実施し、地域の教育力向上からの地域コミュニティ活性化を目指す。	主に小学校区を中心として活動している地域団体が連携し、子どもと大人が交流しながら活動する事業を実施した。 委託団体：5団体（新規1団体）	委託団体を毎年度7団体以上とする。	教育局 生涯学習支援センター
			B 新規団体は1団体に留まったが、委託団体は前年度同様5団体となり、概ね進捗した。広報等の工夫を重ね、委託団体増に努める。		
(3) 地域社会の一員である事業者による社会貢献活動の促進					
①	市民活動サポートセンターにおける事業者の社会貢献活動促進に関する支援	市民活動サポートセンターにおいて、事業者の社会貢献活動事例の紹介や市民活動団体等に関する情報提供、他の主体との意見交換の場の創出など、事業者による社会貢献活動を促進させるための支援を行う。	まちづくりの担い手となる多様な主体が集まり、地域の課題解決やまちの魅力づくり等をテーマに、仙台のまちづくりについて交流を深め対話する機会として「超！マチノワ」を開催したほか、NPOや事業者、行政など多様な主体が共に地域課題について検討を行う場を設けた（2テーマ）。 また、機関誌「ぱれっと」において、事業者による社会貢献活動や協働事例を紹介した。 超！マチノワ 参加者数 : 524人 ポスター展示 : 2事業者 ブース出展 : 1事業者 地域課題の検討（2テーマ） 参加事業者数 : 5事業者 「ぱれっと」 掲載件数 : 8件（10事業者）	事業者が他の主体と交流・意見交換等ができる場となる取り組みを、毎年度2案件以上実施する。	市民局 市民協働推進課
			A 着実に進捗した。		

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 令和元年度担当課
			点検結果		
②	地元企業等の環境活動の促進	①環境配慮事業者認定制度 環境に配慮しごみの減量やリサイクルの推進等に積極的に取り組んでいる事業者を「エコにこマイスター」として認定し、環境保全に関する取り組みを推進する。また、認定事業者の優れた環境配慮の取り組みを市民や事業者へ情報発信する。	認定制度の店舗や事業所の区分を廃止し、対象範囲を市内で事業活動を行うすべての事業者に拡大するとともに、その取り組み内容に応じて「エコにこマイスター」、「エコにこゴールドマイスター」の2段階の認定を行う「仙台市環境配慮事業者（エコにこマイスター）認定制度」に発展させた。また、認定事業者の一覧をウェブサイト公表するとともに、その取り組み内容を紹介する事例集を作成・配布するなどの情報発信を行った。 環境配慮事業者認定制度の認定店舗・事業所等の数：491	環境配慮事業者認定制度の認定事業者数を増やし、令和2年度までに認定事業所・店舗等を450以上とする。	環境局 廃棄物企画課
		②アメニティ・せんだい推進協議会 市民活動団体・事業者・行政で構成する「アメニティ・せんだい推進協議会」を設置し、エコフェスタの開催や講師派遣等を行い、ごみ減量・リサイクルや環境美化について広く市民に周知する。	「エコフェスタ2019」来場者数：12,000人 3R講師派遣事業実施回数：20回 「3Rわかる本2020」発行：15,000部	アメニティ・せんだい推進協議会事業におけるエコフェスタ開催での来場者数を10,000人以上、3R講師派遣の実施回数を25回以上とする。	環境局 家庭ごみ減量課
		③仙台まち美化サポートプログラム 市民活動団体や事業者、学校等が道路や公園等の清掃活動を継続して行い、ごみの散乱のない快適なまちづくりを進める。	登録団体数：258団体（前年度比8団体増）	まち美化サポートプログラム登録団体数を260団体以上とする。	環境局 家庭ごみ減量課
③	地元企業の地域活性化活動等の促進	仙台市中小企業活性化条例に掲げる、「従業員の仕事と生活の調和」「地域社会の発展」および「市民生活の向上」に努め、他の中小企業の模範となる市内中小企業を表彰することにより、表彰企業の認知度や従業員のモチベーションを高めるとともに、他中小企業の取り組みへの波及を図る。	仙台「四方よし」企業大賞の実施 有効応募数：9件 初の試みとして令和2年1月28日開催「仙台市中小企業成長フォーラム」にて受賞企業の公開審査を行った。また、制度を「仙台「四方よし」宣言企業」へのエントリー方式に改め、受賞企業は宣言企業の中から当面2年に1度の頻度でコンペにより選出することとした。	毎年度15社以上の有効応募数を確保する。	経済局 経済企画課
			A 着実に進捗した。		
			B 概ね進捗した。3R講師派遣事業については引き続き事業実施について広く周知広報を行っていく。		
			A 着実に進捗した。参加団体数をさらに増やすため、今後も引き続きプログラムの広報に取り組む。		
			B 応募数は目標に届かなかったが、一定の応募数があり概ね進捗した。今後は、歴代受賞企業・宣言企業の四方よしな取り組みの広報・PRに力を入れて取り組み、宣言企業の拡充に努めていく。		

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 令和元年度担当課
			点検結果		
④	協力事業所表示制度	①消防団協力事業所表示制度 従業員が2人以上消防団員であるなど、消防団活動に協力していると認められる事業所を協力事業所として認定し、災害対応や訓練参加へのさらなる配慮など、企業の社会貢献により消防団員が活動しやすい環境を促進する。	新規認定事業所数：5事業所 (認定事業所数：78事業所、増減数：-2事業所)	毎年度、新規の認定事業所を5事業所程度増加させる。	消防局 総務課
		A 新規事業所は5事業所認定し、着実に進捗した。一方で、消防団員の高齢化等による退団により、認定取り消しとなる事業所が増加している。今後はさらなる制度の広報に努めるとともに、若手消防団員の確保を推進する。			
		②応急手当協力事業所表示制度（杜の都ハートエイド） 自動体外式除細動器（AED）を設置し、かつ応急手当に関する講習を修了した従業員等が勤務している事業所を協力事業所として登録し、事業所近隣で発生した心肺停止傷病者の対応を行ってもらうなど、企業の社会貢献により応急手当を推進する。	登録施設数：1,282事業所 民間施設および市有施設新規登録数：102施設	毎年度50事業所程度増加させる。 応急手当協力事業所表示制度に登録されている事業所へのAED等の維持管理状況の定期的な確認及び救命講習受講を促し、応急手当能力の向上を図る。	消防局 救急課
			A 目標を上回り、着実に進捗した。		
(4) 多様な主体の交流の促進					
①	せんだい3.11メモリアル交流館における協力事業	地域団体、教育機関等による震災メモリアルや地域の魅力発信にかかる展示や催しに対し、せんだい3.11メモリアル交流館として場の提供や情報発信などによる協力を通して、多様な主体の交流の促進を図る。	せんだい3.11メモリアル交流館の協力事業（広報・企画・運営・会場使用等に関する協力）として、地域団体等の催し等を下記のとおり開催した。 開催数：34件	せんだい3.11メモリアル交流館の協力事業として、地域団体等による催し等を令和2年度に30件以上開催する。	まちづくり政策局 防災環境都市・震災復興室
			A 着実に進捗した。人と人の交流を通じて震災の記憶や地域の魅力を発信し、継承する拠点として、地域団体等による継承の取り組みが今後も継続的に展開されるように、連携・協力の取り組みをより一層進める。		

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 令和元年度担当課
			点検結果		
②	防災フォーラム等の実施	「仙台防災枠組」に基づき、防災に関わる多様な主体が学び・発信する機会を確保するため、市民参加型のフォーラム等を継続的に実施する。	令和元年11月、仙台国際センターで「世界防災フォーラム」「仙台防災未来フォーラム」「震災対策技術展」を同時開催。本市は、11月10日に「仙台防災未来フォーラム」を主催し、セッションやブース展示、体験型イベントなどを通じて市民が防災を学び、日頃の活動を発信できる機会を提供した。 また、令和2年3月に「仙台防災未来フォーラム2020」を無観客にて開催し、その様子を撮影した動画を仙台防災未来フォーラム2020ホームページにて公開した。	延べ来場者数を次のとおりとする。 令和元年度 8,000人 世界防災フォーラム 1,000人 仙台防災未来フォーラム 3,000人 震災対策技術展 4,000人 令和2年度 3,000人	まちづくり政策局 防災環境都市・震災復興室
			延べ来場者数：11,200人 (世界防災フォーラム3,900人、仙台防災未来フォーラム3,700人、震災対策技術展3,600人)		
			A 着実に進捗した。多様な市民が防災等に関する発信や共有を行う場を確保するため、今後も引き続き「仙台防災未来フォーラム」の開催に取り組む。		
③	地域活動団体交流会【地域コミュニティ体力強化事業の一部再掲】	地域課題の解決に取り組む地域活動団体が、それぞれの取り組み状況等について情報交換を行い、互いの活動を学び合う交流会を開催することにより、一層の活動意欲の向上や取り組みの活性化を図る。	令和2年1月18日にメディアテークにおいて開催した。 来場者数：110人	—	市民局 地域政策課
			— 予定通り取り組みを進めた。		
④	市民活動サポートセンターにおける多様な主体の交流促進のための支援・環境整備	多様な主体の交流が促進され、新たな課題に対して創意工夫により解決策を生み出し続ける「創発」によるまちづくりが推進されるよう、市民活動サポートセンターにおいて、多様な主体が集まり、意見を交わし、交流を深める機会を提供する。	まちづくりの担い手となる多様な主体が集まり、地域の課題解決やまちの魅力づくり等をテーマに、仙台のまちづくりについて交流を深め対話する機会として「超！マチノワ」を開催し、その中で交流会を設けた。 また、活動者の定期交流会を年5回開催したほか、若い世代の活動者交流会を1回開催した。	令和元年度～2年度の多様な主体の交流促進を目的としたプログラムの延べ参加者数を、毎年度100人以上とする。	市民局 市民協働推進課
			参加者数：超！マチノワ 524人（うち交流会122名） 定期交流会 67人（5回計） 若者交流会 114人		
			A 着実に進捗した。		

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 令和元年度担当課
			点検結果		
⑤	文化活動団体への支援による交流促進	<p>新たな文化交流・創造・発信の促進を図るため、公益財団法人仙台市市民文化事業団を通して市民の自主的な文化活動に対し以下の支援を行う。</p> <p>①市内の文化団体等が実施する文化芸術の振興及び郷土の歴史継承を目的とする事業などに対し、経費の一部を助成する。</p>	<p>市内の文化団体等が実施する文化芸術の振興および郷土の歴史継承を目的とする事業などに対し、経費の一部を助成した。</p> <p>助成件数：149件</p>	<p>文化活動団体に対し、毎年度130件程度助成を行う。</p>	文化観光局 文化振興課
		<p>②イベント等の制作面での協力をを行う。</p>	<p>イベント等の制作面での協力を行った。</p> <p>協力件数：78件</p>	<p>毎年度50件程度、文化活動団体との協力事業を実施する。</p>	
		<p>③季刊誌「まちりよく」に情報を掲載し広報支援を行う。</p>	<p>季刊誌「まちりよく」に情報を掲載し広報支援を行った。</p> <p>支援件数：167件</p>	<p>—</p>	
			<p>A 着実に進捗した。今後も引き続き当該事業の周知に取り組む。</p>		
			<p>A 着実に進捗した。今後も引き続き当該事業の周知に取り組む。</p>		
			<p>— 昨年度よりも件数は減少したが、多くの事業の広報支援を行った。今後も引き続き当該事業の周知に取り組む。</p>		
⑥	区民まつり	<p>地域や世代を超えた交流によるコミュニティの活性化および区民のふるさと意識の醸成を図ることを目的に、区民との協働によるまつりを実施する。実施にあたっては、多くの市民が関わるような事業環境を構築するなど、より一層のまつりの魅力の創出を図る。</p> <p>～ 各区・総合支所のまつり ～ (青葉区) 青葉区民まつり (宮城総合支所) 宮城地区まつり (宮城野区) みやぎの・まつり (若林区) 若林区民ふるさとまつり (太白区) 太白区民まつり (秋保総合支所) まつりだ秋保 (泉区) 泉区民ふるさとまつり</p>	<p>開催日</p> <p>青葉区民まつり： 11月 3日 宮城地区まつり： 11月 2日 みやぎの・まつり： 10月20日 若林区民ふるさとまつり： 11月 4日 太白区民まつり： 11月 4日 まつりだ秋保： 11月10日 泉区民ふるさとまつり： 8月31日</p>	<p>—</p>	各区まちづくり推進課 宮城総合支所まちづくり推進課 秋保総合支所総務課

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 令和元年度担当課
			点検結果		
⑦	地域づくりの担い手等の交流等推進事業	<p>太白区役所内の組織の横断的な取り組みと体系的な事業展開により、地域づくりの担い手の交流や人材不足の解消を目的とした事業を実施し、地域づくりの活性化を図る。</p> <p>①単位地域における交流等推進事業の実施</p>	<p>区内市民センター3館で下記事業を実施した。</p> <p>太白区中央市民センター（地区館）： 「わがまち防災・減災実践講座」 西多賀市民センター：「広げよう福祉の輪」 山田市民センター：「楽元の森プロジェクト」</p>	<p>区内市民センター3館で実施する。</p>	太白区 中央市民センター
		<p>②地域づくりの担い手のステップアップを支援する交流事業</p>	<p>地域づくりの担い手および潜在的な担い手を対象とした交流事業として、「ぷらっと交流市場（バザール）inたいはく」を開催した。</p> <p>参加団体数：21団体 来場者数：168人</p>	<p>区全体のステップアップの交流会を年1回開催する。</p>	太白区 まちづくり推進課
⑧	学びのコミュニティづくり推進事業【再掲】	<p>地域のさまざまな団体が連携し、子どもと大人の交流や自然体験・社会体験の機会を提供する事業を実施する。各事業は、学校や市民センターも関わりながら実施し、地域の教育力向上からの地域コミュニティ活性化を目指す。</p>	<p>主に小学校区を中心として活動している地域団体が連携し、子どもと大人が交流しながら活動する事業を実施した。</p> <p>委託団体：5団体（新規1団体）</p>	<p>委託団体を毎年度7団体以上とする。</p>	教育局 生涯学習支援センター
			<p>B 新規団体は1団体に留まったが、委託団体は前年度同様5団体となり、概ね進捗した。広報等の工夫を重ね、委託団体増に努める。</p>		

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	プランにおける目標等	担当課 ※（ ）内は 令和元年度担当課
			点検結果		
(5) 多様な主体の活動等に関する情報の収集および発信の促進					
①	まちづくり活動事例集の作成	町内会等のまちづくり活動に関する事例を紹介する活動事例集を、内容の充実を図りながら毎年度作成し、地域づくりに関する情報提供を行う。	町内会等のまちづくり活動に関する事例集「おらほ！のまちづくり」第10号を発行した。	—	市民局 地域政策課
			—	予定通り取り組みを進めた。	
②	各種広報ツールを利用した情報発信	協働の手引き・事例集（平成29年度作成）の活用と協働ナビゲーションサイト（平成30年度公開）の運用を通じて、積極的な情報発信を図る。また、「みやぎNPOナビ」※を活用した市民活動団体の情報発信機会の充実を図るほか、仙台市公式ホームページや内閣府ポータルサイトの活用によるNPO法人の情報公開を行う。 ※みやぎNPOナビ…宮城県内の市民活動団体の情報を一元的に検索できるポータルサイト。県内の自治体や中間支援組織10団体からなる「みやぎNPO情報公開システム運用協議会」で運営。	協働の手引き・事例集を各種イベントにて配布・展示したほか、協働ナビゲーションサイトにおいて、協働取り組み事例や各種支援制度、相談窓口等の紹介を行い、積極的な情報発信に取り組んだ。 また、仙台市内の団体を対象に「みやぎNPOナビ」への登録呼びかけを行ったほか、仙台市公式ホームページや内閣府ポータルサイトを活用し、NPO法人の情報公開を迅速に行った。 協働ナビゲーションサイトアクセス件数：11,770件	協働ナビゲーションサイトのアクセス件数を毎年度5,000件以上とする。	市民局 市民協働推進課
			A	着実に進捗した。	
③	市民活動サポートセンターにおける情報の収集・発信に関する支援	市民活動サポートセンターにおいて、市民活動・協働に関する情報収集・提供、相談対応など、多岐にわたる市民活動がさらに活発になるよう支援を行う。	市民活動サポートセンターにおいて、市民活動や協働に関する情報収集・提供等により、市民活動の支援を行った。 ホームページアクセス数：30,123件 ブログ投稿数：292件	市民活動サポートセンターのホームページのアクセス件数を毎年度33,000件以上、ブログ投稿数を毎年度200件以上とする。	市民局 市民協働推進課
			B	概ね進捗した。より分かりやすい情報を提供していく必要がある。	
④	ボランティアセンターにおける各種支援等 【再掲】	市民を対象に、ボランティアの基礎的な知識や心構え、援助技術の習得などを目的として、テーマ別のボランティア講座や研修を開催する。また、ボランティアに関する各種の情報提供を行いながら、ボランティアに関する相談および調整を行う。	地域ニーズに応じたボランティア育成講座を開催するとともに、ボランティア登録団体等への情報提供、相談および調整を行った。 ボランティア育成講座数：15講座 延べボランティア育成講座受講者数：249人 ボランティア登録団体数：733団体	ボランティアセンターへの登録団体数を、令和2年度までに400団体以上とする。	健康福祉局 社会課
			A	着実に進捗した。ボランティアの広がりや活動者のスキルアップが地域課題解決につながるよう、引き続き担い手育成に取り組んでいく。	

Ⅲ 市民協働事業

仙台市と多様な主体による市民協働事業について、実施状況を掲載しています。

市民協働事業

次の2つの要件を満たす事業

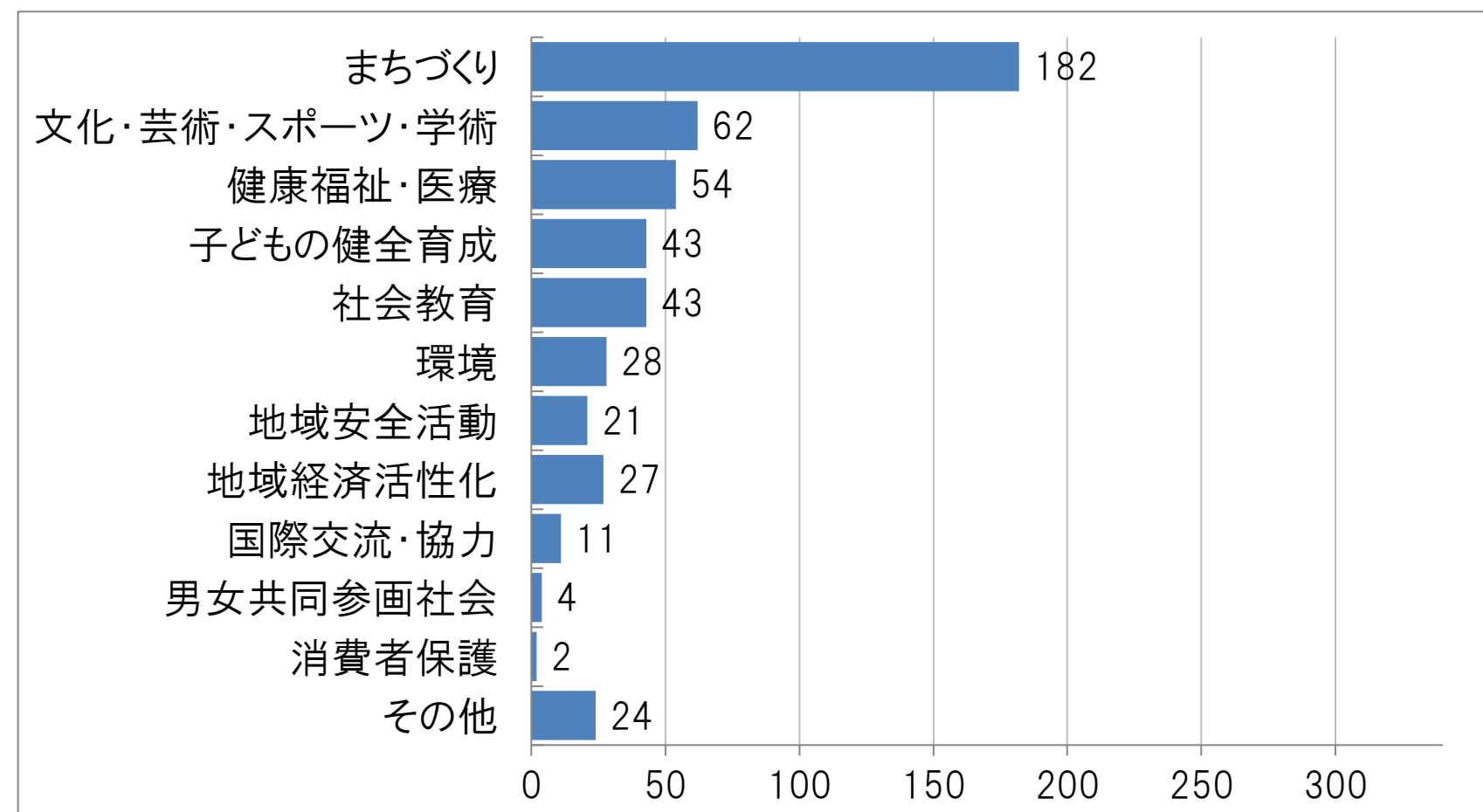
- ① 市が町内会等の地域団体、市民活動団体、教育機関、企業等と、互いに主体性・当事者性を持って連携している事業であること
- ② 営利を主たる目的とせず、地域課題の解決やまちの魅力の向上を図るための事業であること

市民協働事業の総数 326事業

「事業分野」・・・ 事業の分野は、「まちづくり」が182事業(55.8%)であり、次いで「文化・芸術・スポーツ・学術」が62事業(19.0%)、「健康福祉・医療」が54事業(16.6%)と続きます。

「協働の相手方」・・・ 協働の相手方は、「市民活動団体」が186事業(57.1%)であり、次いで「地域団体」が145事業(44.5%)、「教育機関等」が77事業(23.6%)と続きます。

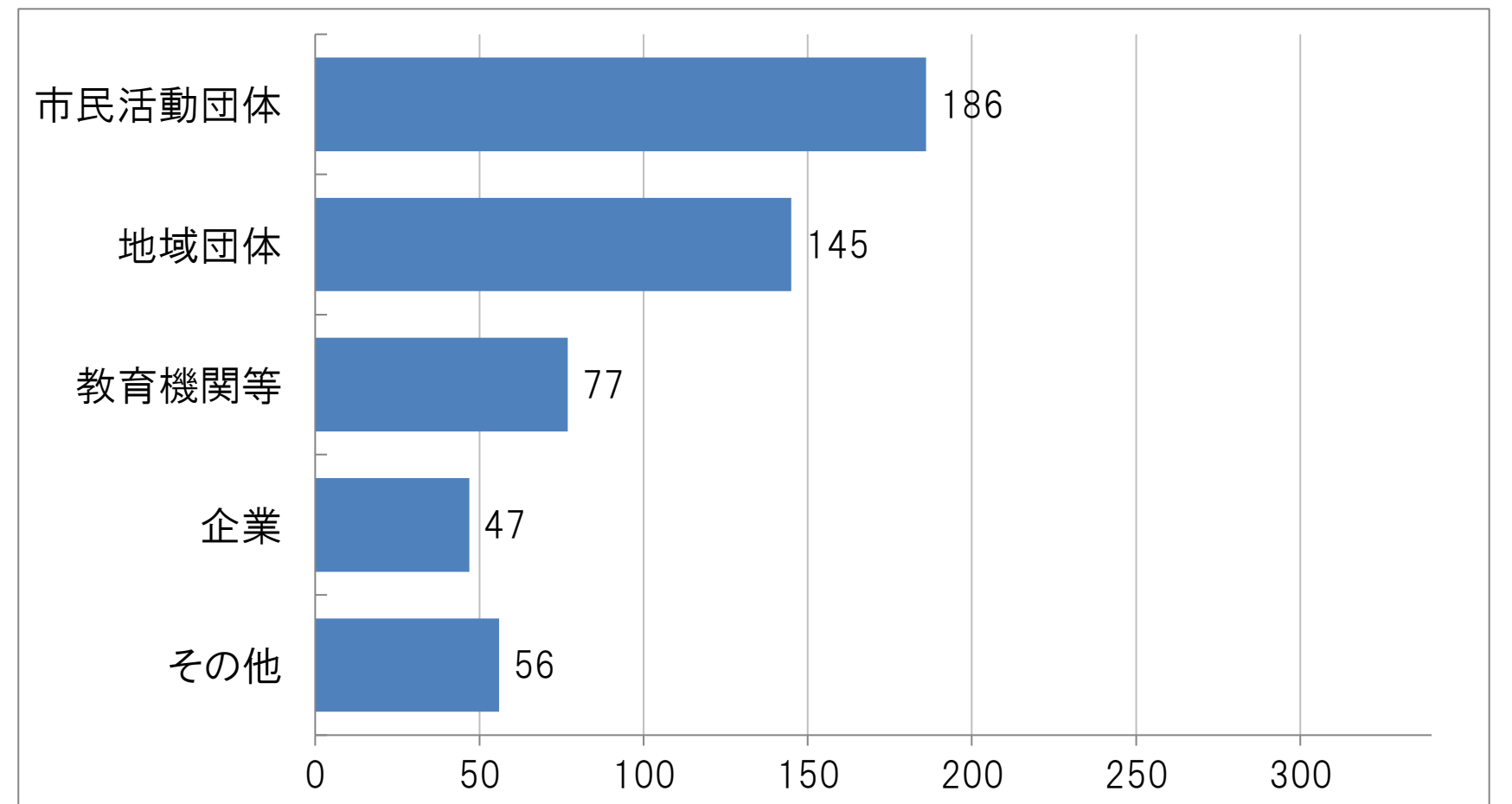
事業分野



※複数の分野に該当する事業があります

(単位：事業)

協働の相手方



※協働の相手方が複数に該当する事業があります

(単位：事業)

さまざまな協働の相手方とともに、まちの魅力向上や交流促進を図る取り組みを進めました。また、仙台若者アワードや大学連携地域づくり事業など、次の世代のまちづくりの担い手となる、若者に着目した協働事業にも取り組みました。

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
1	民間企業と連携した災害時における支援体制整備	災害時に不足することが見込まれる資源を充足するため、民間企業や関係団体と応援協定を締結し、災害時における支援体制を構築する。	企業や各種団体等との協定締結:215件 (うち、8件を令和元年度に締結)	健康福祉・医療, 地域安全活動, その他	企業、各種団体等	—	危機管理室防災計画課、各協定所管課
2	広報紙等配布謝礼金	「仙台市政だより」等の配布に対する謝礼として、町内会等の配布団体に年1回謝礼金を交付する。	謝礼金交付実績: 1,415件	その他	市政だより等の配布を行っている団体	74,825	総務局広報課、健康福祉局健康政策課、各区総務課、議会事務局調査課、水道局総務課
3	中心部震災メモリアル拠点の整備	【中心部震災メモリアル拠点の検討に関する市民参加イベント】 中心部震災メモリアル拠点の基本構想を検討するにあたり、現在の検討状況を市民にお知らせするとともに、幅広く意見を募り、今後の議論を深めるため、一緒に考えるワークショップ等を開催する。	参加者数:71人	まちづくり, その他	市民の参加者	1,935	まちづくり政策局防災環境都市・震災復興室
4		【中心部震災メモリアル拠点の検討に関する市民参加型検討委員会】 中心部震災メモリアル拠点の基本構想を検討するにあたり、市民参加イベントにおける意見を振り返りながら、傍聴者にも発言を求めつつ、議論を深めるため、有識者で構成する検討委員会のうち1回を市民参加型で開催する。	参加者数:50人	まちづくり, その他	市民の参加者	1,108	
5	区民参画イベント	新総合計画での区別計画策定に向け、区ごとに区民参画イベントを開催し、幅広く意見を収集し意識醸成を図るとともに、今後の区別計画策定の参考とする。	参加者数: 青葉区 37人 宮城野区 44人 若林区 49人 太白区 46人 泉区 45人	まちづくり	市民の参加者	4,269	まちづくり政策局政策企画課
6	せんだい中高生会議	新総合計画策定に向け、中高生を対象にワークショップを開催し、仙台市のまちづくり施策について若い世代の感性での政策提案をいただくとともに、市政参画への意識醸成を図る。	参加者数:54人	まちづくり	市民の参加者(中高生)	1,522	まちづくり政策局政策企画課

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
7	郊外住宅地・西部地区まちづくりプロジェクト	【鶴が丘「支え合い」コミュニティ・まちチャレンジ事業】 高齢者向けの支え合い活動、地域花壇づくり等による環境活動、子供の学習支援等による多世代交流活動、空き家荒廃を防ぐ環境づくりを実施する。	前年度に引き続き、小学生への放課後学習教室、高齢者と子供の多世代交流イベントの開催、地域の花壇作成、空き家・空き地データベースの作成を実施した。	健康福祉・医療, 社会教育, まちづくり, 子どもの健全育成	鶴が丘一丁目町内会、鶴が丘はあとネット	3,452	まちづくり政策局プロジェクト推進課
8		【地域の高齢化を高齢者同士の助け合いで克服する仕組みづくり】 交流カフェによるみんなの居場所づくり、高齢者向けの助け合い活動、見守り安否確認、健康体操会等による健康推進活動を実施する。	前年度に引き続き、地域の高齢者を対象に、居場所づくりとしての交流カフェの運営や、庭の手入れやごみ出し等の助け合い活動、ストレッチ体操等の体操会を実施した。また、交流カフェの運営にあたっての協力金を導入した。	健康福祉・医療, まちづくり	結いの会・高森東	594	
9		【中山多世代交流センター設置事業】 多世代交流センターにおける各種教室や食堂による子供から高齢者まで地域の多様な世代が集えるコミュニティの場の創出を図る。	前年度に引き続き、多世代交流センターを拠点に、センター内の食堂と連携して、合唱等のワークショップ、歴史等をテーマとした各種講座を実施した。	健康福祉・医療, 社会教育, まちづくり, 子どもの健全育成	特定非営利活動法人中山街づくりセンター、なかやま商店街振興組合	6,840	
10		【大倉ふるさと農園整備地域活性化事業】 遊休農地を活用した市民農園の拡充による交流人口の拡大を図る。	既存区画と第一期拡充区画の一体的な運営を開始し、第二期拡充区画の現地調査を進めるとともに、農業体験による食育の推進・農園利用促進のため、保育所と連携した「体験農園試験事業」を実施した。	まちづくり, 地域経済活性化	大倉栗生町内会	1,352	
11		【泉区西部地区の「泉かむりの里観光」推進事業】 軽トラ市による交流人口の拡大、特産品の開発による地域産業の創出、農業体験を組み込んだサイクリングツアーによる地域交流の促進を図る。	前年度に引き続き、軽トラ市における地元農家による産直物等の販売や、地元の原材料を使用したゴーフレットの製造・販売、主に外国人観光者を対象とした体験型サイクリングツアーを実施。サイクリングツアーでは、新たな体験型コンテンツを拡充するとともに、アプリの開発・導入により利用者増に向けた取り組みを実施した。	まちづくり, 地域経済活性化	泉かむりの里観光協会	2,194	
12		【仙台秋保地区・地域資源を活かした観光モデル構築のための拠点整備事業】 古民家改修による観光交流拠点施設を起点とした地域内外の連携体制の強化、飲食・サイクリング等の提供による交流人口の拡大、地元食材等による地域独自産業の創出を図る。	前年度に引き続き、改修した古民家を拠点に、地元食材を使用した秋保の食のブランドづくりを目的としたワークショップや、コミュニティスペースの展開、秋保地区の名所等を巡るサイクリングツアーを実施した。また、新たに夜の魅力創出や、移住者の受入体制整備を行った。	まちづくり, 地域経済活性化	株式会社アキウツーリズムファクトリー、秋保温泉旅館組合	2,821	

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
13	[前ページ続き] 郊外住宅地・西部地区まちづくりプロジェクト	【境野地区魅力ある地域づくり事業】 直販施設等交流拠点による交流人口の拡大、里山や散策・探訪ルートの整備による地域資源の発掘、希少生物等の地域資源活用による魅力アップ創出を図る。	前年度の調査結果を踏まえ、運営効率化やサービス向上を図りながら、産直市を開催するとともに、里山や散策・探訪ルートの整備、夏休みの生き物観察会、地元美術館とコラボしたアート案山子製作・展示会を開催するなど、地域資源の活用・魅力アップに取り組んだ。	まちづくり、 地域経済活性化	さかいの地区創生会	372	まちづくり政策局プロジェクト推進課
14		【生出地区における共同農作業によるコミュニティづくり】 ビニールハウス等で農作物の栽培・収穫を共同で行い、コミュニティの場の創出を図る。また、地域のオリジナルキャラクターを活用し農作物の販売を行い、地域の認知度向上、地域ブランドの構築を図る。	遊休農地を活用し、野菜の栽培や干し柿の作成・販売などの共同農業作業を行った。また、ワークショップ形式でビニールハウスを製作するほか、地域の学校と連携した交流イベントを実施した。	まちづくり、 地域経済活性化	生出地区まちづくり委員会	419	
15		【作並温泉郷千年桜プロジェクト】 国道48号線の改良工事に伴い伐採された桜並木の復活を目指し、苗木養育ワークショップ、桜の植樹と地権者調査、市遊歩道整備にあわせた広瀬川河畔に通じる自然体験ゾーンの整備、伐採された桜を活用した小物製作ワークショップを実施する。	国道48号線の改良工事後に植樹する地域固有種の桜の調査や、伐採された桜の製材を実施した。	まちづくり、 地域経済活性化、環境	作並温泉郷千年桜プロジェクト委員会	713	
16		【鶴ヶ谷地区の多世代交流まちづくり事業「えがおプロジェクト」】 シニアや子育て世代等の多世代交流の場である居場所カフェ、地元の魅力を再発見する地元学、シニア向けのデジタルネットワーク勉強会、手作り雑貨やクラフト商品を販売するマルシェを開催する。	地域について知るための地元学、シニア向けのデジタルネットワーク勉強会を実施するとともに、多世代交流の場としての居場所カフェの開催に向けた検討を行った。	まちづくり、 地域経済活性化、文化・芸術・スポーツ・学術、子どもの健全育成	まるっとつるがや	59	
17		【坪沼農園拡充事業】 従来の市民農園よりも手厚い支援を行う「おもてなし農園」の運営・環境整備、農園参加者等を対象とした農園指導者育成プログラムの運営を行う。	おもてなし農園の運営に向けたニーズ調査や、運営に必要な環境整備を実施した。	まちづくり、 地域経済活性化	やるっちゃツボヌマ	1,140	
18	定禅寺通活性化推進事業	定禅寺通において、道路空間の再構成やエリアマネジメントの導入なども視野に入れた魅力ある空間を創出し、それをきっかけとして街中の人々の回遊性を高め、本市がより一層多くの人々を魅了する活力ある都市となることを目指す。	・会議の開催：14回(全体会・幹事会・ワーキンググループ) ・空間活用の試行的な実践：2プロジェクト ・定禅寺通の車線規制を伴う社会実験の実施(令和元年10月18日～20日) ・市民向けミーティング：2回 ・ニュースレターの発行：4回	まちづくり	定禅寺通活性化検討会、仙台商工会議所	32,679	まちづくり政策局定禅寺通活性化室

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
19	仙台市役所本庁舎建替事業に係る 仙台ラウンドテーブル	仙台市役所本庁舎の建て替えに向け、市役所のあり方、これからの仙台を担う仕組み、まちづくりなどのテーマについて、建築の専門家をはじめ、まちづくりや経済界など、さまざまな分野で活躍する市民が一堂に会して意見交換を行う、「仙台ラウンドテーブル」を開催し、地元の建築系専門家と協働して考える場を設ける。	市民と専門家による市役所本庁舎建替えシンポジウムを開催した。	まちづくり	一般社団法人宮城県建築士会、一般社団法人宮城県建築士事務所協会、公益社団法人日本建築家協会東北支部宮城地域会	721	財政局本庁舎建替準備室
20	地域力創造支援事業	【“ゆうゆうの森”プロジェクト～最終章・人とチョウの集う森づくり～】 (宮城西市民センター) 上愛子小学校の自然体験学習林“ゆうゆうの森”の整備を町内会とPTA等で行い、イベントを開催することで、互いに顔の見える関係を構築のうえ、地域づくりに主体的に参画する町内会の担い手の発掘・育成を図る。	当該事業を平成29年度より継続実施したことにより、“ゆうゆうの森”や学校周辺の自主的な整備活動が行われる等、関係団体における地域の連携がより強化された。それに伴い、次の町内会を担う人材の育成にもつながった。	まちづくり	上愛子学区連合町内会、上愛子小学校、上愛子小学校PTAお父さん委員会等	300	市民局地域政策課
21		【「みんなの荒町公園」活用事業】 (荒町市民センター) 地域の中心部にある荒町公園を活用した環境整備活動や季節に応じたイベント、地域の魅力発信のための講座等を実施することで、地域の魅力の再発見や、地域コミュニティの連携強化等、公園を核とした地域全体の活性化を図る。	公園整備を含むイベントの開催により、地域の幅広い世代が交流し、地域の魅力を再確認できる機会を創出し、地域団体の活動の活性化に寄与した。	まちづくり	荒町地区連合町内会、荒町公園愛護協力会、荒町地区老人クラブ連合会等	200	
22		【ホタルの里・坪沼プロジェクト】 (生出市民センター) 自生のホタルが見られるという地域特性を生かし、さまざまな地域団体が連携して環境保護活動を実施することで、坪沼地域内外の交流の促進を図る。	台風や大雨による影響で、計画変更が余儀なくされたものの、地域住民による主体的な活動を通じて、地域資源保全への意識が高まった。	まちづくり	坪沼北町内会、中沖町内会、板橋町内会、根添町内会、生出小学校等	300	
23		【目指そう！災害に強い長命ヶ丘】 (長命ヶ丘市民センター) 連合町内会、小中学校、市民センターで実行委員会を立ち上げ、合同で総合防災訓練を行うことで、地域コミュニティの活性化を図る。	防災訓練を毎年継続実施してきたことで、地域における防災意識の醸成、ならびに今後の活動における協力体制の強化が図られた。	まちづくり	長命ヶ丘連合町内会、長命ヶ丘小学校、長命ヶ丘中学校等	138	
24	コミュニティまつり助成	町内会、連合町内会が主催または中心となり実施するコミュニティまつりの一層の振興を図るため、その経費の一部を補助する。	コミュニティまつりの一層の振興を図るため、公益財団法人仙台ひと・まち交流財団から助成金を交付した。 助成金交付実績:421件	まちづくり	仙台市内の町内会または連合町内会(コミュニティまつりのために設けた実行委員会を含む)	13,696	市民局地域政策課

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
25	町内会等育成奨励金	地域住民により自主的に結成されている町内会・自治会の運営経費の一部を援助することにより、町内会等の育成を図り、もって地域住民の福祉の向上を図るとともに、住民の市政参加を促進することを目的とする。	町内会等育成奨励金交付世帯数：405,051世帯	まちづくり	地域住民により自主的に結成されている町内会・自治会	214,678	市民局地域政策課
26	市連合町内会長会運営補助金	市内の連合町内会組織との連絡協調を目的として活動する仙台市連合町内会長会の自主的な運営および活動に要する経費に対し補助金を交付する。	補助金交付実績：1件	まちづくり	仙台市連合町内会長会	2,800	市民局地域政策課
27	区連合町内会長協議会運営補助金	区内の連合町内会組織との連携協調を目的として活動する区連合町内会長協議会の自主的な運営および活動に要する経費に対し補助金を交付する。	補助金交付実績：5件	まちづくり	区連合町内会長協議会	4,275	市民局地域政策課
28	地区連合町内会運営補助金	地域内の町内会等の連携協調を目的として活動する連合組織の自主的な運営および活動に要する経費の一部を補助することにより、市民生活の向上等を目的とする。	補助金交付実績：112件	まちづくり	地区連合町内会	12,046	市民局地域政策課
29	地区集会所建設等補助金	地域のコミュニティの形成を図るため、地域における住民活動の拠点となる集会所施設を新築・増築・改築・修繕・建物区分購入しようとする者に対し、予算の範囲内においてその経費の一部を補助する。	補助金交付実績：39件	まちづくり	地域住民により自主的に結成されている町内会・自治会	101,168	市民局地域政策課
30	地区集会所借上補助金	地域のコミュニティの形成を図るため、地域における住民活動の拠点となる集会所施設を借上により確保しようとする者に対して、その経費の一部を補助する。	補助金交付実績：9件	まちづくり	地域住民により自主的に結成されている町内会・自治会	1,254	市民局地域政策課
31	屋外掲示板設置補助金	町内会等が屋外掲示板を設置しようとする場合において、経費の一部を補助する。	屋外掲示板設置実績：29基	まちづくり	地域住民により自主的に結成されている町内会・自治会	872	市民局地域政策課
32	協働まちづくり推進助成事業	【ハーブ栽培を核に地域包括ケアシステムのスムーズな構築を目指して】 ハーブ栽培等をツールとして、地域住民同士のふれあいの場を創出し、顔と顔の見える関係性を築くことで、地域包括ケアシステムの構築を目指す。	・ハーブ講習会 3回実施(延べ160人程度の参加) ・ハーブ挿し木苗の里親協力 約50人の協力 ・事業参加団体数 中心団体：9団体 協力団体：23団体	健康福祉・医療、まちづくり	八木山地区社会福祉協議会、八木山連合町内会、日本赤十字八木山地区奉仕団	2,520	市民局市民協働推進課

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
33		【関山街道・さくらプロジェクト】 桜を切り口に関山街道沿いの取り組みをつなぐとともに、桜の写真コンテストの実施やフォーラムの開催等により地域の魅力を発信することで、観光客や交流人口の増加を目指す。	・関山街道・桜フォトコンテストの実施 86作品の応募 ・さくらシリーズ講座の実施 4回実施 ・桜をテーマに取り組む団体との交流 3回実施 ・その他桜をテーマとしたイベントの実施 (樹木調査、植樹会など)	まちづくり、 地域経済活性化	関山街道フォーラム協議会、 愛子宿めぐり実行委員会	1,121	
34		【子どもの夢をかなえるプロジェクト(ゆめのおむすび)】 学校や社会の中で生きづらさを感じ、周囲の理解と支援を必要としている子どもたちに対して、社会に馴染むための環境を定期的に提供し、子どもたちが自分の夢や目標をかなえるためのサポートを行う。	・月1回程度ゆめのおむすび食事会の実施 8回実施(延べ52人の子供が参加) ・その他子どもたちが楽しめるように、スポーツイベントや油絵体験、クリスマスイベント等の開催	社会教育、 まちづくり、 子どもの健全育成	仙台駆け込み寺、一般社団法人SC.FIELD	1,207	
35	若者の社会参加促進事業	【仙台若者アワード】 社会課題の解決に寄与する取り組みを行う若者団体の認知度や構成員のモチベーションを高めるとともに、若者が活躍できる環境づくりに資することを目的に、社会や地域の課題解決に寄与する優れた取り組みを行っている若者団体の表彰を行う。	若者団体の社会や地域の課題解決に寄与する活動実績の募集を行い、若者団体のプレゼンテーションによる審査・表彰を行った。 説明会:2回 一次審査(ヒアリング):1回 最終審査(プレゼンテーション):1回 参加団体:17団体	まちづくり、 その他	一般社団法人ワカソク、コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	500	市民局市民協働推進課
36		【Sendai Talk Cafe】 地域課題の把握・解決などの社会的な活動に参加する若者同士が互いの活動を知り、他世代の活動参加者と交流する機会を設けることで、若者が主体となった新たな活動が生まれる土壌づくりを行う。	地域課題解決や地域貢献活動に興味・関心のある若者を対象としたトークイベントを開催した。 参加者数:48名	まちづくり、 その他	仙台若者アワード実行委員会	880	
37	協働推進人材育成事業	職員の協働に対する意識やNPOに対する理解を深め、庁内の協働推進を図る人材を育成するため、市民活動団体等へ職員を派遣する体験型研修を実施する。	参加職員数:16人 受入団体数:7団体 ・市職員を対象に事前ガイダンスを実施 ・市民活動団体等での活動体験 (1日~5日の間で選択制)	その他	受け入れ先の特定非営利活動法人等	620	市民局市民協働推進課
38	仙台市NPO法人組織基盤強化事業	NPO法人の組織運営上の事務能力・コンプライアンス意識を高めることで、法人の組織基盤を強化し、法人に対する市民の信頼を高め、協働によるまちづくりの担い手としての力の発揮につなげるため、セミナー等を実施する。	・会計・税務・労務、事務局運営、世代交代等、NPO法人の組織運営に精通した専門家によるセミナーを実施。 セミナー:5回 延べ参加者数:40人(31団体) ・会計・税務、労務その他の法人運営に関する専門家による個別相談会を実施。 参加者数:20人(13団体)	まちづくり	特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる、特定非営利活動法人せんたい・みやぎNPOセンター	2,000	市民局市民協働推進課

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
39	仙台市市民活動サポートセンター指定管理における各種事業	市民活動の促進に関する事業(施設および設備の提供、連携交流の推進、情報収集および提供、人材育成、相談、調査研究等)および協働の推進に関する事業(機会の提供、情報収集および提供、事業の支援、調査研究等)を実施する。	仙台市市民活動サポートセンターを運営し、市民活動の促進に関する事業、協働の推進に関する事業を実施した。 総利用件数:16,994件 総利用者数:63,621人	その他	特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター	9,256	市民局市民協働推進課
40	市民活動スペース(エル・パーク仙台)管理運営	男女共同参画に取り組むさまざまな市民グループの活動を支援するため、活動の場の提供、関連情報の収集と提供、市民活動相談などを行うオープンスペースを設置している。市民活動支援機能の充実を図るため、特定非営利活動法人に委託し、市民協働による運営管理を行っている。	利用者数(オープンスペース):51,101人 ワークステーション利用回数:1,472回	男女共同参画社会	特定非営利活動法人イコールネット仙台	11,142	市民局男女共同参画課
41	仙台市民間シェルター入所者支援等事業補助金	女性に対する暴力の根絶およびDV被害者に対する支援のため、特定非営利活動法人の運営する民間シェルター入所者に対する支援、DV被害者からの電話・面接相談等の実施に係る経費を補助する。	民間シェルター入所者に対する支援およびDV被害者からの電話・面接相談等の実施に係る補助金の交付を実施した。	男女共同参画社会	(DV被害者の安全確保の観点から、非公開)	2,400	市民局男女共同参画課
42	市民協働事業提案制度採択事業:多様な性のあり方の理解と課題の可視化について 多様な協働の場を創出する事業(にじいろ協働事業)	多様な性のあり方について行政・当事者・一般市民それぞれが理解を深め、この課題を自分事と捉えられる協働の場を創出することを目的に、市民団体と協働で研修講師派遣、周知啓発イベント、広報紙発行、居場所づくり事業を実施する。	講師派遣:7回 研修参加者100人超 周知啓発イベント:7月13日~14日開催、参加者数延べ880人 広報紙発行:年5回・各回5,000部発行し、市民センターや学校へ配布 居場所づくり:9回、参加者数延べ100人超	まちづくり、男女共同参画社会	東北HIVコミュニケーションズ	2,710	市民局男女共同参画課
43	防犯活動支援事業	犯罪のない安全な地域づくりのため、地域の自主的な防犯活動を実施する防犯協会等の運営に要する経費に対し、補助金を交付する。	補助金交付実績:79件	まちづくり、地域安全活動	仙台市防犯協会連合会、各地区防犯協会連合会、各単位防犯協会	21,584	市民局市民生活課
44	仙台市地域安全安心まちづくり事業	地域ぐるみの安全なまちづくりを促進し、もって市民が安全に暮らすことのできる地域社会の実現を図るため、地域において自主的な防犯活動を行う団体の活動に要する経費に対し、補助金を交付する。	安全安心まちづくりに自主的に取り組む地域の防犯ボランティア団体の活動への支援を実施した。 補助金交付実績:17件	まちづくり、地域安全活動	概ね単位町内会の区域から小学校学区程度の範囲の地域において、自主的に結成された団体	1,285	市民局市民生活課
45	国分町地区安全安心街づくり推進	仙台市安全安心街づくり条例に基づき、安全安心街づくり活動重点推進地区に指定する国分町地区における犯罪防止等を目的とした安全安心街づくりを推進するとともに、市民および来訪者にとって安心して楽しめる街・健全で魅力ある街づくりの取り組みを推進する。	国分町地区安全安心街づくり推進協議会等と連携し、下記の事業を行った。 夜間パトロール:11回 環境美化活動:1回 国分町地区安全安心パレード:1回	まちづくり、環境、地域安全活動	国分町地区安全安心街づくり推進協議会	189	市民局市民生活課

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
46	各区安全安心街づくり活動推進モデル地区事業	仙台市安全安心街づくり条例に基づき、各区において指定する安全安心街づくり活動推進モデル地区において、町内会、防犯協会、学校、区役所等が連携し、先導的かつ模範的な安全安心街づくりを推進する。	各区モデル地区において、町内会等が連携して防犯啓発活動などの安全安心街づくりに向けた事業を実施した。	まちづくり、地域安全活動	町内会、防犯協会等の地域団体、学校、警察	1,299	市民局市民生活課
47	山岳遭難防止活動団体に対する補助金	山岳遭難防止活動団体が行う山岳遭難防止事業に要する経費に対し、補助金を交付する。	補助金交付実績:3件	地域安全活動	宮城県山岳遭難防止対策協議会各支部	990	市民局市民生活課
48	地域版避難所運営マニュアル作成	指定避難所ごとに市の避難所担当課を割り当て、担当課と町内会をはじめとする地域団体、学校などの施設管理者等の3者で避難所運営に関する話し合いを行い、顔の見える関係を築きながら、「仙台市避難所運営マニュアル」を参考に、「地域版避難所運営マニュアル」を作成する。マニュアルに基づき、避難所運営訓練の実施を推進するとともに、訓練を通して検証し、必要に応じマニュアルの修正を行っていく。	地域版避難所運営マニュアル作成等支援アドバイザーの派遣:9件 指定避難所194か所中193か所のマニュアル作成済み。	まちづくり、地域安全活動	町内会等の地域団体、学校等の施設管理者	293	市民局市民生活課
49	市民協働事業提案制度採択事業:客引き対策(客引き規制条例)の実効性を高めることを目的とした「客引きを利用しない国分町のにぎわいづくり」	仙台市客引き行為等の禁止に関する条例の実効性を高めることを目的として、客引きを行っている店舗とそれを利用する客の双方に有用なツールを提供することで、客引き行為等をなくすための活動を実施する。	条例の目的、内容を理解してもらうためのセミナーや客引きに頼らないツールの説明会の開催を行った。 また、客引きを利用しないで飲食店を探すことができる「国分町グルメガイドマップ」を作成した。	まちづくり、地域安全活動	一般社団法人国分町街づくりプロジェクト	2,984	市民局市民生活課
50	杜の都の自転車プランに基づくモデル事業	各区・総合支所が選定した市内6か所のモデル地域において自転車ルール・マナーの啓発や教育活動を関係行政機関や地域の住民、学校等と連携して行い、意識の向上を促すとともに、市民に自転車利用のルール・マナーを理解してもらう。	定期的な街頭啓発、街頭や通学路における交通安全指導、学校や地域における交通安全教育などを行った。	地域安全活動	地域住民、学校、地区交通安全協会等	4,558	市民局自転車交通安全課
51	仙台市交通安全母の会連合会に対する補助事業	地域における交通安全活動を実施するボランティア団体の運営及び活動費の一部を支援する。	高齢者世帯(約800世帯)を訪問しての交通安全啓発事業、通学路等での交通安全指導の実施、高齢者や児童を対象とした交通安全教室等の開催のほか、各種交通安全キャンペーン等に参加した。 交通安全研修会等への参加:計3回 キャンペーン、交流会等の開催:計5回	地域安全活動	仙台市交通安全母の会連合会	998	市民局自転車交通安全課

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
52	消費生活パートナー事業	消費生活センターと地域をつなぐ担い手(パートナー)を養成し、連携して消費者啓発を行うことにより、消費者被害の未然・拡大防止および消費生活相談窓口の周知を図る。	消費生活パートナー養成講座やフォローアップ講座を実施するとともに、定期的に啓発等資料を送付して、地域における消費者啓発やパートナー活動を推進する取り組みを行った。 登録者数:49人	消費者保護	市民(公募による)	423	市民局消費生活センター
53	仙台市消費者団体活動補助金	消費生活に関する知識の普及や情報の提供等、消費生活の向上を図ることを目的として活動している団体に対し、事業への補助・情報提供等の支援を行う。	補助金交付実績:4件	社会教育, 消費者保護	特定非営利活動法人消費者市民ネットとうほく、仙台市生活学校連絡協議会、公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク、特定非営利活動法人環境保全米ネットワーク	1,880	市民局消費生活センター
54	福祉避難所	介護など個々の対応が必要となるため、指定避難所での対応が困難な方の避難先となる福祉避難所について、介護施設等との協定締結を進める。	令和元年度協定締結施設:3施設 (累計121施設)	健康福祉・医療	社会福祉法人仙台つるがや福祉会他2施設	980	健康福祉局総務課
55	小地域福祉ネットワーク活動推進事業	高齢者、障害者、子育て家庭等、誰もが住み慣れた地域で自立して安心した生活を送れるよう、見守り活動やサロン活動等の地域における支え合い・助け合い活動を推進するため、地区社会福祉協議会を実施主体として、町内会や民生委員児童委員、ボランティア団体等の福祉団体と連携しながら実施する地域福祉活動の費用の一部を社会福祉法人仙台市社会福祉協議会を通じて助成する。	助成金交付実績:104件	健康福祉・医療	地区社会福祉協議会	18,998	健康福祉局社会課
56	福祉まつり「ウェルフェア」	障害者の作品展やステージ発表など文化・芸術活動の発表の場を設け、障害者の創作意欲を助長するための環境の整備や必要な支援を行う。また、市民への障害に対する理解を促進するため、障害の有無にかかわらず、誰もが気軽に来場できる催しを開催する。	開催回数:2回	健康福祉・医療	仙台市障害者福祉協会(受託者)、その他実行委員会を構成する関係団体	3,028	健康福祉局障害企画課
57	表現活動による障害者差別解消・障害理解の促進に関するPR事業『TOGETHER ACTION PROJECT part4(TAP4)』	障害の有無にかかわらず気軽に参加し一緒に楽しめる、ワークショップやオープンアトリエでの音楽などの表現活動を通じた交流を行い、特に若い世代などに対する障害理解の促進を図るPR事業を実施する。	実施回数:5回	健康福祉・医療, 文化・芸術・スポーツ・学術	特定非営利活動法人とっておきの音楽祭	2,000	健康福祉局障害企画課

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
58	難病医療相談会	患者や家族の療養上の不安を解消するため、医師、保健師、看護師等が病気の理解、不安の解消、療養生活等に関する助言・指導を行う難病医療相談会について、市と実施機関の協働により企画を行う。	実施回数:30回 (委託による実施25回、各区での実施5回)	健康福祉・医療	特定非営利活動法人宮城県患者・家族団体連絡協議会(MPC)	1,503	健康福祉局障害者総合支援センター
59	仙台市給食サービスボランティア助成事業	ひとり暮らし等の高齢者で、食事の準備が困難な方へバランスの取れた食事を提供することによる健康状態の維持、コミュニケーションの確保および孤立化の防止など、高齢者の介護予防に資するため、ボランティア団体等が行う給食サービス事業に対し助成を行う。	助成金交付実績:4件 延べ配食数:52,584食	健康福祉・医療	食事サービスふたばの会、高齢者配食サービスぽけっと・はうす、けやきグループ、高齢者配食サービス「ほっと亭」	17,519	健康福祉局高齢企画課
60	老人つどいの家(好日庵)	高齢者の教養向上、レクリエーション等のために利用する老人つどいの家「好日庵」を設置する者に対し助成を行い、高齢者の心身の健康増進を図る。	助成金交付実績:84件	健康福祉・医療	老人クラブ	28,349	健康福祉局高齢企画課
61	老人クラブ活動事業助成	高齢者の福祉の増進を図ることを目的として、老人クラブの活動に対し助成金を交付する。	助成金交付実績:427件	健康福祉・医療	老人クラブ	22,142	健康福祉局高齢企画課
62	仙台市ふれあいデイホームボランティア助成事業	ひとり暮らしや閉じこもりがちな高齢者等を対象とした生活指導や軽運動、食事の提供などを通じて、生きがいづくりや健康づくり、居場所づくりを行うボランティア団体への助成を行う。	助成金交付実績:13件 延べ実施回数:803回	健康福祉・医療	ふれあいの家・さざんか、フラッシュグループ、特定非営利活動法人FOR YOUにこにこの家、ゆうゆう(結遊)、特定非営利活動法人ゆうあんどあい、ふれあいデイホーム菘、ふれあいサロンかぎとり、泉ヶ丘ふれあいデイホームろばたの会、南光台ボランティア友の会けやきの会、特定非営利活動法人でんでん宮城いきいきネットワーク、永和台ふれあいデイホームひまわり会、ふれあいサロンとみざわ、湯元ゆのはな会	10,930	健康福祉局高齢企画課
63	住民主体による訪問型地域支え合い活動促進事業	要支援者等の利用対象者を新たに受け入れる、高齢者に対する生活支援活動(訪問型サービス)を実施しているボランティア団体等に対し、助成を行う。	助成金交付実績:9件	健康福祉・医療	向陽台ささえ愛の会、百縁ひろばネットワーク、桂ボランティアの会、太白お助けクラブ、特定非営利活動法人FOR YOUにこにこの家、特定非営利活動法人地域生活支援オレンジねっと、特定非営利活動法人暮らしのサポートセンター、特定非営利活動法人仙台傾聴の会仙台支部、鶴が丘はあとネット	868	健康福祉局高齢企画課

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
64	高齢者健康増進 (生きがい健康祭)	高齢者の生きがいと健康づくりの場の充実を目的とし、高齢者保健福祉計画の重点課題の一つである「生きがいづくり・社会参加の促進」への具体的な取り組みと位置づけ、実行委員会・仙台市・公益財団法人仙台市健康福祉事業団の三者共催で毎年実施する。 (参考:生きがい健康祭とは、以下3つの総称) ①競技種目交流大会 ②市民広場交流事業 ③はつらつ健康フェスティバル	①競技種目交流大会(全17競技種目) 参加者数:1,856人 ②市民広場交流事業(関係団体・一般団体・協賛企業計30団体、その他13団体によるステージ発表) 来場者数:約10,000人 ③はつらつ健康フェスティバル 発表者:15団体512人 一般入場者数:280人 ボランティア等:79人	健康福祉・医療, 地域経済活性化, 文化・芸術・スポーツ・学術	仙台市高齢者生きがい健康祭実行委員会ほか	3,528	健康福祉局高齢企画課
65	認知症カフェ支援事業	認知症カフェの立上げや継続的な運営を支援することを目的として、研修や情報交換会を開催する。令和元年度は、認知症カフェに対して認知症当事者とパートナーを派遣して講話等を行う事業を実施。	情報交換会実施回数:2回 延べ参加者数:215人 認知症カフェへの認知症当事者・パートナー派遣(出張おれんじドア):10か所	健康福祉・医療, まちづくり	認知症介護研究・研修仙台センター、認知症カフェ開催団体(認知症の人と家族の会宮城県支部、地域包括支援センター、認知症介護家族、特別養護老人ホーム、認知症対応型グループホーム等)	482	健康福祉局地域包括ケア推進課
66	介護予防月間	介護予防の意義や重要性を広く市民に啓発し、積極的な介護予防の取り組みへの参加を促すことを目的とし、11月を介護予防月間と位置づけ関係団体と連携して実施する。	①オープニングイベント来場者数:2,214人 関係団体:19団体 ②個別催事来場者数:2,747人 関係団体:19団体 催事回数:33回	健康福祉・医療	一般社団法人仙台市医師会、一般社団法人仙台市歯科医師会、一般社団法人仙台市薬剤師会、公益社団法人宮城県看護協会、公益社団法人宮城県栄養士会、一般社団法人宮城県理学療法士会、特定非営利活動法人日本健康運動指導士会、老人クラブ連合会等	597	健康福祉局地域包括ケア推進課
67	被災者向け介護予防・コミュニティ形成事業	復興公営住宅で暮らす高齢者等は生活環境の変化の中で、ストレスなどから運動量が少なくなり、生活不活発病や閉じこもりが多くなる。これを防ぐために運動教室を実施し、生活機能改善を図り、新たな交流の場を提供することを目的とする。	実施回数:30回(市内3区全5か所) 参加者数:476人	健康福祉・医療, その他	町内会等の地域団体、地域包括支援センター等	2,339	健康福祉局地域包括ケア推進課
68	介護予防自主グループ支援事業	地域における介護予防活動の推進を目的に、介護予防運動サポーターの人材育成、介護予防自主グループ活動が継続するための後方支援を実施する。	・サポーター養成研修 実施回数:41回 参加者数:636人 ・スキルアップ研修 実施回数:32回 参加者数:1,210人 ・その他 実施回数:6回 参加者数:191人 ・市内234グループが活動中	健康福祉・医療	地域住民により自主的に結成されている介護予防自主グループ、地域包括支援センター	4,721	健康福祉局地域包括ケア推進課

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
69	認知症サポーター等養成事業	認知症に関する正しい知識を持ち、地域や職場において認知症の人や家族を支援する「認知症サポーター」を養成するため講師を派遣する。なお、養成のための講師は、講座開催のために「キャラバン・メイト養成研修」を受けた「キャラバン・メイト」が担当し、原則ボランティアの立場で行う。また、ご本人の思いや希望に耳を傾け、味方になって一緒に歩く人を「パートナー」と呼び、身近にいる当事者と話をし、やりたいことを手助けできる人を養成する「認知症パートナー講座」を実施する。認知症サポーター等を養成することにより、認知症の人や家族が安心して暮らし続けることのできる地域づくりを推進する。	キャラバン・メイト養成研修:1回(養成数53人) 認知症サポーター養成講座:225回(養成数8,108人) 認知症パートナー講座:6回 認知症パートナー講座指導者養成研修:1回	健康福祉・医療, まちづくり	「キャラバン・メイト」として登録された人、市民(認知症サポーター養成講座を受講した人等)	1,286	健康福祉局地域包括ケア推進課
70	市民健康プラン推進(3歳児カリエスフリープロジェクト85)	3歳児のむし歯有病者率の低下を目指し、乳児期健診時に歯と口の健康づくりへの動機づけを行う。	・「せんだい☆でんたるノート」、「協力歯科医療機関リスト」を各13,000部作成し、8か月児から9か月児の保護者へ啓発を実施。 ・協力歯科医療機関を対象とした研修会:1回開催、参加者44人 ・小児科医を対象とした学術研修会:1回開催、参加者55人	健康福祉・医療	一般社団法人仙台歯科医師会、一般社団法人仙台市医師会	810	健康福祉局健康政策課
71	市民健康プラン推進(がん予防啓発)	民間企業と協定を締結し、がん検診等市民健診受診に関する啓発を行う。	企業との協定締結:累計22件	健康福祉・医療	アイリスオーヤマ株式会社他21企業・団体	263	健康福祉局健康政策課
72	歯と口の健康週間 市民のつどい	歯と口の健康週間に合わせ、歯と口の健康に関する正しい知識を市民に普及啓発し、適切な健康習慣の定着を図る。	実行委員会開催数:3回 市民のつどい・来場者数:727人	健康福祉・医療	東北大学大学院歯学研究科・歯学部、一般社団法人仙台歯科医師会、仙台市私立幼稚園連合会、宮城県栄養士会等	100	健康福祉局健康政策課
73	食育推進(大学生の食育プロジェクト)	食に関心の薄い年代に対する、同世代の学生による食に関する啓発の企画・実施を行う。	①令和元年度同プロジェクトで作成の野菜レシピを使用し、PTAフェスティバル、成人式にて啓発活動を実施 レシピ配布人数:600人 ②ワークショップの開催 回数:6回 参加者数:延べ50人	健康福祉・医療	管理栄養士養成大学の学生	100	健康福祉局健康政策課
74	看護師人材確保対策事業	看護師の離職防止を目的に医療機関等に勤務した新人看護師の研修事業を実施する。	卒後1年目研修:3テーマで計7回実施 卒後2年目研修:1テーマで計2回実施	健康福祉・医療	公益社団法人宮城県看護協会	1,019	健康福祉局健康政策課

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
75	食で健康サポート店事業	健康的な食生活の推進を目的に、栄養成分表示やバランスメニューの提供等を行っている飲食店等を登録する。	登録件数:91件	健康福祉・医療	市内飲食店、食料品販売店、給食施設	60	健康福祉局健康政策課
76	受動喫煙防止宣言施設事業	県、市、全国健康保険協会宮城支部の3者の連携事業。受動喫煙防止に取り組む施設を登録し、周知する。	令和元年度登録件数:66件 (累計:1,191件、うち市内施設:642件)	健康福祉・医療	事業所、飲食店等	—	健康福祉局健康政策課
77	こころの健康づくり事業(自死遺族等に対する支援事業補助)	自死遺族に対する支え合いの活動を行っている団体を支援する。	補助金交付実績:3件	健康福祉・医療	社会福祉法人仙台いのちの電話他2団体	600	健康福祉局健康政策課
78	せんだい健康づくり推進会議	健康づくりに取り組む関係団体及び企業(ワーキング)と共に、健康づくりの取り組みを共有するほか、イベント実施等を通し、市民の健康づくり啓発に繋げる。	せんだい健康づくり推進会議を設置し、会議を開催した。また、構成団体と共に「仙台いきいき市民健康フォーラム2019」を開催し、市民に健康づくりの取り組みについて発信した。	健康福祉・医療	健康づくりを推進する関係団体及び企業	396	健康福祉局健康政策課
79	収容動物の譲渡事業	動物管理センター(アニマル仙台)に収容された犬や猫の譲渡会を実施する。	収容動物譲渡会実施回数:62回	その他	特定非営利活動法人エーキューブ	—	健康福祉局動物管理センター
80	仙台市市民協働によるHIV・性感染症予防啓発及び検査受検促進事業	(1)HIV検査を受けたことがない方の受検促進 HIV検査を必要とする人が安心して検査に行くことができるように情報提供ウェブサイトとして平成27年度に開設した、「仙台HIVネット」の運営を継続し、その周知および充実を図り、これまでHIV検査を受けたことがない方の受検を促進する。 (2)MSM(男性間性交渉者)を対象とした受検促進 HIV感染のハイリスク層であるMSMを対象とした広告掲載、広報物の配布を行い、検査受検を促進する。	(1)HIV検査を受けたことがない方の受検促進 ・情報サイト「仙台HIVネット」の運営継続 閲覧件数:4,656件 ・Twitterを用いた情報発信:エイズ・性感染症情報発信、「仙台HIVネット」のPR ・イベントでのHIV検査情報の掲示、「仙台HIVネット」の広報カード等の配布 (2)MSMを対象とした受検促進 ・MSM向けアプリケーション(バナー)広告掲載回数:年4回、各1~2週間 ・MSM向け広報物の作成・配布:6月、12月に仙台市が実施したエイズ・梅毒即日検査会並びに10月に実施した「男性限定検査イベント in 仙台」のポスター、カードを作成し、市内のMSM向け商業施設に配布(それぞれ12店舗、ポスター計80部、カード計700部)	健康福祉・医療, その他	東北HIVコミュニケーションズ	455	健康福祉局健康安全課
81	赤十字奉仕団仙台市地区本部委員会献血事業補助金交付	献血推進のため、赤十字奉仕団が行う献血事業の活動を支援する。	補助金交付実績:1件	健康福祉・医療	赤十字奉仕団仙台市地区本部委員会	275	健康福祉局健康安全課

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
82	環境衛生改善機器等整備補助金交付	ハエ・蚊等の駆除用として動力薬剤散布機、地域に繁茂する雑草の除草用として動力草刈機、下水道処理区域でない私道に敷設する準公共的な排水設備を整備する事業に補助金を交付する。	補助金交付実績:40件	健康福祉・医療, 環境	町内会、連合町内会、衛生団体連合会、公衆衛生組織等	871	健康福祉局生活衛生課
83	せんだい食の安全サポーター	食の安全サポーター会議(講習会・食品関係施設の見学)への参加を通じて、食品安全についての理解を深めながら、市民向けのパンフレット等の作成作業や食品衛生監視指導計画への意見を述べる作業などを行う。	せんだい食の安全サポーター会議:3回	健康福祉・医療	せんだい食の安全サポーター	494	健康福祉局生活衛生課
84	せんだい食の安全情報アドバイザー	リスクコミュニケーションをさらに推進するため、食品衛生監視員とともに食品の安全性に関する普及啓発を行うなど、自ら情報発信する活動を行う。	せんだい食の安全サポーター会議:3回 食品衛生普及啓発活動:1回 市民向け講演会への参加:1回 研修:1回	健康福祉・医療	せんだい食の安全情報アドバイザー	事業番号83と共通	健康福祉局生活衛生課
85	仙台すくすくサポート事業	育児の援助を受ける方(利用会員)と育児の援助を行う方(協力会員)が会員となって行う市民相互の育児援助活動であり、仙台すくすくサポート事業事務局が会員登録や仲介を行い、事務局のサポートや地域ごとの会員の統括等を協力会員の中から選任されたサブリーダーが行っていく。	日々の活動のほか、入会説明会の開催や会員向けの講習会等を実施した。	子どもの健全育成	協力会員	3,020	子供未来局総務課
86	のびすくネット仙台	コミュニティFM「ラジオ3」との共催により、子育て支援情報局「のびすくネット仙台」を放送している。毎週月曜日に仙台市の子育て支援の情報提供を行っている。	子育て支援に関する情報発信を行った。 放送回数:52回(うち半数は再放送)	子どもの健全育成, その他	ラジオ3(株式会社仙台シティエフエム)	—	子供未来局総務課
87	学習・生活サポート事業	生活困窮世帯の中学生に対し、学力の向上のための学習支援および心の安定を図る居場所の提供を行うとともに、その保護者への相談支援等を実施することなどにより、貧困の連鎖を防止することを目的とする。	平成25年度は太白区、平成26年度は太白区、青葉区でモデルを実施し、平成27年度より全区へ拡大した。 参加者数:298人	健康福祉・医療, 子どもの健全育成	特定非営利活動法人アスイク	70,002	子供未来局子供家庭支援課、健康福祉局保護自立支援課
88	子ども食堂助成金	子どもの健やかな育ちを応援するため、「子ども食堂」の運営を行っている、または行う予定の団体に対し、事業費の一部を助成する。	助成金交付実績:34件	子どもの健全育成	「子ども食堂」の運営を行っている、または行う予定の団体	7,500	子供未来局子供家庭支援課

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
89	仙台市青少年健全育成団体事業費等補助金交付	青少年の健全な育成を図るため、仙台市内で活動している青少年健全育成団体が行う事業等に対し補助金を交付する。	補助金交付実績:10件	社会教育, 子どもの健全育成	ガールスカウト仙台地区協議会、日本ボーイスカウト仙台地区協議会、仙台子どもまつり実行委員会、仙台市保護司会連絡協議会、更生保護法人宮城東華会、社会を明るくする運動仙台市推進委員会、仙台市子ども会連合会、仙台市子ども会育成会連合会、仙台市青少年健全育成協議会、仙台市児童・青少年健全育成大会実行委員会	4,052	子供未来局子供相談支援センター
90	仙台市地域子育て支援クラブ等活動補助金交付	仙台市地域子育て支援クラブ事業実施要綱に定める組織として、本市内で設立し活動する地域子育て支援クラブ等の活動に要する経費の一部を助成する。	補助金交付実績:85件	まちづくり, 子どもの健全育成	仙台市地域子育て支援クラブとして登録されている団体および、それらの団体の連絡協議会	8,850	子供未来局子供相談支援センター
91	市民協働事業提案制度採択事業:「ふれあい広場」連携拠点の試行による青少年の居場所に対するニーズの実証事業	「ふれあい広場」の連携拠点を市内複数設置することによって困難な状況に置かれた子ども・若者が求める居場所のあり方を検証する。	・毎週火～金9:30～16:00の間で週4回開所 ・毎月1回の運営会議 12回 ・毎月1回の支援スタッフの共同研修 12回	子どもの健全育成, その他	特定非営利活動法人アスイク	1,962	子供未来局子供相談支援センター
92	せんだいE-Action事業	市民、企業、行政などが協働して3E(省エネ・創エネ・蓄エネ)啓発に取り組むため「せんだいE-Action実行委員会」を組織し、各種普及啓発を行う。	・緑のカーテンの普及、打ち水、ライトダウンイベント等を実施した。 参加者数:6,867人 ・「伊達な節電所キャンペーン」を実施した。 節電実績:メガソーラ6.1基分 参加者数:229人	社会教育, まちづくり, 環境	せんだいE-Action実行委員会	6,524	環境局環境共生課
93	杜の都の市民環境教育・学習推進会議事業 (FEELSendai)	市民・NPO・学校・事業者・行政等で構成する組織により、幅広いネットワークを活用しながら環境学習プログラムの実践や環境社会実験、啓発イベント等を企画し、環境に配慮する人を社会全体で育てていくため、環境教育・学習を推進する。	・体験型環境学習プログラムを小学校等で実践した。 延べ実践件数:84件 ・市民活動団体等による環境社会実験企画を実施した。 企画数:4企画 ・啓発イベントを開催した。 来場者数:約1,400人 ・その他、環境教育に携わる若い世代の育成事業等を実施した。	社会教育, まちづくり, 環境, 子どもの健全育成	杜の都の市民環境教育・学習推進会議	5,082	環境局環境共生課

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
94	アメニティ・せんだい推進協議会	市民団体・事業者・行政で構成する「アメニティ・せんだい推進協議会」を設置。平成29年度より市民参加を求める事業への提言および意見交換の場とする部会を設置。情報交換を行うほか、ごみ減量・リサイクルや環境美化を含めた環境問題について市民に広く訴えるため、イベントの開催や冊子の発行などさまざまな活動を行う。	・エコフェスタ2019を開催した。 来場者数:12,000人 ・3R講師派遣事業を実施した。 実施回数:20回 ・冊子「3Rわかる本2020」を発行した。 発行部数:15,000部	環境	全環衛生事業協同組合、株式会社仙台市環境整備公社、一般社団法人仙台市集団資源回収業者協議会、特定非営利活動法人仙台・みやぎ消費者支援ネット、仙台市生活学校連絡協議会、みやぎ生活協同組合、生活協同組合あいコープみやぎ、ACT53仙台、公益社団法人仙台青年会議所、仙台生ごみリサイクルネットワーク、公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク、ペットボトルラベルはがし調査実行委員会、特定非営利活動法人とうほく食育実践協会	2,906	環境局家庭ごみ減量課
95	集団資源回収事業	資源物の有効利用を図るとともに、地域のコミュニティづくり等に資するため、地域における資源物(紙類・布類・アルミ缶等)の集団回収の実施団体に対し、回収量や実施回数に応じて、奨励金を交付するほか広報物の配付等を実施する。	実施団体に対し、奨励金を交付し、広報物として集団資源回収のてびき、リーフレットを配布した。 実施団体数:1,314団体	環境	町内会、子ども会等	79,583	環境局家庭ごみ減量課
96	生ごみ減量・リサイクル講座	生ごみの減量および資源としてリサイクルすることの意識向上を図るため、生ごみ減量のコツやリサイクル方法を紹介する。	生ごみ減量講座を実施した。 実施回数:6回 参加者数:100人	環境	仙台生ごみリサイクルネットワーク	311	環境局家庭ごみ減量課
97	地域清掃支援	「ごみの散乱のない快適なまちづくりに関する条例」に基づく清掃活動支援。公共の場所を清掃する団体、個人などに対し、ごみ袋の配布、火ばさみの貸与、ごみ収集の支援を行う。	ごみ袋配布枚数:大袋328,851枚 小袋109,328枚	環境	ボランティア清掃活動を行う市民、事業者、町内会等	8,075	環境局家庭ごみ減量課
98	仙台まち美化サポートプログラム	市民グループ、企業、学校などの団体が年6回以上、公共用地等の一定の区域を決めて清掃、除草等を行う場合、覚書を締結の上、ごみ袋の提供、火ばさみの貸出し、ごみの収集などの支援をする。	登録団体数:257団体	環境	ボランティア清掃活動を行う市民グループ、企業、学校等	—	環境局家庭ごみ減量課
99	クリーン仙台推進員制度	ごみの適正排出、減量・リサイクルの促進、生活環境の保全のため、地域で取り組むリーダーを育成するとともに、その活動を支援する。	クリーン仙台推進員:2,495人 クリーンメイト:1,769人 グループ学習会実施回数:7回 分別研修会開催:5区 排出実態調査:1,743人	環境	町内会、クリーン仙台推進員、クリーンメイト	8,933	環境局家庭ごみ減量課

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
100	地域ごみ出し支援活動促進事業	ごみ出しが困難で一定の要件を満たす高齢者や障害のある方に対して、ごみ出し支援活動を行う地域の団体を対象に、活動実績に応じ、奨励金を交付する。	登録団体:24団体 支援世帯数:20世帯 支援実施回数:1,436回	健康福祉・医療, 環境	高齢者や障害のある方に対して、ごみ出し支援活動を行う地域の団体	202	環境局家庭ごみ減量課
101	COC+参加大学との連携事業	学生が取材班を組織し、地元中小企業の経営者や社員に対して、企業の魅力や取り組みなどについて取材する。取材を基に、取材先の紹介記事を書き、専用WEBサイト、SNS、情報誌などで情報を発信する。	学生が地元中小企業を取材して作成した記事を情報誌(WISE)としてとりまとめ、各大学等へ配布した。併せて、専用WEBサイトに記事を掲載し情報発信を行った。 学生参加者数:12人 取材先:15社 情報誌(WISE)配布数:5,000部	地域経済活性化	仙台・地域人材定着推進実行委員会	20,700	経済局地域産業支援課
102	中心部商店街活性化促進事業	中心部商店街の賑わい維持のため、市中心部の8商店街振興組合をはじめ、仙台商工会議所、百貨店、新聞社、学識経験者、まちづくり関係者等が連携するエリアマネジメント組織の立ち上げおよび自立に向けた取り組みを支援する。併せて中心部の賑わいをフィールドとして活用し、起業促進等のモデルケース構築にも取り組む。	中心部商店街の魅力向上、回遊性の向上に資する事業として、子供向けイベントの「まちくるキッズパーク2019inサンモール(バインブレッド大会等)」、「青葉通イチとイチ(マルシェ)」などを実施した。	まちづくり, 地域経済活性化	中心部8商店街振興組合(名掛丁、クリスロード、おおまち、サンモール一番町、一番町一番街、一番町四丁目、本町、仙台朝市)	49,930	経済局地域産業支援課
103	商店街にぎわい創出事業・基盤整備支援	商店街等が地域の特性を生かし、交流人口拡大等にかかるイベント事業により地域のコミュニケーションを高め活力ある商店街づくりを行うためのイベント助成金をはじめ、商店街のソフト・ハード事業等を支援し商店街の持続的な活性化を図る。	商店街イベント助成事業:22件 商店街魅力向上支援事業:2件 商店街環境整備事業(中心部商店街大型LEDビジョン整備):1件 商店街ファンづくりサポート事業:5件 商店街交流促進事業:1件	まちづくり, 地域経済活性化	商店街振興組合および任意の商店会等	18,333	経済局地域産業支援課
104	東北大学IIS研究センター	東北大学電気・情報系研究室と企業とのマッチング・コーディネート等により、域外の研究開発型企業との共同研究開発等の推進を通じて誘致活動を実施し、併せて、地域のIT関連企業の技術力向上や販路拡大・新ビジネス参入を支援する。	延べ来訪数:155社(349人) 延べ訪問数:909社 競争的資金獲得支援:4件	地域経済活性化	東北大学	24,087	経済局産業振興課
105	農あるふるさとづくり支援事業	農業を基軸とした地域における地域の特性と資源等を活かした住民主体の地域づくり活動の推進を図るため、地域団体が自主的に取り組む事業に対して助成金を交付する。	農業体験、農産物の試食会などを行うイベントに対し、助成を行った。 助成金交付実績:3件	地域経済活性化	概ね半数以上が当該地域に住所を有する者で構成されている団体	405	経済局農政企画課

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
106	せんだい日本語講座	外国人住民を対象に行う日本語講座。青葉区中央市民センターを会場に、前期、後期と通年で基礎から中級まで10クラス実施する。講師は特定非営利活動法人ICAS国際都市仙台を支える市民の会が務める。	講座開催数:675回 受講者数:前期125人、後期125人	社会教育, 国際交流・ 協力	特定非営利活動法人ICAS国際都市仙台を支える市民の会	1,960	文化観光局交流企画課
107	日本語ティーラーム	外国人住民を対象に行う日本語講座(託児付)。八木山市民センターを会場に通年で実施する。講師は日本語ティーラームボランティアが務める。	講座開催数:66回 受講者数:55人	社会教育, 国際交流・ 協力	日本語ティーラームボランティア	300	文化観光局交流企画課
108	せんだい地球フェスタ	仙台市内の国際交流・国際協力・多文化共生等の活動を行う団体とボランティアが集まるイベントを開催する。	「せんだい地球フェスタ2019」を9月に開催し、団体紹介、ステージ発表、世界の食ブース設置等を行った。 来場者数:約7,500人 参加団体:71団体 ボランティア:74人	国際交流・ 協力	せんだい地球フェスタ実行委員会	4,422	文化観光局交流企画課
109	日本語を母語としない子どもと親のための進路ガイダンス2019宮城	日本語を母語としない親子のために、高校進学についての説明会を開催する。	「日本語を母語としない子どもと親のための進路ガイダンス2019宮城」を8月に実施し、高校進学に関する説明、教員からのアドバイス、進路相談を行った。 参加者数:31人	国際交流・ 協力, 子どもの健全育成	日本語を母語としない子どもと親のための進路ガイダンス実行委員会、宮城県国際化協会等	81	文化観光局交流企画課
110	外国につながる子どもサポートせんだい	日本語を母語としない外国人児童生徒をはじめとする、外国につながる子どもの支援を行う。	外国につながる子どもに関する相談対応およびコーディネーター派遣による支援の実施 相談受付:58件 コーディネーター派遣:15件	国際交流・ 協力, 子どもの健全育成	外国人の子ども・サポートの会、特定非営利活動法人ICAS国際都市仙台を支える市民の会、外国人支援の会OASIS	156	文化観光局交流企画課
111	日本語を母語としない小中学生のための夏休み教室	日本語を母語としない小中学生の学習の場を提供し、ボランティアによる日本語や教科の指導を行う。	「日本語を母語としない子どものための夏休み教室」を7月30日～8月2日まで実施し、教科学習および日本語学習を行った。 参加者数:外国につながる子ども延べ24人	国際交流・ 協力, 子どもの健全育成	外国人の子ども・サポートの会、特定非営利活動法人ICAS国際都市仙台を支える市民の会	273	文化観光局交流企画課
112	仙台多文化共生センター相談業務	仙台多文化共生センターにて、各種相談サービスを行う。	相談受付数:4,050件 (日本人:2,176件、外国人:1,874件)	社会教育, まちづくり, 国際交流・ 協力	外国人支援の会OASIS	13,087	文化観光局交流企画課
113	市民国際交流事業補助金	国際交流・国際協力・多文化共生等の活動を行う団体に対して、事業経費の一部を補助する。	補助金交付実績:12件	国際交流・ 協力	国際交流・国際協力・多文化共生等の活動を行う団体	1,043	文化観光局交流企画課

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
114	西部地区活性化助成事業	主要観光地である西部(秋保・作並定義・泉西部)地区において、同地域における観光振興の基盤強化や新たな観光資源の創出を促進し、交流人口の拡大および地域経済の活性化を目的に実施される地域活性化事業について助成する。	助成金交付実績:16件	まちづくり、地域経済活性化	西部(秋保・作並定義・泉西部)地区の区域内に活動拠点を有し、観光振興に寄与する活動を行う団体	10,042	文化観光局観光課
115	仙台国際ハーフマラソン大会	市民も参加できるマラソン大会を運営する。	仙台国際ハーフマラソンを開催した。 参加者数:13,198人 沿道観衆者数:76,500人	文化・芸術・スポーツ・学術	市民ボランティア、市学区民体育振興会連合会、スポーツボランティア団体	60,000	文化観光局スポーツ振興課
116	全日本大学女子駅伝対校選手権大会	大学女子日本一を決める駅伝大会を実施する。	全日本大学女子駅伝対校選手権大会を開催した。 沿道観衆者数:82,000人	文化・芸術・スポーツ・学術	市学区民体育振興会連合会	11,000	文化観光局スポーツ振興課
117	スポーツコミッションせんだい	大規模スポーツ大会の開催・支援等による本市の地域活性化を図る。	スポーツイベントについての開催支援数:8件 大会誘致数:6大会	文化・芸術・スポーツ・学術	スポーツボランティア団体、大学、報道機関、運輸機関	9,064	文化観光局スポーツ振興課
118	仙台市学区民体育振興会連合会育成補助	小学校区ごとに組織された学区民体育振興会の集合体で、地域住民すべてがスポーツ・レクリエーションに親しみながら健康増進を図り、その活動を通して地域づくりを進める。	仙台市学区民体育振興会連合会が行う地域住民を対象としたスポーツ振興に関する事業に要する経費に対し、補助金を交付した。	文化・芸術・スポーツ・学術	市学区民体育振興会連合会、120学区民体育振興会	18,728	文化観光局スポーツ振興課
119	仙台市スポーツ協会育成補助	種目別競技団体による市民の体育を振興し、健全なるスポーツ精神を養成する。	仙台市スポーツ協会が行う各種競技会、体力・競技力向上等に関する事業に要する経費に対し、補助金を交付した。	文化・芸術・スポーツ・学術	市スポーツ協会、区スポーツ協会	18,195	文化観光局スポーツ振興課
120	仙台市レクリエーション協会育成補助	市民のスポーツ・レクリエーション活動の振興と発展を図る。	仙台市レクリエーション協会が行うレクリエーションの普及・発展に関する事業に要する経費に対し、補助金を交付した。	文化・芸術・スポーツ・学術	市レクリエーション協会、区レクリエーション協会	605	文化観光局スポーツ振興課
121	市民能楽講座	能楽に関する専門性を有する仙台市能楽振興協会と連携し、能になじみのある人のもとより、初心者にもわかりやすい能の公演を開催する。	市民能楽講座を開催した。 チケット販売枚数: 能楽公演:497枚 参加者数: 能楽公演:473人	文化・芸術・スポーツ・学術	仙台市能楽振興協会	2,350	文化観光局文化振興課
122	公益財団法人仙台市市民文化事業団事業(支援・助成・協力)	市民の自主的な文化活動を支援し、新たな文化交流・創造・発信を図るための支援を行う。 ①助成事業:審査会を経て、評価項目に該当する事業の経費の一部を助成する。 ②協力事業:イベント等の制作面での協力を行う。 ③支援事業:公益財団法人仙台市市民文化事業団が発行する季刊誌「まちりよく」に情報を掲載し広報支援を行う。	①助成金交付実績:149件 ②協力件数:78件 ③支援件数:167件	文化・芸術・スポーツ・学術	事業を主催し実施する市内の団体(個人)、事業を主催し市内で実施する市外の団体(個人)	20,002	文化観光局文化振興課

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
123	音楽ホール整備検討事業	楽都としての魅力をさらに高める中核施設としてふさわしい音楽ホールの整備に向け、有識者による仙台市音楽ホール検討懇話会を設置し検討を進めるとともに、市民向けのシンポジウムを開催する。	ホールの性格と音響との関係を分かりやすく市民に示すとともに、音楽ホール整備に向けた機運醸成を図るため、市民向けの音響に関する体験講座を開催:1回	まちづくり、文化・芸術・スポーツ・学術	市民の参加者	17,528	文化観光局文化振興課
124	仙台市文化プログラム	【SHIRO Atelier & Studio ー ともにつくる芸術劇場】 美術・演劇・舞踊・音楽・メディア芸術など多様な表現を介し、障害のある人たちの自由で規範にとらわれない表現を導きだす文化芸術活動を支援・推進していく。 ・環境づくり(事業の公益化):ネットワーク設置、情報交換、ワークショップ型勉強会の実施 ・表現の場づくり(裾野拡大):文化施設を活用した定期的なアトリエ&スタジオ事業 ・芸術作品の創造(才能の発掘育成):芸術性、話題性、革新性、独創性をともなう作品の創造 ・文化プログラムの評価と検証(社会的インパクト評価):障害のある人たちの芸術文化活動に関するショーケースとシンポジウム開催	①勉強会(計1回) 参加者:5人 ②アトリエ&スタジオ事業(計5回) 参加者:152人 ③アトリエ事業(計4回) 参加者:71人 ④障害のある人と芸術文化活動の大見本市(計1回) 参加者:1,966人	文化・芸術・スポーツ・学術	特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン	2,851	文化観光局文化振興課
125		【こどもおとなあそびなかまプロジェクト!のびのびーば!】 演劇企画集団LondonPANDAが、特定非営利活動法人アートワークショップすんぷちよ、および特定非営利活動法人お茶っこケアと協働して、子どもと高齢者が共に演劇やダンス活動を楽しみ、遊び、交流する場を創造する。	演劇ワークショップ(計5回) 参加者:99人	文化・芸術・スポーツ・学術	演劇企画集団LondonPANDA	1,267	
126		【東部沿岸地域に集まる場を整えるプロジェクト】 仙台市東部沿岸地域のいろんな「地域資源/素材」を調査・発掘・収集し、その「地域資源/素材」を活用したものづくりやイベント等を行う。	焚き火と薪小屋づくりワークショップ(計3回) 参加者22人 ※第4回として企画していた焚き火まつりは新型コロナウイルスの影響で中止	文化・芸術・スポーツ・学術	荒浜のめぐみキッチン	539	
127		【AIR KAIKON 2019】 震災をテーマとして、アーティストが向き合う問題意識やカタストロフと表現について、ともに思考を深め経験を蓄えるための事業を展開する。	トークイベント(計3回) 参加者:25人 ※第4回目のトークイベントは新型コロナウイルスの影響で中止。 YouTubeでトークイベントの映像配信も実施。	文化・芸術・スポーツ・学術	AIR KAIKON 実行委員会	506	

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
128	まちづくり支援専門家派遣事業	【芭蕉の辻】 地域の課題整理と、住みやすい魅力あるまちづくり検討のための勉強会を実施する団体に対し、まちづくりアドバイザーを派遣し支援を行う。	アドバイザーを派遣し、地域に合った交通手段の実現のため、検討会を実施した。 派遣回数：計6回	まちづくり	芭蕉の辻まちづくり協議会	200	都市整備局都市計画課、 青葉区道路課
129		【あすと長町北部】 地域の課題整理と、住みやすい魅力あるまちづくり検討のための勉強会を実施する団体に対し、まちづくりアドバイザーを派遣し支援を行う。	勉強会の活動を支援するためのまちづくりアドバイザーを派遣した。 派遣回数：計5回	まちづくり	杜の広場にぎわいづくり勉強会	250	都市整備局都市計画課、 地下鉄沿線まちづくり課
130		【通町地区】 地域の特性や課題の整理、まちづくり方針や整備イメージ等の作成に向けた勉強会等を実施する団体に対し、まちづくりコンサルタントを派遣し支援を行う。	コンサルタントを派遣し、まちづくり計画案作成活動の支援、まちづくり方針の検討・整理のための支援を行った。 派遣期間：4月1日～令和2年3月31日	まちづくり	青葉神社通りまちづくり協議会	990	都市整備局都市計画課
131		【坪沼地区】 坪沼小学校跡施設の活用方法を中心とする地域振興策の検討、基本構想の作成を行う団体に対して、まちづくりアドバイザーを派遣し支援を行う。	アドバイザーを派遣し、坪沼小学校跡施設の活用方法を中心とする地域振興策の検討を行う勉強会を実施した。 派遣回数：計10回	まちづくり	坪沼地区ふるさと活性化研究会	500	都市整備局都市計画課、 太白区ふるさと支援担当
132		【将監地区】 地域の課題整理と、住みやすい魅力あるまちづくり検討のための勉強会を実施する団体に対し、まちづくりアドバイザーを派遣し支援を行う。	勉強会の活動を支援するためのまちづくりアドバイザーを派遣した。 派遣回数：計1回	まちづくり	将監町内会自治会連絡協議会	50	都市整備局都市計画課、 財政局財政企画課
133		【おおまち地区】 地域の特性や課題の整理、まちづくり構想案の作成に向けた勉強会を実施する団体に対し、まちづくりコンサルタントを派遣し支援を行う。	コンサルタントを派遣し、まちづくりの方向性をまとめたまちづくり構想案の策定に向けた勉強会を実施した。 派遣期間：4月1日～令和2年3月31日	まちづくり	今後のおおまちなまちづくりを考える勉強会	891	都市整備局都市計画課、 都心まちづくり課
134		【車町通地区】 地域の特性や課題の整理、まちづくり方針や整備イメージ等の作成に向けた勉強会および住民アンケートを実施する団体に対し、まちづくりアドバイザーを派遣し支援を行う。	アドバイザーを派遣し、地域の特性や課題整理のための勉強会および地域住民の意識等を把握するためのアンケート調査を実施した。 派遣回数：計6回	まちづくり	車町通共栄会	300	都市整備局都市計画課

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
135		【宮城野通地区】 宮城野通エリアの活性化に向けたエリアマネジメント活動の検討を行う団体に対し、まちづくりコンサルタントを派遣し支援を行う。	コンサルタントを派遣し、まちづくりの方向性や実現方策をまとめたまちづくり計画の策定に向けた勉強会を実施した。 派遣期間:4月1日～令和2年3月31日	まちづくり	仙台駅東まちづくり協議会	990	都市整備局都市計画課、 都心まちづくり課
136		【片平地区】 地域の課題整理と、住みやすい魅力あるまちづくり検討のための勉強会を実施する団体に対し、まちづくりアドバイザーを派遣し支援を行う。	アドバイザーを派遣し、検討会議などを行った。 派遣回数:計6回	まちづくり	片平地区まちづくり会	400	都市整備局都市計画課、 青葉区まちづくり推進課
137		【秋保地区】 地域の交通の課題整理と、活性化案の検討のための勉強会を実施する団体に対し、まちづくりアドバイザーを派遣し支援を行う。	アドバイザーを派遣し、検討会議などを行った。 派遣回数:計6回	まちづくり	秋保地区の交通を考える会	300	都市整備局都市計画課、 公共交通推進課
138		【元寺小路地区】 公園・広場のポテンシャルや利用ニーズを調査し、地域住民等が担い手となって公園を運営していくための勉強会を実施する団体に対し、まちづくりアドバイザーを派遣し支援を行う。	アドバイザーを派遣し、検討会議などを行った。 派遣回数:計6回	まちづくり	1,2号公園及び藤村広場におけるイベント活性化委員会	300	都市整備局都市計画課、 宮城野区公園課
139	東部地域移転跡地利活用推進事業	防災集団移転後の七北田川以南の5地区(南蒲生、新浜、荒浜、井土、藤塚)の跡地について、市民・事業者など、民間が自由な発想で自ら取り組む新たな土地利用を進める。	・事業候補者決定数:4事業者(新規:3、追加:1) ・実施事業数:1事業 カントリーパーク新浜(田植え体験、生き物観察会、収穫祭など)	まちづくり	移転跡地利活用事業候補者	706,452	都市整備局復興まちづくり課
140	生活交通運行維持対策事業	【坪沼地区】 路線バスの運行が廃止された坪沼地区において、地域の住民組織が主体となって運営している乗合タクシーについて、支援を行う。	乗合タクシーの運営を支援するため、補助金を交付した。	まちづくり	坪沼乗合タクシー運営協議会	2,431	都市整備局公共交通推進課
141		【青山地区】 青山地区に合った交通手段を実現するために設立された地域住民組織による、持続可能な地域の足の確保に向けた取り組みを支援する。	青山地区交通検討会での検討の場に参加し、関係するバス事業者や区役所等との調整を行った。大型車感知システムの設置工事を行った。	まちづくり	青山地区交通検討会	12,059	
142	みんなでつくろう地域交通スタート支援事業	燕沢地区において、地域の方が主体となって試験運行に取り組む燕沢乗合タクシー「のりあいつばめ」の取り組みを支援する。	地域交通の運行に関する専門家(コンサルタント)を派遣した。試験運行を支援するため補助金を交付した。	まちづくり	燕沢地区交通検討会	12,583	都市整備局公共交通推進課

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
143	マンション管理適正化推進事業	マンション管理の適正化の推進のため、専門家団体・行政等が、マンションの管理組合の管理運営を支援する。 市はマンション管理支援ネットワーク事業の委託、会議への参加等を、宮城県マンション管理士会は、マンション管理基礎セミナー等の企画立案や事務局としてネットワーク構成団体との調整を、その他の団体は各種事業の実施に伴う人的派遣や知的情報の提供を行う。	・情報提供啓発事業 マンション管理基礎セミナー：2回 公開相談会(セミナー併設)、 管理入門講座(セミナー併設)、 相談窓口等一覧の作成および 管理組合向けに配布 ・ネットワーク運営 全体会議(1回)、 運営会議(6回)、 各種部会(計7回) ・各団体相談事業(日常の相談対応、公開相談会の開催等)	その他	マンション管理支援ネットワーク せんだいみやぎ(事務局：一般社団法人宮城県マンション管理士会)	3,686	都市整備局住宅政策課
144	住民モビリティ・マネジメント	川平地区および鶴ヶ谷地区において、住民、交通事業者、行政が参加するワークショップ(WS)を開催し、公共交通に関する情報の提供を行うとともに、住民が公共交通機関での移動手段について考える機会と場の提供を行い、公共交通利用の機運を高め、路線バス利用の促進を図るもの。	川平地区および鶴ヶ谷地区でWSを開催し、公共交通の利用についての話し合いを実施し、地域に特化した公共交通マップや時刻表などの情報提供ツールを地域住民と作成した。	まちづくり	・川平団地町内会 ・鶴ヶ谷一丁目西町内会、鶴ヶ谷三丁目町内会、鶴ヶ谷四丁目町内会 上記のうち、WSの参加者	9,680	都市整備局公共交通推進課
135 と 同一 事業	まち再生・まち育て活動支援事業	【仙台駅東地区】 仙台駅東エリアの活性化に向けたエリアマネジメント活動の検討を行う団体に対し、支援を行う。	エリアマネジメント活動推進団体の運営支援および、同団体が行う道路・公園などの公共空間や民地のオープンスペース等を使った実験的な試み(イベントの開催)の企画支援を行った。 協議会設立記念シンポジウム開催支援 民有地対象物件数：1件 公共空間対象物件数：3件	まちづくり	仙台駅東まちづくり協議会	1,782	都市整備局都市計画課、 都心まちづくり課
145		【青葉通地区】 青葉通エリアの活性化に向けたエリアマネジメント活動の検討を行う団体に対し、支援を行う。	エリアマネジメント活動推進団体の運営支援および、同団体が行う道路・公園などの公共空間や民地のオープンスペースなどを使った実験的な試み(イベントの開催)の企画支援を行った。 民有地対象物件数：0件 公共空間対象物件数：1件	まちづくり	青葉通まちづくり協議会	—	都市整備局都市計画課、 都心まちづくり課

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
146	ストック活用型都市再生推進事業 (せんだいリノベーションまちづくり)	遊休不動産を所有する不動産オーナーや起業を目指す方々へ、リノベーションまちづくりに関する情報発信を行うことに加え、シンポジウムやセミナーの開催を通じて、継続的にまちづくりに携わる意欲のある人材の発掘・育成を図るとともに、リノベーションまちづくりを持続的に担う民間主導の体制構築を目指す。 また、民間不動産のリノベーションや公共空間の利活用を推進することでエリア全体の価値を高め、新たな賑わいを創出するとともに、魅力ある都市空間の構築を目指す取り組みを行う。	8月と2月に、人材の発掘・育成を目的に、「せんだいリノベーションまちづくりシンポジウム」を開催した。 また、前年度に実施したスクールの受講生が主体となり、道路・公園などの公共空間や民地のオープンスペースなどを使った実験的な試み(イベントの開催)の支援を行った。 セミナーの開催数:2回 民間不動産対象物件数:0件 (平成28年度からの延べ対象件数:6件) 公共空間対象物件数 :12件 (平成28年度からの延べ対象件数:22件)	まちづくり	せんだいリノベーションまちづくり実行委員会の委員が主体となる地域団体	7,836	都市整備局都心まちづくり課
147	私道等整備補助	私道等の整備補助金交付要綱に基づき、町内会等が一般公衆の用に供されている私道の整備または災害復旧を行う場合、一定の要件を満たすものについて市がその経費の一部を補助する。	補助金交付実績:14件	地域安全活動	町内会等	50,877	建設局道路管理課
148	街路灯整備補助	仙台市街路灯補助金交付要綱に基づき、町内会等が私道に街路灯を設置する場合に、市がその経費の一部を補助する。	補助金交付実績:140件	地域安全活動	町内会等	12,941	建設局道路管理課
149	街路灯電気料補助	町内会等が私道に設置している街路灯の電気料について、市がその経費の一部を補助する。	補助金交付実績:572件	地域安全活動	町内会等	30,596	建設局道路管理課
150	仙台雪道おたすけ隊	市が管理する道路の除雪を行う地域の任意団体を対象に、凍結防止剤の提供や除雪作業物品等の貸与を行う。	登録団体数:56団体 (うち令和元年度登録団体数:7団体)	地域安全活動	仙台雪道おたすけ隊登録団体	—	建設局道路保全課
151	仙台市歩道等除雪機械購入補助金	市が管理する道路の除雪を行う団体を対象に、小型除雪機械の購入に対し、購入金額の9割を補助する。	補助金交付団体数:114団体 (うち令和元年度補助金交付団体数:4団体)	地域安全活動	仙台雪道おたすけ隊登録団体、町内会	1,145	建設局道路保全課
152	ふるさとの杜再生プロジェクト	復興のシンボルのひとつとなる事業として、市民・NPO・企業等の力を結集し、海岸防災林や海岸公園、居久根など、東部地域のみどりの再生に取り組んでいく。 また、地元町内会、NPO、復興支援団体、緑の活動団体、仙台市公園緑地協会等が参加する「仙台ふるさとの杜再生プロジェクト連絡会議」を設置し、プロジェクトへの市民参加のプラットフォームとする。	・仙台ふるさとの杜再生プロジェクト連絡会議開催数:6回 ・市民植樹の実施回数:2回 ・市内外の児童生徒との協働による植樹・育樹:2回 ・育樹会の実施回数:6回	まちづくり、 環境	仙台ふるさとの杜再生プロジェクト連絡会議	35,226	建設局百年の杜推進課

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
153	緑の活動団体の認定 緑の活動団体助成金	みどりの協働の担い手を得ること、市民が広くみどりづくりに参加しやすい環境をつくることを目的に、「杜の都の環境をつくる条例」に基づき、緑の保全・創出・普及活動を行う団体を認定する。また、その活動に対し助成金を交付する。	緑の活動団体認定団体数:25団体 助成金交付実績:7件	まちづくり, 環境	緑の活動団体	312	建設局百年の杜推進課
154	花壇づくり助成事業	地域の公有地(学校除く)に10㎡以上の花壇をつくる町内会や老人クラブ、子ども会など地域の団体を対象に、材料や管理にかかる費用の一部を助成する。	公益財団法人仙台市公園緑地協会による助成金交付実績:281件	まちづくり, 環境	地域団体等	10,451	建設局百年の杜推進課
155	花いっぱいまちづくり助成事業	道路や広場等公共の空地、道路に面するショーウィンドウ等にプランター・花壇・つり花などを設置する商店街を対象に、材料や管理にかかる費用の一部を助成する。	公益財団法人仙台市公園緑地協会による助成金交付実績:7件	まちづくり, 環境	商店街	2,857	建設局百年の杜推進課
156	緑化木植栽助成事業	緑豊かな街並み形成を目的に、自らの労力で直接樹木を植栽しようとする町内会や老人クラブ、市民活動団体などを対象に、植栽に要する資材の費用の一部を助成する。	助成金交付実績:3件	まちづくり, 環境	地域団体等	797	建設局百年の杜推進課
157	仙台市公園愛護協力会	公園ごとに組織され、公園の除草清掃、遊具施設の点検通報活動、園芸講習会や適正利用等に関する公園愛護思想の普及など地域におけるきめ細かな活動に取り組み、地域コミュニティづくりにも貢献する。	結成数:1,319団体	まちづくり, 環境	仙台市公園愛護協力会各会	41,401	建設局公園課
158	仙台市河川愛護会	河川環境美化活動を地域社会の運動として広く普及・推進するため、各河川愛護団体の連合組織として昭和43年に結成。現在では、20団体が加盟し、各愛護団体が市域内の河川・水路の美化活動に取り組む。	延べ実施回数:320回 延べ参加人数:18,785人	環境	仙台市内の各河川愛護団体	1,215	建設局河川課
159	広瀬川1万人プロジェクト	杜の都・仙台のシンボルである広瀬川の自然環境を守り、多くの市民が親しめる川とするため、100万都市仙台の1%・1万人をキーワードとして、毎年春と秋に行う広瀬川流域一斉清掃をはじめとして、市民・企業・行政などで実行委員会をつくり活動を展開する。	春と秋に広瀬川流域の一斉清掃を実施した。 ・春(7会場) 参加者:1,522人、回収ごみ量:309袋 ・秋(17会場) 参加者:2,142人、回収ごみ量:300袋 (回収ごみ量は450ゴミ袋換算)	まちづくり, 環境	広瀬川1万人プロジェクト実行委員会	—	建設局河川課

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
160	広瀬川で遊ぼう	多くの市民に広瀬川に関心を寄せてもらうため、毎年5月のゴールデンウィークに、若林区の宮沢緑地にてさまざまなアクティビティが体験できるイベントを開催する。上空を泳ぐ鯉のぼりを眺めながら楽しむ「手漕ぎボート」や「Eボート」、自分で作ったロケットを広瀬川の水で飛ばす「ペットボトルロケット」など、子どもから大人まで、家族で広瀬川に親しむことができる。	イベント「広瀬川で遊ぼう」を5月3日、4日、5日の3日間開催した。 来場者数:約5,500人(3日間合計)	まちづくり	広瀬川で遊ぼう実行委員会	450	建設局河川課
161	作並かつぱ祭り	広瀬川の上流域で、子どもたちが川に親しめるイベントとして開催する。インストラクターに指導を受けながら、川遊びや生き物の観察ができる体験や、生け簀を泳ぐニジマスを手づかみで捕まえる体験など、川の中に入って行う催し物を通して、子どもたちが広瀬川の自然や生き物に直接触れ、川の魅力を体感しつつ、環境保護の大切さを学ぶことで、広瀬川の自然を次世代に引き継ぐためのきっかけとする。	イベント「作並かつぱ祭り」を開催した。 来場者数:232人 ※平成27年度より事前申込制による人数制限を実施	まちづくり、 地域経済活性化	作並かつぱ祭り実行委員会	200	建設局河川課
162	区民協働まちづくり事業-企画事業: 青葉区民まつり	11月3日(文化の日)に、地域や世代を超えた交流と区民意識の高揚を図ることを目的に、区内の多くの市民団体や企業の協賛を得ながら、区民の代表からなる実行委員会を組織し、区を挙げて区民手づくりのまつりを実施する。	勾当台公園市民広場等を会場に、ステージや催事を行ったほか、市民パレードを実施した。 開催日:11月3日	まちづくり	いきいき青葉区推進協議会、 青葉区民まつり実行委員会	5,076	青葉区まちづくり推進課
163	区民協働まちづくり事業-企画事業: 青葉区令和風土記作成事業	【八幡地区】 連合町内会単位の地域で今日時点における地理の状況や遡れる範囲の歴史的知識(今後忘れ去られる恐れのある地域歴史や市民生活の歴史)を地域住民の手で「令和風土記」として書き留め、史料に資するとともに、今後の地域づくりの参考となる資源とする。	八幡地区において、実施期間最終年となる2年目の令和元年度は、資料編集作業等を行い、令和2年1月に八幡地区令和風土記を完成させた。 会議開催数:9回	まちづくり	八幡地区令和風土記作成委員会	200	青葉区まちづくり推進課
164	区民協働まちづくり事業-企画事業: 仙台伝統ものづくり塾	仙台の地域に残る伝統民芸を理解し、ものづくりを体験することで歴史の中に息づく生活文化としてのものづくりの奥深さと、体験を通して得た達成感や知識を家庭、地域や職場で話題として取り上げ広く周知していく。	前年度に製作体験で仕込んだ「仙台みそ」のお披露目会を9月に行った。また、2月に4回の連続講座「仙台のお菓子とお茶の文化」を開催。聞いて、見て、作って、味わってと参加者から、大満足との感想も頂いた。 参加者数:176人(5回実施)	文化・芸術・ スポーツ・ 学術	仙台伝統ものづくり塾実行委員会	148	青葉区まちづくり推進課

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
165	区民協働まちづくり事業-企画事業: 仙台の昔を伝える紙芝居作り・上演	仙台のひとや歴史、民話、名産物など次代に伝えていきたいことを題材とした紙芝居を企画制作し、さまざまな機会や場所において上演するもの。紙芝居上演体験を実施し、上演者の養成も行っている。	仙台七夕まつりや八木山動物公園での紙芝居上演会、紙芝居上演者育成のための上演体験を開催したほか、34作品目紙芝居の一部表現の描き換えを行った。紙芝居の貸出、販売も行っている。 貸出:28件(102作品)、販売:16件	文化・芸術・スポーツ・学術	仙台の昔を伝える紙芝居作り・上演実行委員会	251	青葉区まちづくり推進課
166	区民協働まちづくり事業-企画事業: ほたるの里づくり	ホテルに関するイベントなどを通じて、大勢の区民のホテルに対する関心と、ホテルを大切にす運動を盛り上げるとともに、ホテルの保護や、その生息環境の維持保全等に努めている。	ホテルが住める環境づくりのための水辺の清掃活動や、ホテル観賞会、ホテルまつり(旭ヶ丘ホテルまつり、新川ホテルまつり、定義ほたるまつり他)等の各種イベントを開催した。	まちづくり、環境	仙台市ほたるの里づくり協議会	1,000	青葉区まちづくり推進課
167	区民協働まちづくり事業-企画事業: 西公園キャンドルライトファンタジー	西公園の活性化と市民の交流の場の提供を目的として、子どもたちをはじめとする市民が未来への夢やメッセージを託した手づくりキャンドルをさまざまな形に並べるキャンドルパフォーマンスを開催している。	12月14日に西公園を会場に、手作りキャンドルの飾りつけ、出店、ステージ発表などを実施した。 来場者数:約5,500人	まちづくり	西公園キャンドルライトファンタジー実行委員会	630	青葉区まちづくり推進課
168	区民協働まちづくり事業-企画事業: 宮城地区市民文化祭	宮城地区の芸術文化の伝承および創造の発展・向上を図ることを目的として、毎年、地区内の伝統芸能をはじめとした文化活動団体のさまざまな部門の作品展示やステージ発表を行う「仙台市宮城地区市民文化祭」を開催する。	広瀬市民センター、広瀬文化センター等を会場に舞踊、郷土芸能の発表会、工芸作品や写真等の展示、囲碁大会を実施した。 開催日:11月7日~10日	文化・芸術・スポーツ・学術	仙台市宮城地区市民文化祭実行委員会	450	青葉区宮城総合支所まちづくり推進課
169	区民協働まちづくり事業-企画事業: 回文の里づくり事業	「幕末の廻文師仙代庵」が作並を詠んだ回文碑が旧作並街道にあった縁を生かし、回文をことば遊びの文化として発展させるとともに、作並地区の魅力あるまちづくりを目的として、「子ども回文コンクール」や「回文コンテスト・交流大会」などを企画、開催する。	仙台市夏休み子ども回文コンクール、第22回日本ことば遊び回文コンテスト、回文クイズや回文を表示した「うちわ、おみくじ」等を作成し、周知を行った。	地域経済活性化	仙台・作並回文の里づくり実行委員会	780	青葉区宮城総合支所まちづくり推進課
170	区民協働まちづくり事業-企画事業: 宮城地区まつり	まつりにかかわる人の交流によりコミュニティの活性化を図るとともに、観光資源や伝統文化などの情報を発信して、地域活性化やふるさと意識を喚起することを目的として地区まつりを開催する。	宮城総合支所駐車場、広瀬文化センター、保健センター等を会場に、仙台農業協同組合・みやぎ仙台商工会等関係団体と協力し、宮城地区まつりを実施した。 開催日:11月2日	まちづくり	いきいき宮城地区推進協議会、宮城地区まつり実行委員会	1,550	青葉区宮城総合支所まちづくり推進課

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
171	区民協働まちづくり事業-企画事業: 大倉ダムの魅力発信事業	地域資源である大倉ダムを活用し、人口減少の続く大倉・定義地区への交流人口の拡大と、西部地区の小中学校の児童生徒が描いた鯉のぼりを掲げることで、児童生徒の郷土愛を育むことを目指す。	5月2日～6日の間、大倉ダムの堤体やダム下公園に西部地区の小中学校の児童生徒による鯉のぼりを設置し、大倉ダムとその周辺の魅力を広く発信した。	まちづくり、 地域経済活性化	大倉ダムの魅力発信実行委員会	500	青葉区宮城総合支所まちづくり推進課
172	区民協働まちづくり事業-助成事業 (青葉区)	【「桜ヶ丘公園」を活用した文教地区まちづくり】 地域の公園に地域住民や小中学校が一体となって、野生植物の採集や表示板の作成を行うことによって、地域への愛着や連帯感を醸成し、世代間交流の場として活用する。	花壇を作り、花の植栽を実施したほか、花の表示板やウォーキングコースの表示板作成を行った。 企画会議の開催:10回 広報紙編集会議の開催:4回 植栽の実施:3回	まちづくり	桜ヶ丘学区連合町内会	285	青葉区まちづくり推進課
173		【西公園魅力づくり賑わいづくり事業】 秋の西公園の魅力を高める賑わいづくりを目的とした西公園まつりを実施する。西公園ならではの特性を生かし、物売りだけでなく、地域の魅力向上につなげる。	イベント開催:1回	まちづくり、 子どもの健全育成	西公園を遊ぼうプロジェクト	252	
174		【西公園がふるさとになるN西公園プレーパーク・ちびぱーク事業】 子どもたちが外で安心して遊べる仲間、場を提供するため、都市部でありながら、豊かな自然が多い西公園にてプレーパーク事業を実施する。	日常の開催と並行して毎月定期的にイベントを実施した。 勉強会開催:1回 イベント開催:11回 写真展開催:1回	子どもの健全育成	西公園プレーパークの会	400	
175		【仙台・芋沢自然薯まつり】 仙台・芋沢自然薯まつりを通して、地域の魅力と知名度アップを目指すとともに、地域間または地域内外の方々との交流を進めることによって、地域の活性化を図る。また、自然薯や米のブランド化を進めることによって、地域の新たな魅力創出を図り、地域課題解決につなげていく。	企画会議の開催:5回 イベント開催:1回	地域経済活性化	仙台芋沢自然薯研究部会	300	
176		【里山 蕃山の登山道整備事業】 様々な団体や地域住民とともに蕃山の登山道整備を行うことで、蕃山の自然に触れ合う機会を創出し、地域の交流を促進する。地域コミュニティの活性化にもつなげる。	蕃山の登山道(西花苑コース)整備を完了した。 企画会議の開催:1回 広報紙発行:2回	まちづくり	折立学区町内会連合会	242	

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
177	[前ページ続き] 区民協働まちづくり事業-助成事業 (青葉区)	【仙台市中心部アーケードにおけるアート交流による魅力づくり事業】 作品展示とお絵かきカフェ、ものを作り出すハンドメイド作家のマルシェを実施。アートの創造性を活用することで、さまざまな方との交流が生まれる居場所づくりを行う。	イベント開催:6回 パンフレット作成:1回	健康福祉・医療	一般社団法人アート・インクルージョン	250	青葉区まちづくり推進課
178		【青葉山・八木山フットパスづくり】 青葉山から八木山まで歩くフィールドワークとワークショップを交互に実施し、その結果をまとめた散策ガイドを作成することで、両地区の連携体制を構築し、新たな魅力を創出する。	フィールドワーク:2回 ワークショップ:3回 広報紙発行:2回 シンポジウム:1回 パネル展:1回 企画展:1回	まちづくり	青葉山・八木山フットパスの会	400	
179		【女性防災リーダー育成講座】 震災時に避難所運営や防災・減災の担い手として女性リーダーの重要性がクローズアップされたことから、地域の防災力向上のため、女性を対象とした防災・減災講座や避難所運営の実践力を身に着けるワークショップを開催する。	3年間にわたり女性を対象とした講座を継続実施し、103名の女性防災リーダーを育成した。 ワークショップの開催:3回	地域安全活動	北仙台地区連合町内会	157	
180	ふるさと底力向上プロジェクト: 荒巻包括ケアシステムモデル事業	荒巻地区において、高齢になっても住み慣れたまちで安心して暮らし続けることができるよう、地域特性を踏まえた支え合いシステムを地域と協働で構築する。	地域が主催する検討会(14回開催)を支援する取り組みを行った。	健康福祉・医療、まちづくり	荒巻地区福祉向上委員会(町内会、民生委員児童委員協議会、地区社会福祉協議会、地域包括支援センター、赤十字奉仕団などで構成)	2,000	青葉区障害高齢課、ふるさと支援担当
181	ふるさと底力向上プロジェクト: 学生の参加による地域づくり推進	大学や専門学校が多く立地する青葉区において、より多くの地域と学生を結び付け、学生の地域コミュニティ活動への参加を促進することにより、地域コミュニティの活性化につなげる。	地域での活動を希望する学生団体と地域団体とをマッチングし、学生団体の地域のイベントへの参加を促した。 活動実績:2件	まちづくり	町内会等の地域団体、区内大学の学生団体(サークル等)	258	青葉区ふるさと支援担当
182	ふるさと底力向上プロジェクト: 仙台萬本さくらプロジェクト	青野木地区・大倉地区において、住民・事業者・行政等からなる実行委員会を設置し、桜の名所づくりをはじめとする各種活性化事業に取り組む。	桜の苗の植樹本数:約1,500本	まちづくり	仙台萬本さくらプロジェクト実行委員会	—	青葉区宮城総合支所ふるさと支援担当
183	ふるさと底力向上プロジェクト: 作並・新川地区活性化事業	作並・新川地区において、町内会・自治会、事業所、各種団体等が連携して、協議会を設置し、地域活性化に向けた取り組みを行う。	平成30年度に作成した活性化プランに基づき、国からの補助を活用し、協議会の法人化や新川分校の交流拠点としての活用にあたっての備品整備等活性化に向けた取り組みを行った。	まちづくり	作並・新川地区活性化連絡協議会	7,686	青葉区宮城総合支所ふるさと支援担当

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
184	戦災復興展	昭和20年7月10日の仙台空襲で大惨事となった仙台のまちの復興に力を注いだ方々への感謝の念を新たにする場として、毎年仙台空襲のあった7月10日前後に戦災復興展を開催する。	戦災復興展を各種団体の協力により開催した。 来場者数:3,486人	社会教育、まちづくり	仙台の戦災・復興と平和を語り継ぐ会等	999	青葉区まちづくり推進課
185	被災者交流活動助成-青葉区	復興公営住宅入居者や復興公営住宅周辺町内会等が行うコミュニティ形成に資する事業に対し、公募により助成を行う。	助成金交付実績:2件 (2件とも上杉地区社会福祉協議会)	まちづくり	町内会をはじめとした地域団体等	57	青葉区まちづくり推進課
186	青少年健全育成事業 子供のための日本語講座 「さっと日本語クラブ」	在仙の外国籍児童・生徒が学校や地域での言葉や生活上の不安、困難を解消し、また普段の授業で使用している教科書等をもとに日本語を学ぶことで、学校教育の補完的役割を果たす。 事業運営は「特定非営利活動法人ICAS国際都市仙台を支える市民の会」への委託事業としており、増加傾向にある外国人子女への学習の場として、今後の需要の増加が予想される。	実施回数:34回 延べ参加人数:625人	国際交流・協力、子どもの健全育成	特定非営利活動法人ICAS国際都市仙台を支える市民の会	286	青葉区中央市民センター
187	区民協働まちづくり事業-企画事業: 宮城野通・榴岡公園ふれあい魅力UP事業	仙台駅東口から楽天生命パーク宮城に至る宮城野通や榴岡公園周辺の地域資源を積極的に活用し、企業・団体・町内会や市民、NPO等との協働により、新たな賑わいと魅力の創出に取り組む。	夏まつり仙台すずめ踊り広報のため、区内町内会等へポスターを配布し、掲示を依頼した。	まちづくり	宮城野通・榴岡公園活性化委員会、仙台駅東口商工事業協同組合	802	宮城野区まちづくり推進課
188	区民協働まちづくり事業-企画事業: みやぎの・まつり	区制開始の年の平成元年に始まった宮城野区の「区民まつり」。区内で活動するさまざまな市民やグループの発表と交流の場として区民手作りのまつりを毎年開催する。	みやぎの・まつりを開催した。 開催日:10月20日	まちづくり	みやぎの区民協議会、みやぎの・まつり実行委員会	5,647	宮城野区まちづくり推進課
189	区民協働まちづくり事業-企画事業: 地域はっぴい子育て支援事業	子育てを支える市民グループ・団体・区役所の協働により「地域はっぴい子育てプロジェクト」を企画運営し、子育て中の母親の育児不安や地域での育児孤立の解消につながるよう、子育て情報の提供や保護者が子供と一緒に成長し子育ての楽しさを実感できる機会を提供する。	①イベントの実施 ママらいふ手帳講座(ワークショップ):9回 (新田・東部・榴岡・岩切・岡田・鶴巻児童館、立華認定こども園、田子・鶴ヶ谷市民センター) 参加親子:計62組 ②会議等の実施:10回 ③ママらいふ手帳の作成:3,000部(乳幼児を抱える子育て中の世帯等に配布) ④スキルアップ研修:1回、(講座実施館職員対象に実施、13名参加)	健康福祉・医療、まちづくり	みやぎの区民協議会子育て支援部会	432	宮城野区まちづくり推進課

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
190	区民協働まちづくり事業-企画事業: すずむしの里づくり事業	仙台市の虫である「スズムシ」の繁殖・飼育に関する広報啓発活動を通して豊かな自然環境による潤いあるまちづくりを目指し、スズムシの配布会・交換会の他、小学校等におけるスズムシ出前講座なども行う。音の風景からスズムシの魅力を再発見する取り組みも行う。	講師派遣事業:6小学校 参加児童約500人 配布会の実施:3会場 約500人来場 実験放虫事業:9回 約30,000匹 飼育事業:75ケース 約100,000匹 展示広報事業:市内20か所に展示	環境	すずむしの里づくり実行委員会	450	宮城野区中央市民センター
191	区民協働まちづくり事業-企画事業: おらほの公園草刈隊支援事業	魅力ある公園の維持を目的とした「おらほの公園草刈隊」によるボランティア活動を支援するため、草刈機の貸出のほか、活動を周知する看板を公園に設置する。	登録団体:49団体(新規2) (企業19(新規1)、町内会等30(新規1)) 実施団体:36団体 (企業18、町内会等18) 延べ実施回数:113回 (企業32回、町内会等81回) 機械貸出延べ台数: 自走式草刈機 125台 肩掛け式 137台 ヘッジトリマー 33台	環境	企業、町内会、公園愛護協力会等によるボランティア団体(登録制)	2,013	宮城野区公園課
192	区民協働まちづくり事業-企画事業: みやぎの地域力向上支援事業	「地元学」の経験に学びつつ、1960～90年代に撮影された宮城野区の写真をもとに、定点撮影などのフィールドワークや地域住民へのヒアリングを通して、アーカイブ(記録)しながら地元の良さを再発見し情報発信する企画「みやぎの・アーカイブ」を実施する。「みやぎの・アーカイブ」を通して、地域のアイデンティティ形成や愛着の醸成を図る。	・部員募集プレゼン会:1回 ・部活動(部員同士の打ち合わせ):計3回 ・フィールドワーク・定点撮影会:計2回 ・公開イベント:1回	社会教育, まちづくり, 文化・芸術・ スポーツ・ 学術	地域団体、区民等	431	宮城野区まちづくり推進課
193	区民協働まちづくり事業-企画事業: 宮文活性化事業	宮城野区文化センター前広場の活用により、地域の賑わい創出を図る。	試験的な取り組みとして「MIYAGINO MARCHE(ミヤギノマルシェ)」を開催した。 開催日:11月16日	まちづくり	宮城野区文化センター	149	宮城野区まちづくり推進課
194	区民協働まちづくり事業-企画事業: 宮城野盆踊り普及事業	地域の繋がりがづくりや地域活動の活性化のツールとして、宮城野区発祥の「宮城野盆唄」を使用した盆踊りを普及していく。	・田子市民センター盆踊り講習会、練習成果発表会、たごっ子まつりデモンストレーション ・町内会講習会への講師派遣 ・町内会夏祭り当日踊り手派遣 ・みやぎの・まつりデモンストレーション ・普及パンフレット、教則DVD/CD、法被の作成	まちづくり, 文化・芸術・ スポーツ・ 学術	やりましょう盆踊り実行委員会、町内会・地域団体等	1,056	宮城野区まちづくり推進課

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
195	区民協働まちづくり事業-助成事業 (宮城野区)	【みんなで歩こう、宮城野原】 まち歩きイベントの企画・開催を通して、仙台駅東地区の埋もれかけた貴重な街の遺産を掘り起こし、文化や歴史・魅力を発信する。	・定例会:計12回 ・まち歩き企画:計9回 ・公開講座:計2回 ・小学校出前講座:原町小(計2回)、宮城野小(1回)	まちづくり, 文化・芸術・ スポーツ・ 学術	宮城野原案内人の会	123	宮城野区まちづくり 推進課
196		【仙台蒲生日和山プロジェクト】 中野・蒲生地区のシンボルである「日和山」の山開き登山等を通して、中野地区の歴史や旧住民たちの思い、震災の記憶を語り継ぐ。	・定例会:計13回 ・仙台蒲生日和山登山:1回 ・語り部活動:計2回 ・公開イベント:計4回	まちづくり, 文化・芸術・ スポーツ・ 学術	中野ふるさとYAMA学校	367	
197		【新浜『食』『農』体験学校】 親子の食育・農作業体験を通して、家族の絆を深めるとともに、食育力・農業技術の向上や住民同士の交流を深めることで、地域の魅力を高め発信する。	・農業体験企画:計8回 ・農業・食育体験企画:計2回 ・食育企画:計3回 ・食育・交流企画:1回 ・地域交流・職業体験企画:計3回	まちづくり, 地域経済活 性化, 子ど もの健全育 成	宮城野親子で料理プロジェクト	371	
198		【東仙台・まちの耀きを発見し、コミュニティーを活性化させるプロジェクト】 まち歩きイベントや公開講座の実施を通して、東仙台1,300年の歴史文化を発信するとともに、地域コミュニティの活性化を図る。	・まち歩きイベント:計3回 ・東仙台小学校出前講座:1回 ・公開イベント:計3回	まちづくり, 文化・芸術・ スポーツ・ 学術	東仙台耀き歴史クラブ	125	
199		【いわきり遊学プロジェクト】 岩切地区において、あらゆる世代が交流できるイベントを開催し、新旧住民の交流や活気ある地域づくり、コミュニティづくりに貢献する。	・役員会:計7回 ・まち歩きイベント:1回 ・映画観賞会:1回 ・イベント(寄席):1回	まちづくり, 文化・芸術・ スポーツ・ 学術	IOC(岩切おもしろ倶楽部)	70	
200		【貞山運河と新浜の魅力アップ事業】 貞山運河を舟で渡るイベント(フットパス)の開催、新浜の自然学習を通して、沿岸部地域の魅力を発信し、にぎわいづくりに貢献する。	・フットパス:計4回(中止1回) ・役員会:計5回 ・公開学習会:1回 ・その他イベント(松葉さらい):1回	まちづくり, 文化・芸術・ スポーツ・ 学術	新浜町内会	245	
201		【萩野町シティウォーク】 ウォーキングを通して、地域住民の健康寿命の延伸を図るとともに、社会交流の場を確保することで、地域コミュニティの活性化を目指す。	・ウォーキングイベント:計2回 ・イベント反省会:計2回 ・みやぎの・まつりへの参加	健康福祉・ 医療, まち づくり	萩野町シティウォーク実行委員会	25	

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
202	ふるさと底力向上プロジェクト: つるがや地域連携・活動マッチング 事業	鶴ヶ谷地区をモデルに、高齢者人口の増加等に伴う諸課題に対応するため、活動団体間のマッチングを行うモデル事業の実施などにより、世代や分野を超えた団体間の連携拡大と活動の活性化等に取り組む。	・地域の活動団体との意見交換やヒアリングの開催:25回 ・市民センター・地区社会福祉協議会・学校・地域包括支援センター等で構成する「連携ミーティング」の開催:2回 ・このほか連合町内会と協力しながら団体間の連携の強化や活動の活性化を支援した。	まちづくり	鶴ヶ谷地区町内会連合会をはじめとした地域団体、学校等	54	宮城野区ふるさと支援担当
203	被災者交流活動助成-宮城野区	復興公営住宅入居者や復興公営住宅周辺町内会等が行うコミュニティ形成に資する事業に対し、公募により助成を行う。	助成金交付実績:20件	まちづくり	町内会をはじめとした地域団体等	1,877	宮城野区ふるさと支援担当
204	区民協働まちづくり事業-企画事業: 若林区民ふるさとまつり	地域、世代を超えた交流および区民意識の醸成を図ることを目的に、区民との協働により区民まつりを開催する。	区民で構成する実行委員会を中心にまつりの企画・準備等を行い、「平成から令和～もともっと若林(ここ)を好きになる」をテーマに実施した。 開催日:11月4日 実行委員会:6回	まちづくり	若林区まちづくり協議会	4,960	若林区まちづくり推進課
205	区民協働まちづくり事業-企画事業: 若林区合唱のつどい	若林区は古くから多くの合唱団体が活動しており、独自に合唱連盟を結成している。区民との交流を図ることを目的に、合唱のつどいを実施する。	合唱を主体とした音楽祭を、7月6日に開催。「合唱連盟わかばやし」加盟の合唱サークルや、区内小・中・高校の合唱部など、計20団体が出演した。 来場者数:792人	まちづくり, 文化・芸術・ スポーツ・ 学術	若林区まちづくり協議会	439	若林区まちづくり推進課
206	区民協働まちづくり事業-企画事業: 地域メディアの活用によるく新しい 地縁>創造プロジェクト	コミュニティFMを活用して、若林区および若林区まちづくり協議会が行う事業等の情報を発信する。区民から番組を制作するスタッフを募り、取材や編成を行う。	7月から令和2年3月までの9ヶ月間、毎月第1・第3土曜日10:00から30分間の番組をラジオ3にて放送した(毎月第2・第4土曜日は再放送)。 また、取材内容等に関する全体会議を年5回開催した。	健康福祉・ 医療, 社会 教育, まち づくり, 文 化・芸術・ スポーツ・ 学術, 子どもの 健全育成	若林区まちづくり協議会	846	若林区まちづくり推進課
207	区民協働まちづくり事業-企画事業: わかばやし区春らんまん	賑わいと魅力のあるまちづくりの推進のため、若林区連合商店会と地元の町内会が協力して、地元も商店会も元気になるまつりを開催する。	屋台やステージ発表の他、もちまき、ビンゴ大会等を行った。 また、実行委員会を年4回開催した。 開催日:4月14日	まちづくり, 地域経済活 性化	若林区連合商店会春らんまん 実行委員会	300	若林区まちづくり推進課

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
208	区民協働まちづくり事業-企画事業: 地域資源活用事業	若林区内に数多く残る「堀」という地域資源に着目し、その魅力を広く発信することで、歴史や文化、環境や景観、暮らしとのかかわりを深める機会を醸成する。	＜六・七郷堀サポーターズ＞ ・定例会(おおよそ月1回) ・一般参加者を募集しての「堀DAYさんぽ」の実施(2回開催) ・第31回ふるさとまつりに参加(「堀なか探検」「生き物展示」) ・環境フォーラム出展「水辺の生き物展示」	まちづくり、地域経済活性化、環境	有志市民スタッフ(六・七郷堀サポーターズ)	71	若林区まちづくり推進課
209	区民協働まちづくり事業-企画事業: ボッチャをととした区民地域交流促進事業	障害の有無や体力差などに関係なく一緒に実践できるユニバーサルスポーツ「ボッチャ」を活用した各種講座を開催することで、障害者(児)への理解を深めるとともに世代や年齢を超えた区民相互の交流を図る。	「ユニバーサルスポーツ・ボッチャ運営スタッフ養成講座」(5回連続講座)を開催することで、ユニバーサルスポーツへの理解とボッチャを体験しながらルールやゲームの進め方を学ぶことを通して競技の普及や運営スタッフの育成を図った。	健康福祉・医療、まちづくり、文化・芸術・スポーツ・学術、子どもの健全育成	市民の参加者	148	若林区中央市民センター
210	区民協働まちづくり事業-企画事業: 広瀬川灯ろう流し「光と水とコンサートの夕べ」	広瀬川の清流を背景に、コンサートや花火・縁日を設け、楽しい夏のひと時を過ごしながら、地域の自然や歴史・文化に触れる「広瀬川灯ろう流し」事業の開催を支援する。	8月20日開催。コンサートや縁日、灯ろう流し、花火等を行った。 来場者数:約35,000人	まちづくり、環境、文化・芸術・スポーツ・学術	広瀬川灯ろう流し実行委員会	1,418	若林区まちづくり推進課
46 と 同一 事業	区民協働まちづくり事業-企画事業: 若林区安全安心街づくり活動推進モデル地区事業	モデル地域を指定し、町内会を中心とした地域団体等と警察、区役所等行政機関が連携しながら、防犯に関する啓発活動やパトロール、研修会などを行い、総合的な安全と安心の街づくりに取り組み、地域住民が主体的で自主的な活動を継続できることを目的に支援を行う。	新たに薬師高砂堀通り地区地域を安全安心街づくり活動推進モデル地区に指定し、以下の事業を実施した。 ・発会式 ・事業要望調査2回 ・幹事会2回 ・全体会議1回 ・防犯パトロールに係る実地調査 ・防犯パトロール2回 ・会報1回発行	まちづくり、地域安全活動	薬師高砂堀通り周辺地区安全安心街づくりの会	195	若林区区民生活課
211	区民協働まちづくり事業-企画事業: 若林区の映像保存・活用事業	震災からの復興への取り組みや豊かな地域資源、史跡・旧跡の残る街並みなど区内の様子を市民センターのボランティアが撮影し、市政だよりの若林区のページや区役所でのパネル展示などで紹介していく。	・情報発信 掲載回数:12回 「若林の点描」シリーズを市政だよりに掲載 ・パネル展示 実施回数:2回 区役所ロビー、若林区文化センターエントランスホール ・写真掲出 実施回数:1回 若林区中央市民センター掲示板	まちづくり、その他	写真撮影ボランティア	72	若林区中央市民センター

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
212	区民協働まちづくり事業-企画事業: 若林区地域学校連携推進会議	学校等との連携による人づくりや地域づくりを推進するため、若林区内の学校(小・中・高)・区役所・市民センター・図書館・文化センターの教員・職員が一堂に集まり、学校支援地域本部のスーパーバイザーなども交えて情報交換を行う。	「地域で子どもたちを育てていく大切さ」と題した基調講話を行うとともに、区内中学校区ごと9グループに分かれてエリア別に情報交換会という内容で開催した。 市民会議の開催回数:1回 参加者数:101人	まちづくり、 子どもの健全育成	小・中・高等学校の地域連携担当者、嘱託社会教育主事、学校支援地域本部役員	51	若林区中央市民センター
213	区民協働まちづくり事業-企画事業: 若林区健康づくり区民会議	「若林区健康づくり行動計画」に基づき、区民の主体的な健康づくりを進めるため、寸劇・ウォーキングイベント・健康づくりフェスティバルなどの健康啓発の主要事業の他、健康づくりの推進を検討する会議を行う。	・会議等の開催:計4回 ・健康づくり寸劇の上演:10回 ・健康づくりフェスティバルの実施 ・健康づくり啓発の媒体として既存のキャラクター着ぐるみや健康づくり手ぬぐいを活用して健康づくりの関心を高めた。 ・ウォーキングイベント(正しいフォームの習得)を実施した。 ・若林区の健康課題の分析を行い区民会議・推進部会にて課題の共有を図った。 ・外部団体との会議や研修会でげんきくん体操を実施した。	健康福祉・ 医療	若林区マイタウンスポーツ協会、若林区スポーツ協会、若林区内科医師、仙台歯科医師会若林区地区長、仙台市薬剤師会、仙台市地域活動栄養士会、六郷地域包括支援センター、障害者相談支援事業所、仙台青葉学院短期大学、蒲町中学校、荒町小学校、聖和幼稚園、協同組合仙台卸商センター総務課、セントラルウェルネスクラブ南小泉店、若林区連合町内会、若林区老人クラブ連合会、若林区レクリエーション協会、輪っ!かばやし子育て応援団	578	若林区管理課、 家庭健康課
214	区民協働まちづくり事業-企画事業: 子育て推進ネットワーク事業	子育てしやすい環境づくりを目指し、「遊び・学び・出会いの場」を提供する。育児サロンや子育て交流事業の開催、情報誌の作成などを通じて、地域に密着した効果的な子育て支援を図る。 ①輪っ!かばやし子育て応援団活動 ②子育て情報ブック作成事業 ③七郷地区子育て交流事業 七郷地域は転入者が増加、子育て環境が大きく変化している地域である。地域の親子が安心して育児ができるように、子育てに関する現状や課題を各関係機関の立場から共有する。	①輪っ!かばやし子育て応援団活動 ・子育てイベント(ウェルカムサロン)の開催 実施回数:3回 参加親子:21組 ・親子ふれあいひろば 実施回数:1回 参加親子:29組 ・育児サロンの開催 実施回数:12か所、延べ49回 ・研修会の開催 実施回数:1回 ②子育て情報ブック「わっぴー」を作成し、新生児訪問時や転入手続時等で配布した。 作成数:2,000部 ③七郷地区の子育て支援関係者で交流会を1回開催した。	子どもの健全育成	①輪っ!かばやし子育て応援団 ②輪っ!かばやし子育て応援団、育児サークルOG、保育所・幼稚園、のびすく若林等 ③七郷地域の児童館・保育園、民生委員・主任児童委員、地域企業・包括支援センター	483	若林区家庭健康課

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
215	区民協働まちづくり事業-企画事業: 若林区魅力発信事業	若林区への愛着や興味を促進させることを目的に、地域の魅力を体感できるイベントである「若林わくドキまち歩き」の開催や区内の魅力を再発見できるよう地下鉄東西線沿線について記載したまち歩きマップ「若林WALKER」を発行する。	・若林わくドキまち歩き 区内各地でのまち歩きを実施した。 まち歩き実施回数:3回 ・まち歩きマップ「若林WALKER」 宮城野通駅、薬師堂駅、卸町駅、六丁の目駅を、好評により増刷した。	まちづくり, 地域経済活性化, その他	若林区まちづくり協議会	747	若林区まちづくり推進課
216	区民協働まちづくり事業-企画事業: ライフイベント(出生届)記念事業	出生により新たに仙台市民(若林区民)となる子どもとその家族を祝することを目的として、区民の意見を取り入れた記念品を作成し、出生届を提出した方に提供する。	「のびすく若林」の子育て講座参加者へのアンケート結果を参考に、お祝いの気持ちを込めて窓口での出生届の際に提供するメモリアルカード(1,000部)を作成した。	まちづくり	子育て講座参加者	297	若林区戸籍住民課
217	区民協働まちづくり事業-助成事業 (若林区)	【第4回心をつなぐ若林シーサイドマラソン】 震災の経験を風化させない、また復興により変わりゆくその道程を確認してもらうため、東日本大震災の沿岸部の被災地域である藤塚地区でシーサイドマラソンを開催し、この地域の再生と新たな利活用を推進する。	若林区沿岸部藤塚地区の沿岸部堤防を使ってシーサイドマラソンを開催した。同時に、震災以前の写真を展示するパネル展や、沿岸部跡地利活用事業者の初回パネルも展示した。 開催日:12月8日 参加者数:1,294人	まちづくり, 文化・芸術・スポーツ・学術, 子どもの健全育成	若林シーサイドマラソン実行委員会	250	若林区まちづくり推進課
218		【いきいき六郷運動教室】 東日本大震災後のコミュニティづくりおよび地域の活性化を目的として、高齢期を元気に安心して生活できる体力づくりに寄与する運動教室を実施する。	毎月2回、東六郷コミュニティ・センターを会場に運動教室を実施。 その他、若林区民ふるさとまつりや六郷市民まつり等の地域イベントに5回参加し、リズム体操を披露した。	まちづくり, 文化・芸術・スポーツ・学術	いきいき六郷運動教室	240	
219		【地域情報誌「荒町さんぽ」発行事業】 御譜代町として発展した歴史ある荒町地区の活性化のため、「まちファン」を増やす取り組みとして「荒町さんぽ」を発行する。地域活性化に興味のある若者と地域が協働できる基盤を構築し、新たな魅力を発信する。	フリーペーパー「荒町さんぽ」を2,000部作成し、地区商店街や企業、東北学院大学等に配布。また、マップ下敷も520枚作成し、荒町小学校に贈呈。 フリーペーパー講座4回、編集会議7回開催。完成品は、ホームページやSNSにより情報発信し、コミュニティFMでPRも行った。	まちづくり, 文化・芸術・スポーツ・学術	荒町エリア発信隊	500	
220	ふるさと底力向上プロジェクト: 六郷東部地区現地再建まちづくり	六郷東部地区の各町内会や関係機関・団体等と連携し、地域主体のまちづくり活動について支援を行う。 平成29年3月に閉校した東六郷小学校の跡地を地域のコミュニティ拠点とするため、多目的グラウンド・駐車場・芝生広場などを整備する。	東六郷コミュニティ広場の管理運営体制づくりについて、六郷東部地区の町内会長等との会議を経て、令和2年3月のまちづくり部会で、今後の体制・ルールづくりに向けた方向性を議論し、合意を得た。整備工事については、9月に設計を完了。令和2年2月に工事発注、3月に工事業者と契約を締結した。	まちづくり	町内会、六郷東部地区まちづくり部会	76,438	若林区ふるさと支援担当

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
221	市民協働事業提案制度採択事業: 荒井駅を起点とする仙台東部エリア 集客・交流促進事業	仙台東部エリアとの一体的な取り組みを目指す荒井東地区の交流・賑わいづくりを推進するため、仙台東部エリアにある交流施設の管理運営者等が相互の情報共有や賑わい・集客を検討するとともに、地域や市民団体等と連携し、荒井駅を玄関口と捉えた荒井東地区および仙台東部エリアへの集客につながるプロジェクトの企画運営を持続することを目指す。	・仙台東部エリアにある交流施設の運営管理者と仙台市関係課がメンバーとなる「仙台東部エリア交流施設連絡協議会」を5月末に設立。定例会を8回開催し、各参加団体の状況や課題、共同で行うイベント企画等について意見交換を行った。 ・集客イベントとして、各施設やイベントをスタンプラリーしながら巡る「仙台海手めぐりキャンペーン」を10月12日～11月10日の間実施。 ・仙台東部エリアを紹介するパンフレットを作成(3月)。	まちづくり	一般社団法人荒井タウンマネジメント	2,239	若林区ふるさと支援担当
222	被災者交流活動助成-若林区	復興公営住宅入居者や復興公営住宅周辺町内会等が行うコミュニティ形成に資する事業に対し、公募により助成を行う。	助成金交付実績:13件	まちづくり	町内会をはじめとした地域団体等	860	若林区ふるさと支援担当
223	区民協働まちづくり事業-企画事業: 太白区民まつり	文化活動、社会福祉活動など多様な市民活動の発表、幅広い市民同士の交流、各種行政施策(交通安全、環境、消防など)のPRなど、太白区における市民の総合的な交流の場を創出する。	区民で構成する企画委員会を中心に事業の企画・準備を行ったほか、ステージ出演者およびテナント村出店者対象の参加団体説明会、当日運営ボランティアへの説明会である実行委員会の開催等を経て、太白区民まつりを開催した。 開催日:11月4日 企画委員会:7回	まちづくり	太白区まちづくり推進協議会	5,371	太白区まちづくり推進課
224	区民協働まちづくり事業-企画事業: たいはくっこらぶ	太白区内の小学5年生および6年生を対象に、参加児童同士の交流を図りながら、同区内の自然、歴史、文化等をはじめとしたさまざまな体験学習を行うことを通じて、児童の地域理解の促進と健全育成を図る。	・太白区内の自然、歴史、文化等をはじめさまざまな体験学習を行う「まちづくり塾」を各種の市民活動団体やジュニアリーダー等の協力を得ながら実施した。 実施回数:5回 ・「まちづくり塾」の企画・運営を検討する実行委員会を実施した。 実施回数:7回	社会教育, まちづくり, 子どもの健全育成	太白区まちづくり推進協議会	611	太白区まちづくり推進課
225	区民協働まちづくり事業-企画事業: ディスカバーたいはく	冊子ディスカバーたいはくで紹介した区内の自然、史跡、名所等を実際に訪れる機会を設けることにより、広く太白区の魅力を再発見する機会を提供する。	・太白区内の名所旧跡をバスで巡る区内探訪会と徒歩で巡る探訪会を実施した。 実施回数:バス2回(3月実施予定回は中止)	社会教育, まちづくり	太白区まちづくり推進協議会	477	太白区まちづくり推進課

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
226	区民協働まちづくり事業-企画事業: 太白区まち物語	地域住民自らが、地域の成り立ちや歩み、地域資源(人・物・場所)、生活史の変遷、現況、課題を訪ね・調べ・まとめ、手づくりの地域誌としての「まち物語」を製作し、地域を未来に語りつぐとともに、今後のまちづくりにつなげる。	より利用しやすい制度にするため、助成対象団体や制作物の範囲を広げるなど、規定を改正した。	まちづくり	太白区まちづくり推進協議会、 太白区まち物語地区委員会	—	太白区まちづくり推進課
227	区民協働まちづくり事業-企画事業: たいはく若者まちづくりフォーラム	主に大学生を対象に、まちづくりへの関心の高揚を図るほか、まちづくり活動への参加を促進し、その活動を支援することにより、まちづくりの担い手となる人材の育成を図るとともに、地域のまちづくり活動を推進する。	・まちづくりに取り組む地域と大学(研究室)とのマッチングを図るとともに、学生が当該地域で行うまちづくり活動を支援するための助成金を交付した。 助成金交付実績:1件 ・東北工業大学と共同でまちづくりをテーマとした講座を令和元年度後期に開講した。	まちづくり	太白区まちづくり推進協議会	740	太白区まちづくり推進課
210 と 同一 事業	区民協働まちづくり事業-企画事業: 広瀬川灯ろう流し「光と水とコンサートの夕べ」	広瀬川の清流を背景に、コンサートや花火・縁日を設け、楽しい夏のひと時を過ごしながら、地域の自然や歴史・文化に触れる「広瀬川灯ろう流し」事業の開催を支援する。	広瀬川灯ろう流し光と水とコンサートの夕べの実施 開催日:8月20日 来場者数:約35,000人	まちづくり, 環境, 文化・芸術・スポーツ・学術	広瀬川灯ろう流し実行委員会	1,418	太白区まちづくり推進課
228	区民協働まちづくり事業-企画事業: 地域づくりの担い手等の交流等推進事業	太白区内で活動している地域団体の事例紹介やポスターセッションを通して、組織や分野を越えた地域づくりの担い手同士の交流を促進するとともに、地域住民の地域づくり活動への関心を高め、潜在的な人材の発掘につなげる。	地域づくりの担い手および潜在的な担い手を対象とした交流事業として、「ぶらっと交流市場(バザール)inたいはく」を開催した。 参加団体数:21団体 来場者数:168人	まちづくり	太白区まちづくり推進協議会	934	太白区まちづくり推進課
229	区民協働まちづくり事業-企画事業: 認知症と暮らす地域づくり	高齢者が健やかに暮らし続けられるように地域包括支援センターと連携し、認知症をテーマに地域での支え合いの大切さを理解するため講演会等を実施する。	認知症に関する講座や講話・交流会を計4回実施した。 参加者数:208人 (①西中田76人 ②袋原73人(2回に分けて実施) ③四郎丸59人)	健康福祉・医療, まちづくり	西中田地域包括支援センター、袋原地域包括支援センター、四郎丸地域包括支援センター	213	太白区障害高齢課
230	区民協働まちづくり事業-企画事業: 元気もり森まもり隊	住宅地に隣接する都市緑地において、「仙台市森林アドバイザーの会」の協力を得て、町内会や大学生・小学生との協働による緑地の環境整備(間伐、枝払い、下草刈り)を実施するほか、今後の緑地のあり方を検討する。	環境整備等実施:3回 参加者数:100人	まちづくり, 環境	仙台市森林アドバイザーの会、町内会、小学生	450	太白区公園課

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
231	区民協働まちづくり事業-企画事業: まつりだ秋保	秋保の豊かな自然や伝統文化、農作物や観光資源など地域の特性を生かしたまつりを開催することにより、訪れる人々に潤いと安らぎを与え、地域理解や活用PRによる地域活性化を図る。	まつりだ秋保2019を実施した。 開催日:11月10日 来場者数:2,700人	まちづくり	まつりだ秋保実行委員会	1,305	太白区秋保総合支所総務課
232	区民協働まちづくり事業-企画事業: 秋保地区スポーツレクリエーション大会	誰でも気軽に参加できるニュースポーツを中心とした大会を実施することにより、冬期間の運動不足の解消や運動への動機付け、幅広い年齢層の地域間交流や地域の融和を図る。	第22回秋保地区スポーツレクリエーション大会を開催した。 開催日:2月23日 参加チーム数:16チーム 336人 個人種目参加者数:100人	まちづくり	スポレク実行委員会	226	太白区秋保総合支所総務課
233	区民協働まちづくり事業-企画事業: 秋保ミュージアム環境整備事業	秋保全体を中山間地ミュージアムととらえ、豊かな自然や風景、歴史や文化、観光や創作等の資源を発掘整理し、新たな視点で結び付けて魅力ある地域資源の活用・情報発信、協働による整備を地域全体の動きとしていくための連携体制づくりを進め、地域づくりに関わる人材の育成や情報共有、交流人口増、中山間地の地域活性化と地域力向上を図る。	・秋保の魅力伝えるパンフレット作成 発行部数:新規5種類×10,000部 ・魅力ある地域資源の環境整備 看板・サイン等修繕 (工楽の家南側芝生整地、温泉街路灯修繕) ・秋保地区地域活動のつどいの開催 開催日:1月25日 参加者数:127人 事例発表団体:7団体 ブース出展団体:11団体	まちづくり、 地域経済活性化	地元町内会、秋保地域資源活用委員会、秋保地区地域活動のつどい連絡会議	1,215	太白区秋保総合支所ふるさと支援担当
234	貧困家庭等の子どもを対象とした夕食支援による地域の居場所づくり活動	子どもに無料で夕食を提供することにより、貧困家庭やひとり親家庭、共働き家庭の子どもをめぐり、地域の食をめぐり、地域の中に気軽に集うことができる居場所をつくる。	「おりぎの食卓」を運営し、孤食や生活困窮家庭の子どもを中心とした多世代夕食支援を実施した。 令和元年度は、自主的なグループへ発展し、区からは保健師の参加等により活動を支援している。	子どもの健全育成	特定非営利活動法人おりぎの家	—	太白区家庭健康課
235	区民協働まちづくり事業-助成事業 (太白区)	【つなごう 秋保千年の里山文化～長町の下町文化との連携共助の活動～】 秋保・長町地域において、秋保新特産品の普及支援や相互の文化理解と交流の場を創出する。	秋保および長町地域において、秋保新特産品「akiuいもの子」の普及支援や文化理解と交流・体験の場を創出する「@寺子屋」事業等を通して、お互いのさまざまな資源、人や文化の交流を行うことにより地域をつなぎ、元気な人づくり、里山づくり、まちづくりを推進した。	まちづくり	一般社団法人Soundキャンパス	500	太白区まちづくり推進課

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
236		【「ぼうさいダンス」を世界に広めよう】 八木山地区で誕生した災害時の初期行動を学べる「ぼうさいダンス」を普及・発信し、地域の防災力の強化を図る。	子ども向けの防災教育として八木山地域 独自で制作したダンスを、高齢者・地域 に住む外国人・八木山地域以外の方な どに披露し、活動の場を広げ、多くの区民 に防災の大切さについて発信するととも に、ダンスのDVDを作成し、日常的な活 動としての定着化を図った。	まちづくり、 地域安全活 動、子どもの 健全育成	Yagiyama Area Reproduce Volunteer Group(YARVOG)	234	
237		【茂庭台 地域活いきプロジェクト～住みよ い地域づくりを目指して～】 住民向けの講演会や支え合いをテーマとし たイベントを開催するなど、地域活動の支 援と住民同士の交流親睦を図る中で、さま ざまな世代と一緒にまちづくりに参画できる 地域の構築を目指す。	定例講座の開講や親睦外出を通して、 高齢者や地域住民との交流を図った。支 え合いをテーマとしたイベント「オレンジ フェスタ」では大学生など幅広い世代が 参加し、交流を深める機会となり、地域 支援の次代を担う人材育成の推進にも 繋がった。	健康福祉・ 医療、まち づくり	活いきサークルたんぽぽ	218	
238		【ツクル＊ツナガル＊笑顔サク 長町コ ンプロジェクト】 新旧住民が入り混じる長町地域で、親子向 けイベントや講座を開催することにより、出 会いや交流が深まり、よりよい子育て環境 の実現を目指す。	親子向けのイベントや講座の開催により 新たな出会いや交流を促進することに加 え、地域住民や他の地域活動団体との 協働による事業の実施やママンコ ン通信を定期的に発信することで、より地域 での周知も図ることができた。	まちづくり、 子どもの健 全育成	ママンコ ン運営委員会	500	
239		【中田中部地区みんなで交流・地域づく り仲間づくりプロジェクト】 地域に新たに居住する住民の孤立化を防 ぐとともに、新旧住民間の相互理解と交流 を推進し、地域に対する理解と愛着心を育 み、将来的な地域づくりの担い手の発掘と 育成の機会とすることを目指す。	「こどもフェス」や「どうぶつふれあいひろ ば」等、4回のイベント開催を通して、多く の地域の子供達や若い世代の参加によ り、参加者間や地域住民との交流や親睦 を図ることができた。	まちづくり、 子どもの健 全育成	中田中部町内会連合会	327	
14 及び 131 と 同一 事業	ふるさと底力向上プロジェクト： 生出地区活性化支援	①生出地区まちづくり 生出学区連合町内会からの諮問を受け 「生出地区まちづくり委員会」が平成30年 度に取りまとめた「生出地区まちづくり基本 構想」の実行プランに沿って、地域が主体 的に農業・子育て・交通等の地域課題解 決に向けたまちづくり活動に取り組む。 ②坪沼小学校跡地利活用 坪沼ふるさと活性化研究会がまちづくり専 門家派遣制度を活用し、平成28年度から 跡施設活用案を検討しており、跡施設を引 き続き地域づくりの拠点と位置付けたう えで、望ましい活用方法や運営方法を整 理する。	①生出地区まちづくり 郊外住宅地・西部地区まちづくりプロ ジェクト補助金により、農業を基軸とし た交流・作業拠点の整備を行い、地区外 での干し柿の販売を実施した。 ②坪沼小学校跡地利活用 旧幼児学園をコミュニティカフェとして 実証実験で利用し、多様な利活用方法 の可能性を探った。	まちづくり	①生出地区まちづくり 生出地区まちづくり委員会 ②坪沼小学校跡地利活用 坪沼地区ふるさと活性化研究 会	310	太白区ふるさと支援 担当

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
240	ふるさと底力向上プロジェクト: 秋保体験観光創出支援事業	<p>①野尻・境野地区体験観光創出支援事業 二口エリアの玄関口、里山の自然が豊かな野尻地区において、特色ある体験観光を提供するため野尻集会所を基点に、地元の特産であるそばや里山の「食」文化等を生かした体験観光、近隣の名取川清流「天神淵」での川遊び体験観光創出を支援し、市民や観光客との交流による活性化に繋げる。 「さかいの地区創生会」が取り組む地元農産物の産直活動を中心とした交流拠点づくり、貴重な地域資源の環境整備、これらを活用した体験観光の創出を支援し、交流増、地域活力の向上を図る。</p> <p>②そばの郷「秋保」振興事業支援事業 秋保地区の「食」文化であり、観光の魅力の一つである「そば」について、更なる発展を期するため、そばの郷「秋保」振興事業として、全国レベルの「そば打ち大会」を開催し、宮城のそば処として、内外に強力な情報発信(アピール)、地元産そば栽培意欲の増進、そば文化の振興を基軸とした地域活性化と、交流を促進し心豊かで潤いのある中山間地の活性化を図る。</p>	<p>①野尻・境野地区体験観光創出支援事業 ・野尻地区 野尻地区において、交流カフェ「ばんどころ」の運営など、協働による体験型観光の創出に取り組んだ。 天神淵川遊びフリー体験 野尻交流カフェばんどころ 野尻の冬 雪遊びモニター体験 野尻体験観光パンフレット作成 12,000部 ・境野地区 さかいの産直市 延べ33回、来訪者1,710人 体験観光創出 森峯山の試験除伐、板風峠の試験刈払い</p> <p>②そばの郷「秋保」振興事業支援事業 宮城手打ちそば研究会、あきう生産組合等と連携し、新しい誘客、地産地消を推進した。 ・仙台秋保そばフェス2019の開催 開催日:6月8日~9日 総参加者数:2,304人 ・全麵協素人そば打ち段位認定 参加者数:38人(初段位・二段位) ・全日本素人そば名人大会東北予選 参加者数:39人 ・秋保産そばフェア 「秋保そば街道」パンフレット作成6000部 のぼり旗作製 35本</p>	まちづくり, 地域経済活性化	<p>①野尻いぐする会、宮城手打ちそば研究会、東北工業大学、さかいの地区創生会</p> <p>②「仙台秋保そばフェス2019」連絡会議</p>	1,790	太白区秋保総合支所ふるさと支援担当
241	たいはく朝市	太白区内の農業者と消費者との交流の場を創出し、農業者が生産した野菜を販売する朝市を開催する。	4月から12月の毎月第2・4日曜日に、太白区役所南側駐車場等で、朝市を開催した。 実施回数:18回	まちづくり, その他	たいはく朝市推進協議会	—	太白区まちづくり推進課
242	被災者交流活動助成-太白区	東日本大震災の被災者等を対象に復興公営住宅入居者や復興公営住宅周辺町内会等が行うコミュニティ形成に資する事業に対し、公募により助成を行う。	年間を通して助成事業の公募を行うとともに、申請のあった事業の審査や助成金の交付等を行った。 助成金交付実績:2件	まちづくり	町内会をはじめとした地域団体等	155	太白区まちづくり推進課

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
243	区民協働まちづくり事業-企画事業: 泉区民ふるさとまつり	区民のふるさと意識の醸成を図り、世代や地域を超えた新しいコミュニケーションの輪を広げていくため、市民参加のイベントとしてまつりを開催する。	泉区最大のイベントとして「ふるさと泉、まつりの輪」をコンセプトに実施した。 参加団体数:約90団体 (ステージ発表、市民展示、縁日コーナー等) 開催日:8月31日 来場者数:152,000人 花火打上総数:4,500発	まちづくり	泉区民ふるさとまつり協賛会	8,104	泉区まちづくり推進課
244	区民協働まちづくり事業-企画事業: 泉区民文化祭	文化活動団体で構成された泉区文化協会会員および一般参加者が毎年、仙台市泉文化創造センター(イズミティ21)を会場に日頃の成果を発表する。	第40回泉区民文化祭を開催した。 入場者数:2,031人	文化・芸術・スポーツ・学術	仙台市泉区文化協会	620	泉区まちづくり推進課
245	区民協働まちづくり事業-企画事業: いずみ朝市	生産者と消費者の交流および地域振興を図るため、地元の生産者や業者などによる朝市を開催する。	4月から12月までの第2・4日曜日(4月は第4のみ)にいずみ朝市を開催した。 開催回数:16回 (10月13日は台風のため中止) 延べ来場者数:10,360人	まちづくり	いずみ朝市運営委員会	100	泉区まちづくり推進課
246	区民協働まちづくり事業-企画事業: ニュースポーツフェスティバル	ニュースポーツを通じ地域住民の健康増進と体力維持を促進し、地域間交流や、親子・高齢者・子どもとのコミュニケーションを図ることを目的として、泉区民ふるさとまつりの際に七北田体育館を会場に、秋にはシェルコムせんだいを会場にニュースポーツの体験イベントを開催する。	・第20回ニュースポーツフェスティバル開催 参加者数:636人 ・第20回ニュースポーツいきいきフェスティバル開催 参加者数:ペタンク…35人(8チーム) グラウンドゴルフ…45人	文化・芸術・スポーツ・学術	ニュースポーツフェスティバル実行委員会	270	泉区まちづくり推進課
247	区民協働まちづくり事業-企画事業: 将監沼ふれあい事業	中世からの遺産である将監沼を中心とした周辺の自然環境を保護し、四季折々の花が咲き、野鳥のさえずりが聞こえるよう環境整備を行う。 区民参加による実行委員会を組織し、参加者の連帯感を高めながら、地域コミュニケーションの場として活用するとともに、自然の大切さやふるさとの意識の向上を図る。	将監沼周辺の間伐、下刈り等(30回)の実施、子育て事業の推進のほか、地域のコミュニケーションを図る下記事業を実施した。 将監さくら祭り開催:1回 将監ふれあいコンサート開催:1回 泉ヶ岳悠・遊フェスティバル参加:1回 将監市民センターまつり参加:1回	まちづくり	「将監沼の自然」とふれあいを育む会	200	泉区まちづくり推進課

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
248	区民協働まちづくり事業-企画事業: 泉ヶ岳利活用推進事業	泉区のシンボルである泉ヶ岳の豊かな自然環境を将来にわたり維持し継承していくため、市民との協働により泉ヶ岳の魅力を生かした利活用を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・泉ヶ岳山開きに合わせ、会員と一般参加者で芳の平周辺の一斉清掃を実施した。 実施回数:1回、参加者数:50人 ・ミズバショウの保安全管理計画の策定に向けたモニタリング調査等を実施した。 調査実施回数:2回、参加者数:30人 報告会:1回、参加者数:19人 ・荒廃していた芳の平果樹園跡地を里山に戻すための下刈り作業と樹木の保全作業を実施した。 実施回数:8回、参加者数:125人 ・希望する市民を対象に登山や泉ヶ岳自然観察会を実施した。 実施回数:1回、参加者数:31人 (3回は天候不良等で中止) ・泉ヶ岳悠・遊フェスティバルへ出展した。 実施回数:1回、来店者数:220人 ・リーフレット「泉ヶ岳の花」を配布した。 	まちづくり	泉ヶ岳利活用推進市民会議	600	泉区まちづくり推進課
249	区民協働まちづくり事業-企画事業: 泉ヶ岳悠・遊フェスティバル	市民に対し、泉ヶ岳の自然とその魅力に触れる機会を提供し、ふるさとの山の自然の素晴らしさを再認識してもらうとともに、市民の交流を促進することを目的に、泉ヶ岳悠・遊フェスティバルを開催する。	<ul style="list-style-type: none"> 2019泉ヶ岳悠・遊フェスティバルを実施した。 実施回数:1回 参加者数:7,900人 	まちづくり	泉区まちづくり推進協議会	1,440	泉区まちづくり推進課
250	区民協働まちづくり事業-企画事業: 区民意識普及啓発	住みよい心豊かな潤いのあるまちづくりを進めるため、区民憲章の普及・啓発を行うとともに、泉区写真コンクール等を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ・泉区写真コンクールを実施した。 応募数:2部門107作品 ・ベガルタ仙台ホームタウンフェスタに出展し、啓発活動を実施した。 ・泉区民ふるさとまつりに出展し、啓発活動を実施した。 ・市民憲章運動東北ブロック研修会に参加した。 ・市民憲章運動推進全国大会に参加した。 	まちづくり	泉区まちづくり推進協議会	400	泉区まちづくり推進課
251	区民協働まちづくり事業-企画事業: 七北田川クリーン運動	泉区のシンボルである七北田川の清掃活動と鮎の放流活動を行うことにより、ふるさとへの愛着心と環境保護についての意識の高揚を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・七北田川の清掃活動を実施した。 会場数:4会場 参加者数:1,389人 回収ごみ:790kg ・七北田川への関心や知識を高めるため、自然観察会を開催して、水質・水生生物調査観察、いかだ下りなどを実施した。 参加者数:小学生40人 	環境	泉区まちづくり推進協議会	100	泉区まちづくり推進課

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
252	区民協働まちづくり事業-企画事業: 泉中央美化推進	区民の環境美化・緑化への意識の醸成を図るため、「ごみの散乱のない快適なまちづくり推進地区」に指定されている泉中央地区で清掃や緑化活動を行う。	・緑化活動:7回 参加者数:939人 ・清掃活動:1回(11月) 3月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 参加者数:986人 回収ごみ260kg	まちづくり	泉区まちづくり推進協議会	330	泉区まちづくり推進課
253	区民協働まちづくり事業-企画事業: いずみのふるさと学	地域に対する理解と愛着を深めてもらうことを目的に、泉区の名所史跡をたどる探訪会等を開催する。	・いずみのふるさと探訪会の開催 参加者数:20人(6月) 16人(12月) ・「いずみのふるさと総集編」増刷500部	まちづくり	泉区まちづくり推進協議会	400	泉区まちづくり推進課
254	区民協働まちづくり事業-企画事業: 大学連携地域づくり事業	【大学地域ネットワーク】 大学の知的資源や学生のパワーを生かしたまちづくりを積極的に進めていくため、協定を結び連携協力活動を進める。	地域情報の収集と情報提供(地域イベントのチラシ、ポスター作成)を連携して行った。 ・泉区6大学まちづくりフェスティバル(大学の地域活動の発表およびワークショップ)を開催した。 参加者数:130人 ・各大学が地域に入り、夏祭り等の地域イベントの企画・協力やステージの参加を行った。	まちづくり	泉・大学地域ネットワーク (泉区内6大学、泉区まちづくり推進協議会)	56	泉区ふるさと支援担当
255	いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業 【生文大ワクワクプロジェクト事業】	区内のイベントでシルクスクリーンの技法を使ったものづくりの体験講座を開催し、地域の方と交流する。	いずみハロウィン、泉区民ふるさとまつりおよび地域のイベントにて、シルクスクリーン等の技法を用いたトートバック作り、消しゴムはんこづくり、竹とんぼ作成等のワークショップを実施。泉区民文化祭では、高校・短大・大学の茶道部による野立て席等を行った。	まちづくり	東北生活文化大学 版画研究室	100	
256	いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業 【地域生き生きプロジェクト事業】	地域の方への畑づくり等の支援や、小学生に対する学習支援を行う。また、地域の方の交流を促すため、地域主催のサロンへの参加や学生主催のイベントを実施する。	「地域の支え合いで暮らしを豊かに」をテーマに市民センター主催のサロンに参加するほか、学生主催の芸術祭や地域のお祭りに積極的に参加した。	まちづくり	仙台白百合女子大学 地域生き生きプロジェクト	100	
257	いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業 【デザインによる地域活動支援プロジェクト事業】	区内のイベントのポスターや告知物をデザイン・制作し、地域の活性化を図る。	高森地区を中心に、夏祭りや集会所のイベント時にポスターやチラシを作成するとともに、当日の運営に参加した。将監南ふれあい祭りでは缶バッジ作成のワークショップを通じて、デザインの楽しさを子供たちに伝えた。	まちづくり	宮城大学 マイチゼミ	100	

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
258	[前ページ続き] 区民協働まちづくり事業-企画事業: 大学連携地域づくり事業	いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業 【ダンスを通して地域に貢献したい事業】 区内でよさこいとストリートダンスの演舞発表を行うほか、子ども向けのダンス教室や交流会を開催し、ダンスステージイベントを通じて地域の方との交流を図る。	地域行事にて、よさこいとストリートダンスの発表を行うほか、公開講座として子どもたちへのダンス教室や交流会を開催した。よさこいの団体は、泉区の団体を交えたよさこいイベントを立ち上げ、地域との交流の幅を広げた。	まちづくり, 文化・芸術・ スポーツ・ 学術	聖和学園短期大学 DANCE FOR ALL!!	100	泉区ふるさと支援担当
259		いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業 【地域Smile集まる居場所づくりプロジェクト・世代間交流2019～大学通所型・地域訪問型サロン活動～】 高齢者、独居高齢者、老夫婦世帯の孤立化や閉じこもりの予防、生活不活発病や要支援・要介護状態の予防をするために、地域コミュニティ活動支援を実施し交流の機会を設ける。	南中山・館・北中山地区で開催の高齢者を対象としたサロンや交流会へ参加した。各町内会役員や地域住民、施設職員等とサロンの打合せを行い、介護予防体操やネイルなどのアクティビティを実施した。また、学園祭への招待や食事会の開催も実施した。	健康福祉・ 医療, まち づくり	聖和学園短期大学 地域サポーターズ聖笑	100	
260		いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業 【スポーツによる地域貢献活動事業】 小学校でのサッカー教室の開催、みやぎ夢燈花などのイベントで、地域の小学生とのサッカーボウリングやゲームを通じ、学生のボランティア意識を高めるとともに、地域交流を進めていく。	学内および地域の小学校でのサッカー教室をはじめ、各種スポーツ・遊びの教室を展開。北中山小学校での野外活動・ベガルタ仙台のスクール交流戦・ブラインドサッカー大会のサポートなど、活動の幅を広げて地域の活性化に貢献している。	まちづくり, 文化・芸術・ スポーツ・ 学術	聖和学園短期大学 スポーツクラブBOA SORTE	70	
261		いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業 【市名坂きらめき☆スマイルもりもりプロジェクト事業】 市名坂および近隣地域の住民と一緒に、認知症カフェ「市名坂きらめき☆カフェ」の運営をサポートし、認知症になっても住み慣れた地域に住み続けるためのまちづくりを推進する活動を行う。	泉区市名坂および近隣地域の住民と一緒に、認知症カフェ「市名坂きらめき☆カフェ」の運営サポートを行った。また、参加者を募るためのチラシの作成・配布や、出張体操教室等を開催した。	健康福祉・ 医療, まち づくり	東北学院大学 菅原真枝ゼミ	100	
262		いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業 【ラジオ番組:管理栄養士を目指す宮城学院女子大生の「パワフル奮闘記」】 管理栄養士を目指す宮城学院女子大学食品栄養学科の学生が、企画作成するラジオ番組の1コーナーとして「泉区いいとこ大発見Part3」を設け、泉区の話、特に食と健康にかかわるニュース、名店、名所、行事を取り上げ、取材をもとに担当の学生による情報・感想を交え展開する。	企画作成するラジオ番組の1コーナーとして、「泉区いいとこ大発見Part3」を設け、泉区の話、特に食と健康にかかわるニュース、名店、名所等を取り上げ、取材をもとに学生による情報・感想を交えて展開した。	まちづくり	宮城学院女子大学 正木ゼミ	70	

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
263		いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業【レッツエンジョイ! 女子学生による魅力ある泉区づくり -インバウンド対策も視野に入れて】 泉区の人々や観光地への取材の中で、幅広い世代の地元の方々と交流を図り、泉区の魅力を発見する。それらの情報をSNSで発信することで外国人観光客数の増加を目指す。外国語表記等の工夫を図り、リピーターとなる外国人観光客の獲得につなげる。	区内の農場・牧場・飲食店・観光スポット等への取材を重ね、ブログ・Youtube・インスタグラムにて外国語で紹介を行った。また、スパ泉ヶ岳内のRVパークに関する説明や、温泉への入り方等の注意事項の表示を英語で作成し提供した。	まちづくり、国際交流・協力	仙台白百合女子大学 大本ゼミ	95	
264		いずみ絆プロジェクト支援事業-助成事業【泉区の青果物×スポーツ栄養・地域活性化プロジェクト】 「泉区の食材を食べて頭も体も強くなる」をコンセプトに、子どもから大人までが対象となるスポーツ栄養学・ライフステージ栄養学に基づいて、栄養士の卵が泉区産の食材を用いた焼き菓子や料理などを考案し、泉区で行われるイベントで提供する。	泉区民文化祭において、約50人の参加者に対し、ライフステージ栄養学が根底にある種々の取り組みを通じて泉区の青果物の良さをPRした。また、泉ヶ岳トレイルラン大会にて専用ブースを出店し、約100人の参加ランナーに対してPRを行った。	まちづくり、地域経済活性化、文化・芸術・スポーツ・学術	東北生活文化大学 スポーツ栄養研究会	60	
265		大学・地域連携による課題解決事業助成【加茂ハッピータウン活動】 「加茂まちづくり協議会」に参加している組織・団体、個人と、大学の連携により、大学の専門性を生かした活動を推進する。また、学生の参加協力を得ながら、事業実施分科会を設置し、具体的な活動を行う。	東北学院大学や町内会等と連携し、ウォーキングマップ作りや体力測定会などの高齢者の健康づくり、子育て支援の取り組みなどを行う「加茂ハッピータウン活動」を実施した。	健康福祉・医療、まちづくり	加茂まちづくり協議会、東北学院大学	208	
266		大学間の交流促進助成事業【大学交流促進事業】 地域づくり活動を行っている学生が、大学の枠を超え学生間の連携・協働のもとで主体的・継続的に活動し、地域づくり活動の交流見学会等の取り組みを実施する。	学生同士の交流や意見交換の機会を3回設けた。(10月14日:ラジオによる発信、11月23日:地域交流フェス、12月6日:区役所にて座談会)	社会教育、まちづくり	一般社団法人プラス	199	

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
267	区民協働まちづくり事業-企画事業: 泉中央地区活性化事業	泉中央地区のにぎわいを創出し、地区の活性化を図る。	泉中央駅ペDESTリアンデッキ下部およびおへそ広場を会場に、地域関係者が連携・協力したイベント「いずみハロウィン2019」を実施した。チアダンス、キッズダンス、仮装コンテストやキッズビンゴ大会等参加型のステージ、キーワードラリー、フォトブース、物販や、大学生等のワークショップブースの出店を行った。 来場者数:約10,000人	まちづくり	いずみハロウィン実行委員会	1,000	泉区ふるさと支援担当
268	区民協働まちづくり事業-企画事業: 青少年健全育成推進	青少年が日頃より考えている将来の夢、社会に対する要望を発表する機会等を提供することにより、物事を考える力、広い視野と柔軟な発想・表現力を育むとともに、青少年健全育成に対する大人の理解度と関心度の向上を図る。	・少年の主張泉区大会(松陵中学校) 参加校:17校、来場者数:340人 ・標語コンクール 参加校:23校 ・地球のステージ(根白石市民センター) 来場者数:約173人	社会教育, 子どもの健全育成	泉区まちづくり推進協議会	450	泉区家庭健康課
269	区民協働まちづくり事業-企画事業: 地域子育て交流会	育児サークル、子育てサロン、食育推進団体などの子育て支援関係団体を対象とした交流会を実施する。また、団体の代表者による実行委員会で、広く区民を対象とした親子まつりを企画・実施する。	・全体会実施:3回 参加者数:48人 ・交流会実施:3回 参加者数:41人 ・実行委員会実施:4回 ・親子まつりの実施:1回 参加者数:299人 (大人143人、子ども156人)	子どもの健全育成	子育て応援倶楽部いずみん	107	泉区家庭健康課
270	区民協働まちづくり事業-助成事業 (泉区)	【地域住民が相互に支え合い助け合う活動の実現】 安否確認希望世帯を訪問する「見守り・安否確認活動」、買い物・病院診療への付き添いや庭の樹木の世話などを行う「助け合い活動」、一人住まいの方や子育て世代や若い世代も対象とした「茶話活動」を実施する。	茶話活動を年5回実施し、地域の方との親睦を深めるとともに後継者不足の解消を試みた。助け合い活動は100件ほどの依頼(庭木剪定や雑草取りなど)があり、実施した。	まちづくり	やまわ会	400	泉区まちづくり推進課
271		【子育て期のママの”孤育て”を防ぎ、ママの”イキイキ”を応援】 母親のリフレッシュや憩いの場を提供するとともに、子連れでも安心してワークショップを開催できる環境整備をし、母親たちによるコミュニティづくりを推進する。	託児付きのワークショップを年8回実施、母親のための情報誌の発行を年3回行った。10月に行われたmamaBEmarketイベントでは500名を超える方が来場した。	まちづくり	Balletone ERI(バレトンエリ)	300	
272		【深めよう親子の絆! 育てよう地域の絆!】 病児等の一時預かりやお産サポートなど子育て親への支援を行うとともに、地域の親子が地域の支援者と共同で野菜作りを行う活動を実施する。	地域の人々の支援を受けながら、7か月間野菜栽培に取り組んだ。11月には収穫した野菜を用いて芋煮会などを行った。	まちづくり	特定非営利活動法人子育て支援アシスト・エフワン	350	

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
273		【「七北田お散歩手帖」制作事業】 七北田の歴史などを紹介するパンフレットの作成や、郷土史に関する交流活動を通じて七北田地区の活性化を図る。	「七北田 いま・むかし お散歩手帳マップ」を作成し、七北田地区の商店や小学校等に配布したほか、郷土史を伝承する活動やワークショップを実施した。	まちづくり	郷土史サークルいずみのふるさと学	140	
274		【福祉ポスト設置と福祉ニーズの収集】 地域の方の福祉に関する要望を収集するためのポストを設置し、寄せられた要望を基に地域の問題解決や交流づくりに貢献する。	地域住民の支援ニーズや住民が抱える悩みなどを把握できたほか、支援が必要な方を地域の民生委員につなぐなど、支援者との橋渡しを行った。	まちづくり	寺岡地区社会福祉協議会	60	
267 と 同一 事業	ふるさと底力向上プロジェクト: 泉中央地区活性化事業	泉中央地区のにぎわいを創出し、地区の活性化を図る。	泉中央駅ペDESTリアンデッキ下部およびおへそ広場を会場に、地域関係者が連携・協力したイベント「いずみハロウィン2019」を実施した。チアダンス、キッズダンス、仮装コンテストやキッズビンゴ大会等参加型のステージ、キーワードラリー、フォトブース、物販や、大学生等のワークショップブースの出店を行った。 来場者数:約10,000人	まちづくり	いずみハロウィン実行委員会	事業番号 267と共通	泉区ふるさと支援担当
275	ふるさと底力向上プロジェクト: 郊外居住地区の課題対応事業	少子高齢化等により表出している郊外居住地区の課題に対応する。	郊外居住地区における課題の解決に向けて、学生が有する知見等を活用し、地域住民と解決策の検討を行う活動に対する支援を行った。	まちづくり	高森地区住民、仙台白百合女子大学学生、外国人留学生等	396	泉区ふるさと支援担当
276	ふるさと底力向上プロジェクト: 泉西部地区活性化事業	泉西部地区の活性化を図るため、地域団体や地域事業者、住民等と連携・協力し、交流人口拡大および持続性のある地域づくりに資する取り組みを実施する。	泉かむりの里観光協会や地域事業者と連携し、インバウンド向けの地域情報発信の取り組みを実施した。 また、まちづくり懇談会を3回実施し、参加者における認識の共有や意見交換の場を設けた。	まちづくり	地元町内会、泉かむりの里観光協会、地域事業者等	3,690	泉区ふるさと支援担当
277	社会を明るくする運動 仙台市泉区推進委員会	法務省の主唱する「社会を明るくする運動」について、泉区域における本運動の企画、実施、推進を図る。	・総会、役員会等の開催:計4回 ・広報、泉区役所懸垂幕、泉区民ふるさとまつり、地下鉄泉中央駅前での広報活動 ・内閣総理大臣メッセージの伝達 ・小学校での講話:毎年1校(住吉台小学校) ・泉区まちづくり推進事業との共催事業(地球のステージ、標語コンクール)	社会教育, まちづくり, 地域安全活動, 子どもの健全育成	保護司会、 更生保護女性会	122	泉区家庭健康課

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
278	仙台市泉区子ども会育成会	泉区内の各校区子ども会育成会相互の連絡調整を行い、地域の意見や情報を交換して、子ども会の育成発展を図る。	・総会、役員会等の開催、校区交流会(3回)、泉っ子キャンプ(2回)および研修会(2回)の開催 ・泉区民ふるさとまつり、泉ヶ岳悠・遊フェスティバルへの参加 ・広報誌の発行	まちづくり、子どもの健全育成	仙台市泉区子ども会育成会	1,114	泉区家庭健康課
279	婦人防火クラブ活動支援事業	婦人防火クラブの育成強化と活動の活発化を図るため、運営および活動を支援する。	火災予防知識の習得や技術の向上を図る訓練や研修会、家庭用防災機器等の普及や街頭での防火キャンペーンなど地域に密着した活動を年間377回実施した。	地域安全活動	仙台市婦人防火クラブ連絡協議会	12,700	消防局予防課
280	自分づくり教育推進事業： 職場体験活動推進協議会	学校におけるキャリア教育に対する支援を目的に企業関係者が参画する会議体として、主に職場体験およびインターンシップの受け入れについての支援促進を図るために、仙台自分づくり教育の効果的かつ円滑な実施について協議する。	職場体験活動推進協議会を開催し、啓発活動に係る取り組み(ミニのぼり、パンフレット配布)、学校と受入事業所間のマッチングに係る取り組み(相談窓口)、受け入れ事業所の理解を推進するための方策等について協議し改善点を整理した。	まちづくり、子どもの健全育成	仙台商工会議所、宮城県中小企業団体中央会、みやぎ仙台商工会、協同組合日専連仙台、宮城県中小企業家同友会、公益社団法人仙台青年会議所	64	教育局学びの連携推進室
281	自分づくり教育推進事業： 仙台子ども体験プラザ事業	児童生徒の望ましい勤労観や職業観を育てるとともに、将来の生き方について考える意欲や態度を育むため、協賛事業所等の協力のもと、体験型経済教育プログラム「スチューデントシティ」「ファイナンスパーク」を実施する。	・小学校のプログラム「スチューデントシティ」 実施回数：85回(119校) ・中学校のプログラム「ファイナンスパーク」 実施回数：98回(67校) ・スチューデントシティへの協賛企業との情報交換会 実施回数：3回	まちづくり、子どもの健全育成	市内協賛事業所等	62,929	教育局学びの連携推進室

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
282	不登校支援ネットワーク	市民・大学・企業・行政等がそれぞれの特性を生かしながら相互にパートナーとして融合し、不登校の児童生徒やその保護者の支援を実施する。	以下の取り組みを実施した。 ・運営会議:1回 ・パソコン実習:15回 ・動物介護活動:4回 ・稲作体験活動:2回 ・ハートフルサポーターの活動 自然体験:3回 土曜のひろば:8回 ・不登校支援ネットワークワーキングとボランティア養成講座:2回 ・公開研究会:1回 ・減災結プロジェクト出前授業:1回 ・進路相談会:1回 ・創作活動:1回 ・職場体験・職場見学:19か所	子どもの健全育成	認定特定非営利活動法人仙台シニアネットクラブ、認定特定非営利活動法人あかねグループ、特定非営利活動法人エーキューブ、特定非営利活動法人まなびのたねネットワーク、ことばの貯金箱「夢」プロジェクト、情報のあんこ、エルネット、ミュージックネットワークせんだい、くりこま高原自然学校、ハートフルサポーター、ハリウコミュニケーションズ株式会社、株式会社デンコードー、宮城県学校用品協会、株式会社北文社、株式会社ジャストシステム、オレンジフィールド、株式会社楽天野球団、ドコモCS東北、仙台朝市商店街振興組合、宮城教育大学、東北福祉大学、東北大学災害科学国際研究所	—	教育局教育相談課
283	楽学プロジェクト	小学5・6年生および中学生を対象に、さまざまな職業の講師による「講話」や「体験活動」を経験させることにより、子どもたちが「仕事」や「働くこと」とは何かを考える機会とする。	一般講座:45講座 参加者数:1,158人	子どもの健全育成	楽学プロジェクト委員会	385	教育局生涯学習課
284	スタジオ協働事業	「考えるテーブル」など、誰もが参加可能な対話型公開会議などを中心に、市民力の醸成、市民の主体的な社会参画が文化面から活性化していくことを目指す。あわせて、スタジオ協働事業や地域文化アーカイブなどの事業をせんだいメディアテーク7階ラウンジにおける展示を通じて広く発信する。	・考えるテーブル 「てつがくカフェ」「民話ゆうわ座」などを実施した。 ・ラウンジでの展示 「どこコレ?」「2011・3・11 大津波に襲われた沿岸集落で、かつて聞いたいいつたえ むかしはなしはなし その7 牡鹿郡女川町周辺の民話」「黒川郡大和町升沢のくらし〈なりわい〉が結ぶ山・村・人—移転集落の風景を記憶の窓として—」「KADAN Bridge / いろとりどりの掛け違い」を実施した。	社会教育	てつがくカフェ@せんだい、特定非営利活動法人20世紀アーカイブ仙台、みやぎ民話の会「民話声の図書室」プロジェクトチーム、「失われた村の風景を記憶しなおす」プロジェクト、「地域探検隊-TTT-」	4,176	教育局生涯学習課

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
285	地域文化アーカイブ	市民の自発的な地域文化財のデジタル化、保存、活用を促す取り組みを行う。成果物は、メディアテークに保存し、ライブラリーへの配架、ウェブサイト等での発信、またそれらを基とした催事を行うことで、仙台市域のさまざまな文化活動へのより広く深い市民の関心を促す。	「民話声の図書室」、「どこコレ？—おしえてください昭和のセンダイ」、「知る 続く 在来作物プロジェクト」等を実施。	社会教育、文化・芸術・スポーツ・学術	みやぎ民話の会「民話声の図書室」プロジェクトチーム、特定非営利活動法人20世紀アーカイブ仙台、みやぎ在来作物研究会等	事業番号284と共通	教育局生涯学習課
286	バリアフリー文化事業	目や耳の不自由な人々の主体的な情報アクセスを促進するための点字翻訳、音声解説、字幕制作等のデータ作成を市民協働で行う。成果物を活用した上映会等や、作成にかかわる人材の育成、技術向上に向けた講座の開催など一連の取り組みを行う。	・バリアフリー上映会 参加者数:延べ257人 ・各種研修会等 参加者数:延べ48人 ・手で話すおはなしの会 参加者数:延べ68人	健康福祉・医療, 社会教育	仙台朗読奉仕の会、まほうの手等	671	教育局生涯学習課
287	地域文化連携事業	各種団体との協働や連携・ネットワークを用い、地域におけるメディアテークの役割を担いつつ、オープンスクエア、ギャラリー、シアター、ライブラリーなど館全体の機能を生かしたイベントや展示、上映会など多様な共催事業を実施する。	「ショートピース！ 仙台短篇映画祭」や定禅寺通を中心とした祭りの実施 ・年間参加者数:11,460人 ※「せんだいデザインリーグ2019卒業設計日本一決定戦」(展示・公開審査等イベント)は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	社会教育、文化・芸術・スポーツ・学術	仙台短篇映画祭実行委員会、仙台青葉まつり協賛会、とっておきの音楽祭実行委員会 SENDAI、仙台七夕まつり協賛会、公益社団法人定禅寺ストリートジャズフェスティバル協会、仙台建築都市学生会議他	1,961	教育局生涯学習課
288	震災の記録・市民協働アーカイブ事業	震災とその復旧・復興の過程を市民・専門家・スタッフが協働して記録・発信し、「震災の記録・市民協働アーカイブ」として、整理・保存する「3がつ11にちをわすれないためにセンター」を運営する。センターでは、参加者が写真や映像等で記録し、資料活用に向け、アクセス可能なメタデータなどを整備し保管する。また、収集した資料は一部選別し、ウェブサイトでの配信、ライブラリーへの配架、上映会や展覧会の開催など、さまざまな形での利活用を行う。	ウェブ閲覧数:2,359,115回 ※「星空と路」(上映会、展示)は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	社会教育、地域安全活動	市民の参加者	14,997	教育局生涯学習課
289	仙台市立学校施設の開放(学校施設開放事業)	社会体育の普及ならびに幼児および児童の安全な遊び場の確保のため、学校の校庭や体育館などを学校教育に支障のない範囲で幼児、児童、生徒その他市民に開放する。	学校施設開放実績:187校 (うち自由活動開放実績:34校)	文化・芸術・スポーツ・学術, 子どもの健全育成	管理運営委員会	43,361	教育局生涯学習課

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
290	社会学級開設	学区に居住する成人が、自主的な学習活動ができるよう、小学校、特別支援学校に社会学級を開設する。	社会学級開設実績:113件	社会教育, 文化・芸術・ スポーツ・ 学術	小学校・特別支援学校に開設する社会学級	4,876	教育局生涯学習課
291	学校図書室等開放事業	市立小学校において、図書室等の学校施設を週末に開放し、読書の機会提供、子どもの居場所拡大、地域の生涯学習の場としての活用を図ることを目的とした、学校図書室開放事業の管理・運営を委託により実施する。	学校図書室等開放実績:20件	社会教育, 子どもの健 全育成	各学校図書室等開放推進委員会(学区内町内会、父母教師会、その他の団体代表者、学校関係者で組織)	4,695	教育局生涯学習課
292	仙台市小中学校PTA運営費補助金	市立小学校等PTA活動の振興を図るため、PTA等の運営に要する経費に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。	補助金交付実績:1件	社会教育, 子どもの健 全育成	仙台市PTA協議会(各市立小・中・特別支援学校PTA)	32,096	教育局生涯学習課
293	仙台市マイスクールプラン21推進事業補助金	実施校ごとに設置する運営委員会によって選任されたコーディネーターが企画調整して行うマイスクールプラン21推進事業運営に要する経費に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。	補助金交付実績:8件 延べ利用人数:27,222人	社会教育, 文化・芸術・ スポーツ・ 学術	実施校ごとに設置するマイスクール運営委員会	7,642	教育局生涯学習課
294	ホームムービーの日「なつかし仙台8ミリフィルム上映会」	すでに映写機のない各家庭に眠っている8ミリフィルムを掘り起こすため、8ミリフィルム上映やデジタル化のノウハウを持つ特定非営利活動法人20世紀アーカイブ仙台との共催により、歴史民俗資料館の歴史的な知識と会場の雰囲気の中で、各家庭から持ち寄られた8ミリフィルムを鑑賞するイベントを実施する。	ホームムービーの日「なつかし仙台8ミリフィルム上映会」を歴史民俗資料館で実施した。 参加者数:10人	社会教育, 文化・芸術・ スポーツ・ 学術	特定非営利活動法人20世紀アーカイブ仙台	—	教育局文化財課
295	歴史民俗資料館サポーター活動	仙台市歴史民俗資料館で、年間を通して来館者に対する展示解説活動、各イベント参加者の支援や補助を行う。	・秋・冬の小学3年生による見学を中心とする展示解説や、ゴールデンウィークおもしろ昔体験・れきみん秋祭りといった各種イベントの補助を実施した。 サポーター登録者数:23人 ・企画展・特別展の概要説明および展示見学等を行う館主催のサポーター会を4回開催した。	社会教育, 文化・芸術・ スポーツ・ 学術	歴史民俗資料館サポーター会	—	教育局文化財課

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
296	仙台市富沢遺跡保存館ボランティア活動	富沢遺跡保存館(地底の森ミュージアム)で、年間を通して来館者に対する展示解説活動、各イベント参加者の支援や補助を行う。	・地下および1階の常設展示の展示解説やイベント・講座等の補助を実施した。 ボランティア登録数:68人 ①展示解説 延べボランティア数:1,026人 延べ活動時間数:2,774時間 ②イベント等の補助 延べボランティア数:474人 延べ活動時間数:1,462時間 ・館主催のボランティア育成事業を実施した。 養成講座:6回 実技研修:1回 施設等研修見学会:1回	社会教育, 文化・芸術・ スポーツ・ 学術	富沢遺跡保存館ボランティア会	155	教育局文化財課
297	地底の森フェスタ2019	富沢遺跡保存館職員とボランティア会の共同で開催するイベントであり、「石器づくり」「やり投げ」などの各種体験コーナーや料理の試食体験を行う。	地底の森フェスタ2019を実施した。 参加者数:753人	社会教育, 文化・芸術・ スポーツ・ 学術	富沢遺跡保存館ボランティア会	93	教育局文化財課
298	企画展「もりの風景2019」	富沢遺跡保存館が主催する展示事業。ボランティア会など館に関連する団体も含め、1年間の活動の様子をパネルで紹介する。あわせてボランティアが制作した作品・実験研究などを紹介する展示も行い、館の活動とその成果について広く市民へ周知を図るとともに、次年度の募集について広報を行い、生涯学習活動を発表する場とする。	ボランティアが制作した石器や土器、編布など約25点と解説パネル約20枚を展示した。	社会教育, 文化・芸術・ スポーツ・ 学術	富沢遺跡保存館ボランティア会	25	教育局文化財課
299	縄文の森広場ボランティア活動	縄文の森広場で、年間を通じ来館者への展示案内、体験活動やイベント参加者の支援・補助等を行う。ボランティアとして登録した方が、あらゆる活動への取り組みを通して、生涯学習活動を実践する場となっている。	・ボランティア登録数:64人 ・イベントだけでなく、開館日の随時体験にも対応している。 延べ年間活動人数:392人 延べ活動時間:2,660時間 延べ活動日数:978日 ・館主催のボランティア養成講座を6回開催したほか、グループ活動・施設等研修見学会を実施しスキルアップを図った。	社会教育, 文化・芸術・ スポーツ・ 学術	縄文の森広場ボランティア会	210	教育局文化財課

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
300	縄文まつり	季節に応じた体験イベントやコンサートを通して縄文の森広場の利用促進を図るため、1年に計4回、ボランティア会と連携して実施する。	縄文春まつり参加者数:337人 縄文夏まつり参加者数:386人 縄文秋まつり:台風の影響で中止 縄文冬まつり参加者数:518人	社会教育, 文化・芸術・ スポーツ・ 学術	縄文の森広場ボランティア会	1,083	教育局文化財課
301	仙台・文化財サポーター会	文化財の普及、利活用を促進するため、自主的に文化財を学習している3つの部会の活動を支援する。また文化財課主催のイベントなどへの協力を依頼する。	文化財サポーター養成講座を実施して育成を支援した。 講座実施回数:10回	社会教育, 文化・芸術・ スポーツ・ 学術	仙台・文化財サポーター会	54	教育局文化財課
302	薬師堂手づくり市	文化財の普及、利活用を促進するため、陸奥国分寺薬師堂ガイドボランティア会のガイド活動を支援する。	毎月8日の手づくり市に文化財展示コーナーを設営してガイド活動を支援した。	社会教育, 文化・芸術・ スポーツ・ 学術	手づくり市実行委員会	—	教育局文化財課
303	史跡陸奥国分寺・尼寺跡ガイダンス施設ガイド活動	史跡陸奥国分寺跡と尼寺跡への理解を深めてもらうため、陸奥国分寺薬師堂ガイドボランティア会へガイダンス施設や史跡内における解説活動を依頼する。また聖和学園高等学校生徒のガイド活動を受け入れ、支援する。	開館日からのガイドを行った入館者数は約11,900人。 史跡地内の発掘調査等の見学会を実施し、会員の募集に協力した。	社会教育, 文化・芸術・ スポーツ・ 学術	陸奥国分寺薬師堂ガイドボランティア会	24	教育局文化財課
304	史跡整備(活用)	文化財の普及、利活用を促進するため、特定非営利活動法人仙台城ガイドボランティア会のガイド活動を支援する。	活動のための器材の貸し出し、仙台城跡調査成果の情報提供を行った。	社会教育, 文化・芸術・ スポーツ・ 学術	特定非営利活動法人仙台城ガイドボランティア会	—	教育局文化財課
305	仙台市博物館展示解説ボランティア(三の丸会)	常設展示の展示解説および館庭案内を行う。	・常設展示について23,910人に解説を行った。 活動日数:232日 ・館庭について545人に解説を行った。 活動日数:150日	社会教育, 文化・芸術・ スポーツ・ 学術	三の丸会	58	教育局博物館
306	知能ロボットコンテスト・フェスティバル2019	ロボット技術の専門性を有するロボット競技会実行委員会と協力し、小中学生を対象とした「ロボコンジュニア」および学生・一般等が対象の「知能ロボットコンテスト」の実施を支援する。	「知能ロボットコンテスト・フェスティバル2019」を開催した。 (ロボコンジュニアは2日間のうち1日のみ実施) 延べ参加者数:1,330人	文化・芸術・ スポーツ・ 学術	ロボット競技会実行委員会	100	教育局科学館
307	きのこ展	キノコの専門性を有する仙台キノコ同好会と協力し、キノコ標本の展示・解説や同定会等の実施を支援する。	「きのこ展」を開催した。 延べ参加者数:1,610人	文化・芸術・ スポーツ・ 学術	仙台キノコ同好会	100	教育局科学館

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
308	仙台市科学館サイエンスインタプリタ(せかぼクラブ)	展示解説や実験工作などの体験教室の支援を行う。	・1,218人に展示解説を行った。 ・42,648人に対して体験教室の支援を行った。	社会教育, 文化・芸術・ スポーツ・ 学術	せかぼクラブ	25	教育局科学館
309	段ブロックコーナー設置	段ブロックプロジェクトと協力し、段ボールを素材としたブロックの普及を図るとともに、子どもの科学やものづくりへの興味関心を高める。	常設展に段ブロックで工作するエリアを設置した。	文化・芸術・ スポーツ・ 学術	段ブロックプロジェクト	—	教育局科学館
310	市民センター事業	各市民センターにおいて各種事業(講座)を実施する。 市民協働事業例: 図書ボランティア、剪定ボランティア等の各種ボランティアの養成講座、市民と一緒に講座を企画する市民企画講座、学校や地域団体等と連携した各種講座	講座数:716講座 3,440回	社会教育, まちづくり, 環境, 文 化・芸術・ス ポーツ・学 術, 国際交 流・協力, 男女共同参 画社会, 子 どもの健全 育成	地域住民、地域団体等	23,546	教育局生涯学習支援センター
311	市民センターまつり	作品展示や舞台発表等生涯学習発表の場を提供するとともに、まつりの運営を通じて地域と世代間の交流を深め、コミュニティづくり促進の機会となる市民センターまつりを開催する。	開催館数:55館	社会教育, まちづくり, 文化・芸術・ スポーツ・ 学術	地域住民、地域団体等	事業番号 310と共通	教育局生涯学習支援センター
312	学びのコミュニティづくり推進事業	学びのコミュニティづくり推進事業実施要項に基づき、子どもや学校を支援する学びのコミュニティづくり推進事業を委託により実施する。	委託実績:5件	社会教育, まちづくり	大和学びのコミュニティ推進委員会、幸町小おやじの会、東仙台小学区学コミ推進委員会、八木山おやじの会、プロジェクト北三	1,040	教育局生涯学習支援センター
313	成人式における選挙啓発	仙台市成人式において、新成人に投票意識の向上を呼び掛ける。	啓発チラシ、啓発物資および啓発冊子を配布した。	その他	特定非営利活動法人ドットジェイピー宮城支部、選挙啓発ボランティアグループActivate仙台	3	選挙管理委員会事務局選挙管理課
314	選挙出前授業	仙台市内の中学校、高等学校および大学において、模擬投票を含めた選挙出前授業を行う。	市内学校等16か所にて計23回実施した。	その他	特定非営利活動法人ドットジェイピー宮城支部、選挙啓発ボランティアグループActivate仙台	—	選挙管理委員会事務局選挙管理課

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
315	選挙時における臨時啓発	選挙期間において、街頭での投票の呼び掛けや選挙啓発物資の配布等を実施する。	参議院議員選挙期間に仙台駅前で選挙啓発を実施した。 参加人数:100人	その他	特定非営利活動法人ドットジェイピー宮城支部、仙挙行こう会、選挙啓発ボランティアグループActivate仙台、東北大学インターンシップ生、仙台市・区明るい選挙推進協議会	21	選挙管理委員会事務局選挙管理課
316	選挙啓発ボランティア事業 (Activate仙台)	投票率の低い若年層の投票率向上のため、大学生等が定期的に集まり、市の啓発事業に対し企画・提案等を行う。	定期的な集まりで市の啓発事業に対し意見の提供や提案を行ったほか、啓発ポスターの選定や成人式での啓発活動等へ参加した。 活動者数:10人	その他	市民の参加者	42	選挙管理委員会事務局選挙管理課
317	選挙啓発事業	東北大学大学院経済学研究科高齢経済社会研究センターが、仙台市民投票意識調査の結果について分析・検証し、市と効果的な啓発について協議する。また、投票率向上に資する取り組み機会を増やすため、同センターの事業への市の参加について協議する。	令和元年の仙台市議会議員選挙後に実施した「仙台市民投票意識調査」の結果について、東北大学大学院経済学研究科高齢経済社会研究センターに引き続き分析を依頼し、検討会を実施した。	その他	東北大学 (東北大学大学院経済学研究科高齢経済社会研究センター)	—	選挙管理委員会事務局選挙管理課
318	インターンシップ受入事業	東北大学と協定を結び、学生をインターンシップ生として受け入れ、選挙時にアエル期日前投票所における投票事務に係る補助業務に従事してもらう。	参議院議員選挙において20人、宮城県議会議員選挙において11人の学生にアエル期日前投票所における投票事務に係る補助業務に従事してもらった。	その他	東北大学	—	選挙管理委員会事務局選挙管理課
319	災害時給水栓による地域の飲料水確保	災害により応急給水が必要になった際、地域住民が自ら給水所を立ち上げ運営できるよう、市立小中高校に災害時給水栓を設置するとともに、操作説明会や防災訓練を通じて操作方法の理解を深め、習得を促す。	災害時給水栓について、避難所運営委員会等に対して使用方法等の説明を実施した。 令和元年度末までに説明した箇所数:118か所 (令和元年度に説明した箇所:11か所)	地域安全活動	地域団体(避難所運営委員会等)、市立小中高校	36,927	水道局水道危機管理室 (水道局計画課)
320	宮城バスまつり	バス車両の展示や各種イベントを通じて、「ひと・まち・自然」にやさしいバスへの理解と愛着を深めてもらうことを目的に、実施主体である公益社団法人宮城県バス協会の会員として、他の傘下バス事業者と連携を図りながら開催する。	9月14日に、“～ALL RIGHT!～やりたいことに、つながるバス。”をテーマとして開催され、バスと綱引きやお楽しみ抽選会などを実施した。	その他	宮城県バス協会、民間バス事業者	9	交通局業務課

事業番号	事業名	事業内容	令和元年度の実施状況	事業分野	協働の相手方	事業費(千円)	担当課 ※()内は 令和元年度担当課
321	社会人講師理科特別授業「炎の不思議」	社会人講師による小学校の理科特別授業を支援する団体と連携して、ガスを使った実験を通して、燃焼のしくみや炎が生活の中でどのように役立っているかなどを学ぶ理科実験の授業を実施し、炎と実生活のかかわりを啓発する。	小学校2校で特別授業を実施した。(学級数:6学級)	子どもの健全育成	一般社団法人教育総合支援機構 ゆわう	—	ガス局営業企画課
322	「放課後子ども教室」における出前授業	「放課後子ども教室」を実施している各小学校の運営委員会と連携して、ガスを使った実験を通して、燃焼のしくみや炎が生活の中でどのように役立っているかなどを学ぶ理科実験の授業を実施し、炎と実生活のかかわりを啓発する。	小学校3校で出前授業を実施した。(参加児童数合計:45人)	子どもの健全育成	各小学校の「放課後子ども教室」運営委員会	—	ガス局営業企画課
323	入院患児の療養支援	①大学生のボランティアサークル「スモールエンジェル」が、小児科病棟に入院している児童を対象に、遊びを通して療養生活を支援する。 ②特定非営利活動法人日本ホスピタル・クラウン協会から派遣される「道化師」が、小児科病棟に入院している児童を対象に、パフォーマンスを通して療養生活を支援する。	①ボランティアサークル「スモールエンジェル」 年間活動日数:74日 ボランティア延べ参加者数:141人 ②特定非営利活動法人日本ホスピタル・クラウン協会 年間活動日数:21日 ボランティア延べ参加者数:41人	健康福祉・医療, 子どもの健全育成	①ボランティアサークル「スモールエンジェル」 ②特定非営利活動法人日本ホスピタル・クラウン協会	25	市立病院総合サポートセンター
324	院内の図書貸出サービス	院内のボランティアグループ「けやき文庫」が、土曜日は院内1階ロビーで、平日は各病棟の面会ホールで、入院患者を対象に図書の貸し出しサービスや蔵書の整理を行っている。	年間活動日数:239日 ボランティア延べ参加者数:638人	健康福祉・医療, 文化・芸術・スポーツ・学術	ボランティアグループ「けやき文庫」	25	市立病院総合サポートセンター
325	院内の案内・介助支援	院内を訪れる患者や家族の受診案内や、歩行困難者などの車イスによる介助、および四季折々の展示物作成を行うボランティア活動。ボランティアは、市立病院で一般公募し、養成講座を実施した後にボランティア登録した方が活動している。	年間活動日数:235日 ボランティア延べ参加者数:1,284人	健康福祉・医療	ボランティア登録者	27	市立病院総合サポートセンター
326	傾聴ボランティア	入院患者の悩みや寂しさを和らげられるよう、1対1で真摯に話を聴き、心のケアを行う。平日、30分～1時間程度の活動を行う。	年間活動日数:78日 ボランティア延べ参加者数:81人	健康福祉・医療	ボランティア登録者	25	市立病院総合サポートセンター